

# 研究者情報

2 0 2 4 年 度

金沢学院大学・金沢学院短期大学

# 目 次

## ◇金沢学院大学

|                   |       |
|-------------------|-------|
| 学長(大学) . . . . .  | p. 1  |
| 副学長(大学) . . . . . | p. 2  |
| 学長(短大) . . . . .  | p. 4  |
| 文学部 . . . . .     | p. 6  |
| 教育学部 . . . . .    | p. 17 |
| 経済学部 . . . . .    | p. 28 |
| 芸術学部 . . . . .    | p. 39 |
| スポーツ科学部 . . . . . | p. 47 |
| 栄養学部 . . . . .    | p. 56 |
| 情報工学部 . . . . .   | p. 64 |
| 基礎教育機構 . . . . .  | p. 72 |

## ◇金沢学院短期大学 . . . . . p. 78

現代教養学科  
食物栄養学科  
幼児教育学科

## ◇大学院担当教員 . . . . . p. 90

## ◇教員索引

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 氏名(五十音順) . . . . . | p. 91 |
|--------------------|-------|

# 金沢学院大学 学長

(Minoru Akiyama)

教授

**秋山 稔**

人文学研究科担当



担当科目 : 日本文学概説Ⅰ・Ⅱ、金沢まち学 他

出身学校 : 慶應義塾大学

学位 : 博士(文学) 慶應義塾大学

所属学会 : 日本近代文学会 昭和文学会 泉鏡花研究会 室生犀星学会

E-mail : akiyama@kanazawa-gu.ac.jp

## Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇『泉鏡花俳句集』(2020・11、紅書房) ◇岩波文庫『歌行燈』(2017. 6) ◇『泉鏡花 転成する物語』(2014. 4、梧桐書院) ◇「帰郷小説としての『縷紅新草』」(「昭和文学研究」64集、2012. 3) ◇「自然主義と鏡花」(「解釈と鑑賞」2009. 9) ◇「勝手口から戦場へー泉鏡花『勝手口』試論」(「日本近代文学」第七十九集、2008. 11) ◇『室生犀星事典』(2008. 9、鼎書房) ◇『新編泉鏡花集』第1巻〈金沢一〉、第2巻〈同二〉、第9巻〈北陸〉(2003. 10、2004. 2、2004. 4、岩波書店) ◇『徳田秋聲金沢シリーズ 郷里金沢』『同 挿話・町の踊り場』『同 感傷的の事』(2005. 8、2005. 12、2006. 3、能登印刷出版部)

## Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

泉鏡花・徳田秋聲を視点として近代文学史を再検討すること。

# 金沢学院大学 副学長

(Yukio Suido)

教授

**水洞 幸夫**

人文学研究科担当

担当科目 : 地域と文学 a・b、近・現代文学演習 C 他

出身学校 : 金沢大学

学 位 : 文学修士

所属学会 : 日本近代文学会

E-mail : suido@kanazawa-gu.ac.jp



## I. 主な研究業績・作品等

- ◇「芥川龍之介『鼻』論」(『金沢学院大学紀要第9号』文学・美術・社会学編 2011年3月)
- ◇「芥川龍之介『羅生門』論—下人が盗人になる理由—」(『金沢大学国語国文34号』2009年3月)
- ◇「太宰治『家庭の幸福』論—ラジオ的な〈幸福〉を超えて—」(『太宰治研究16号』2008年6月)
- ◇「芥川龍之介『疑惑』試論—沈黙する「私」を超えるドラマー」(『金沢学院大学紀要第6号』文学・美術・社会学編 2008年3月)
- ◇「芥川龍之介『お富の貞操』試論—〈可哀さう〉の射程—」(『金沢学院大学紀要第4号』文学・美術編 2006年3月)
- ◇「芥川龍之介『六の宮の姫君』試論」(『金沢学院大学紀要第3号』文学・美術編 2005年3月) 他

## II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

日本近代文学。特に大正期の散文作品を中心に、その享受史も考慮しつつ、作品の新しい〈読み〉をさぐる。

# 金沢学院大学 副学長

(Hideki Fujii)

教授

**藤井 秀樹**

経営情報学研究科(M・D)担当



担当科目 : 財務会計Ⅰ・Ⅱ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ、財務諸表分析特論他

出身学校 : 京都大学、京都大学大学院

学位 : 京都大学博士(経済学)

所属学会 : 日本会計研究学会、国際会計研究学会、財務会計研究学会、会計理論学会、グローバル会計学会、公益事業学会、日本地域資源開発経営学会 他

E-mail : fujii@kanazawa-gu.ac.jp

## I. 主な研究業績・作品等

### 著書

- ◇『現代企業会計論』森山書店、1997年(日本会計研究学会太田・黒沢賞受賞)。
- ◇『制度変化の会計学』中央経済社、2007年(国際会計研究学会賞、日本公認会計士協会学術賞受賞)。
- ◇IFRS in Global World: International and Critical Perspective on Accounting, Springer, 2016, Co-Authored.

### 論文

- ◇「取得原価主義会計における未来事象と利益測定(1)(2・完)ー減価償却を素材としてー」『会計』第147巻第3・4号、1995年3・4月(日本会計研究学会賞受賞)
- ◇「非営利組織の制度進化と新しい役割」『非営利法人研究学会誌』Vol. 8、2006年7月(非営利法人研究学会賞受賞)

### 会計理論学会

- ◇「会計理論の課題と研究方法ー実証研究の方法論的基礎の検討を中心にー」『会計理論学会年報』No. 25、2011年9月(会計理論学会賞受賞)

## II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

会計基準の国際統合  
非営利組織の会計と経営

# 金沢学院短期大学 学長

(Takeshi Takata)

教授

**高他 毅**



担当科目 : 社会学Ⅰ・Ⅱ、情報社会論、現代社会とキャリア、社会心理学、教育原理、道德教育・特別活動及び総合的な学習の研究、学修ゼミⅢ（卒業研究）  
出身学校 : 東京大学文学部  
学 位 : 学士  
所属学会 :  
E-mail : t-takata@kanazawa-gu.ac.jp

## Ⅰ．主な研究業績・作品等

- ◇「宗教はポスト・モダンを担いうるか」(共著、中央公論新社「中央公論」第100巻第2号 pp206-233)
- ◇「俵夫と軍人と教師と交換経済 —『無法松の一生』において表象された近代と『國民』の未生—」(金沢学院短期大学紀要第16号 pp7-28)◇「TVの黄金時代」におけるTV未所有者たち —若年独身離郷者の大都市滞留とメディア—(金沢学院短期大学紀要第18号 pp17-48)◇高倉健の猥褻な肉体 —侠客と母と民衆と戦後平和主義の臨界点— (金沢学院短期大学紀要「学葉」第21号 (vol.64) 2023)

## Ⅱ．現在の主な研究・制作テーマ等、その他

戦後日本の人口移動と文化状況の関連性

## ◇金沢学院大学

- ・文学部
- ・教育学部
- ・経済学部
- ・芸術学部
- ・スポーツ科学部
- ・栄養学部
- ・情報工学部
- ・基礎教育機構

# 金沢学院大学 文学部

学部長 薮 際子

|     | 教授         | 准教授      | 講師         | 助教 |
|-----|------------|----------|------------|----|
| 文学科 | 上田外史彦 *英   | 菊池 英慈 *日 | 大上 真礼 *心   |    |
|     | 薮 際子 *日    | 佐々木 聡 *歴 | 黒崎 周一 *歴   |    |
|     | 寺田 智美 *日   | 戸根比呂子 *歴 | 須崎 暁世 *心   |    |
|     | ○中崎 崇志 *心  | 松村祐香里 *英 | 高橋 栄一      |    |
|     | 羽鳥 好之 (特任) | 室橋 弘人 *心 | 出口 誠 *日    |    |
|     | 本多 俊彦 *歴   |          | 中妻 結 *英    |    |
|     | 前川 浩子 *心   |          | 水橋 雄介      |    |
|     |            |          | R. グラッシ *英 |    |

○：学科長

(五十音順)

\*日 日本文学専攻

\*英 英米文学専攻

\*歴 歴史学・考古学専攻

\*心 心理学専攻



(Toshihiko Ueda)

教授

**上田 外史彦**

人文学研究科担当



担当科目 : 英語科教育法Ⅰ、基礎英語Ⅰ・Ⅱ、資格英語Ⅰ・Ⅱ、  
教職論、英語プレゼンテーション初級Ⅰ・Ⅱ 他

出身学校 : 福井大学

学 位 : 修士(教育学)

所属学会 : 日本英語教育学会、中部英語教育学会

E-mail : t-ueda@kanazawa-gu.ac.jp

#### Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇「現在進行形の指導例」東京書籍 大下邦幸編著『コミュニケーションクラスの理論と実践』, 2001 ◇「入門期における英語科探究活動についての考察」福井大学教育実践研究(30), 51-56, 2005 ◇「移行期間に取り組むこと」東洋館出版社 外国語活動・外国語科実践研究会編著『基本が分かる 外国語活動・外国語科の授業』, 2019  
◇「英語授業における ICT 活用についての一考察」金沢学院大学紀要, 第21号, 175 - 183, 2023.  
◇「『チームとしての学校』の議論を踏まえた働き方改革の考察」金沢学院大学紀要, 第22号, 1 - 9, 2024. ◇「中学校英語授業の実態と課題 ―インタビューによる考察―」金沢学院大学教職センター紀要, 第6号, 95 - 119, 2022. ◇「若手教師に求められる資質能力について ―学校管理職へのアンケート調査から―」金沢学院大学教職センター紀要, 第7号, 50 - 74, 2023.

#### Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

「英語授業におけるインタラクション分析」「言語活動を通じた英語コミュニケーションの資質能力の育成」など

(Kiwako Shitomi)

教授

**蒔 際子**

人文学研究科担当



担当科目 : 近・現代文学演習B、近・現代文学特殊講義B、プレ卒業  
研究演習、卒業研究 他

出身学校 : お茶の水女子大学

学 位 : 文学修士

所属学会 : 日本近代文学会 日本文学協会

E-mail : kiwako@kanazawa-gu.ac.jp

#### Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇「宇野浩二『子の来歴』の後景-『新作三十三人集』から-(1)(2)」(『金沢学院大学紀要 19、20』、2021-22) ◇『[新編]日本女性文学全集 第9巻』解説(曾野綾子・林京子・宮尾登美子)2019 ◇「宇野浩二の少女小説-『少女画報』掲載作から」(『金沢学院大学紀要 16』、2018) ◇「水芦光子のミステリー小説-『贗』・『水の花火-加賀藩噴水考-』の周辺-」(『金沢学院大学文学部紀要』11、2013)  
◇『金沢を描いた作家たち』共著、2011 ◇「一つのマリリン理解-曾野綾子『砂糖菓子が壊れるとき』」(『金沢学院大学紀要』8、2010) 他

#### Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

宇野浩二を視座とした近代文学研究  
曾野綾子、水芦光子ら、金沢ゆかりの女性作家研究

(Tomomi Terada)

教授

**寺田 智美**

人文学研究科担当



日本語学概説Ⅰ・Ⅱ、日本語教育学Ⅰ・Ⅱ、日本語学演習、  
担当科目：日本語学特殊講義、日本語文法Ⅰ・Ⅱ、日本語教授法、日  
本語教育実習、キャリアプランニングⅠ・Ⅱ、卒業研究 他  
出身学校：早稲田大学  
学 位：修士（教育学）（早稲田大学）  
所属学会：日本語学会 日本語教育学会 日本国語教育学会 全国  
大学国語教育学会 他  
E-mail：teradato@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇『三省堂国語辞典 第八版』（執筆協力、三省堂、2022.1）◇「エントリーシートの推敲支援を通じた文章指導の実践」（早稲田大学日本語学会編『早稲田大学日本語学会設立60周年記念論文集 第2冊 言葉のはたらき』、2021.12、ひつじ書房）◇「研究ノート『方言修行 金草鞋』を読み解く—十返舎一九が描いた石川県—」（『金沢学院大学教育センター紀要』第2号（2018.3））◇「文学の映像化作品を使った文章表現指導の試み—劇場用アニメ『銀河鉄道の夜』の1シーンを描きだす—」（『金沢学院大学紀要』第15号（2017.3））◇『新明解類語辞典』（執筆協力、三省堂、2015.8）◇「代名詞の史的変遷」（『品詞別学校文法講座 第2巻 名詞・代名詞』、明治書院、2014.2）◇『三省堂国語辞典 第七版』（執筆協力、三省堂、2013.12）◇『『厚生新編』翻刻とノート(1)』（『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第10号（2012.3））◇「高校留学生に対する日本語教育の問題と課題」（『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第9号（2011.3））◇「〈日本事情〉教材に描かれる〈日本〉」（『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第8号（2010.3））

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 近代日本語、言語教育

(Takashi Nakazaki)

教授

**中崎 崇志**

人文学研究科担当



心理学概論A、学習・言語心理学、知覚・認知心理学、神  
担当科目：経・生理心理学、心理学実験Ⅰ・Ⅱ、認知学習心理学演習  
Ⅰ・Ⅱ、学修基礎Ⅰa・b 他  
出身学校：金沢大学  
学 位：博士（文学）（金沢大学）  
所属学会：日本心理学会、教育システム情報学会  
E-mail：nakazaki@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「大学の教員養成メソッドへの認知心理学的視点からの提案」（『金沢学院大学教職センター紀要』第3号 2019年）◇「陶芸における「菊練り」の習得を目指した教育プログラムの開発—「菊練り」動作の解析の観点から—」（共著『金沢学院大学紀要』第17号 2019年）◇「意思決定過程研究へのオペラント変動性の視点の導入」（『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第9号 2011年）◇「変動性研究の新しい方向性を探る：創造性、意思決定、動機づけとの関連」（『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第8号 2009年）他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 得済みの行動の遂行中に起こるエラーとその原因の分析 同じ目的のために、行動のバリエーションをどれくらい持てるか 注意の配分と、情報処理および行動調整の関係

(Yoshiyuki Hatori)

特任教授

**羽鳥 好之**



担当科目 : 創作入門、創作実践、現代文章論、現代文章実践、島清恋  
愛文学講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ  
出身学校 : 早稲田大学  
学 位 : フランス文学科 修士  
所属学会 :  
E-mail : hatori@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇『尚、赫々たれ 立花宗茂残照』（早川書房刊）◇『遊びをせんとや 古田織部断簡記』（早川書房刊）

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

歴史小説の執筆

雑誌「Wedge」連載『偉人の愛した一室』

(Toshihiko Honda)

教授

**本多 俊彦**

人文学研究科担当



担当科目 : 日本史概説Ⅱ、文献資料研究法Ⅰ、古文書学演習Ⅱ、近世  
史演習Ⅰ・Ⅱ、近代史演習Ⅰ、歴史学入門、キャリアデザ  
インⅡ・Ⅲ、プレ卒業研究演習、卒業研究 他  
出身学校 : 富山大学大学院人文科学研究科  
学 位 : 修士（文学）  
所属学会 : 日本古文書学会、日本史研究会、地方史研究協議会、加能  
地域史研究会など  
E-mail : t-honda@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇伊藤俊一等共編『東寺廿一口供僧方評定引付』第1～4巻、思文閣出版、平成14～31年 ◇「加賀藩知行宛行状の古文書学的検討」、『加能地域史』第56号、平成24年 ◇「加賀藩における本多政重登用の再検討」、『高岡法科大学紀要』第26号、平成27年 ◇「福井藩の知行宛行状について」、『古文書研究』第80号、平成27年 ◇「文書料紙調査の観点と方法」、小島浩之編『東アジア古文書学の構築—現状と課題—』、平成30年 ◇「加賀本多家の『危機』と藤堂高虎」、『石川自治と教育』729号、令和3年

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

近世大名家関連文書の古文書学的検討◇「加賀八家」本多家伝来文書を中心とした加賀藩政史研究◇近世を中心として古文書料紙研究◇東寺旧蔵文書（国宝「東寺百合文書」など）を素材とした室町期政治史・寺院史研究

(Hiroko Maekawa)

教授

**前川 浩子**

人文学研究科担当



心理学概論B、発達心理学、感情・人格心理学、教育・  
担当科目：学校心理学、対人関係の心理学、心理学研究法Ⅱ、発達心理学演習Ⅰ・Ⅱ、心理演習、心理実習 他  
出身学校：慶應義塾大学  
学位：博士（教育学）  
所属学会：日本心理学会 日本教育心理学会 日本発達心理学会  
日本パーソナリティ心理学会 日本双生児研究学会、北陸  
心理学会、International Society of Interpersonal  
Psychotherapy (ISIPT)  
E-mail：maekawa@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇前川浩子・大上真礼・小里千寿・中村晋也・室橋弘人，大学・短期大学卒業者の入職への不安に関する研究—学生生活の充実感，対人関係，自己コントロール感覚との関連—，金沢学院大学紀要，第22号，135-143，2024. ◇前川浩子・宗田美紗，大学生の就職後の見通しに関する研究—楽観性・悲観性および大学生生活の充実感からの検討—，金沢学院大学紀要，第21号，139-149，2023. ◇Kathleen M. Pike, Mirai So, Anja Hilber, Hiroko Maekawa, Tomoko Shimanouchi, Denise Wilfley, Faith-Anne Dohm, Christopher G. Fairburn, & Ruth Striegel Weissman, Risk factors for anorexia nervosa and bulimia nervosa in Japan and compared to a U.S. sample, International Journal of Eating Disorders, 54, 155-167, 2021. ◇前川浩子・此川美穂，育児ソーシャルサポートと夫婦関係が子どもに対する養育に与える影響——妻から夫への愛情を媒介として——，金沢学院大学紀要，第19号，113-121，2021.

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

短大・大学卒業後の就労継続と精神的健康の維持に関する要因の検討、重要な他者との間の適切なコミュニケーションと精神的健康の関連、対人関係療法による摂食障害と思春期うつ病の治療

(Eiji Kikuchi)

准教授

**菊池 英慈**



日本語表現法Ⅰ、日本語表現法Ⅱ、評論の読み方、国語科  
担当科目：教育法Ⅰ、国語科教育法Ⅱ、書道(書写実習)、日本文学入門、プレ卒業研究演習、卒業研究、日本語Ⅱ 他  
出身学校：茨城大学  
学位：学士  
所属学会：日本国語教育学会  
E-mail：kikuchi@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「主体的に学習に取り組む態度をいかに評価するか」(明治図書、2022) ◇「資質・能力を育成する小学校国語科授業づくりと学習評価」(明治図書、2021) ◇『『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』作成協力者(国立教育政策研究所 2020) ◇「小学校学習指導要領解説国語編」作成協力者(文部科学省、2019) ◇「資質・能力の育成—『見方・考え方』を働かせることを通して—」(東洋館出版、2019) ◇『『言葉による見方・考え方』の捉え方・鍛え方』(明治図書、2019) ◇「学習の基盤となる言語能力の育成—言語活動の充実—」(東洋館出版、2019) ◇「新学習指導要領に向けた指導の在り方 語彙指導の改善・充実の在り方」(東洋館出版 2018) ◇「国語科におけるICTを活用した教育の充実」(東洋館出版、2018) ◇「資質・能力の育成に向けた授業づくり」(東洋館出版、2018) ◇「主体的・対話的で、深い学びの実践に向けた授業改善」(東洋館出版、2018) ◇「国語科における移行期間中に求められる実践」(東洋館出版、2017) ◇「学びの過程における困難さに対応する指導の工夫」(東洋館出版、2017)

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

各教科の基盤となる言語能力を核にしたカリキュラム・マネジメントの研究  
個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す国語科授業の再検討

(Satoshi Sasaki)

准教授

**佐々木 聡**

人文学研究科担当



東洋史概説Ⅰ・Ⅱ、東洋史文献講読Ⅰ・Ⅱ、東洋史演習Ⅰ・Ⅱ、東洋史特殊講義、プレ卒業研究演習、卒業研究、学修基礎Ⅰa・b、FSP 講座、アジア歴史文化学特論Ⅰ・Ⅱ 他

担当科目 : Ⅱ、東洋史特殊講義、プレ卒業研究演習、卒業研究、学修基礎Ⅰa・b、FSP 講座、アジア歴史文化学特論Ⅰ・Ⅱ 他

出身学校 : 金沢大学、東北大学大学院

学位 : 博士(文学)

所属学会 : 北陸史学会 東アジア恠異学会 日本中国学会 日本道教学会 東方学会

E-mail : s-sasaki@kanazawa-gu.ac.jp

### Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇「中国歴代王朝における天文五行占書の編纂と禁書政策」(水口拓寿編『術数学研究の課題と方法』汲古書院、2022 年) ◇「ベトナム阮朝における天文五行占の受容と禁書政策」(水口幹記編『前近代東アジアにおける〈術数文化〉』勉誠出版、2020 年) ◇「異と常：漢魏六朝における祥瑞災異と博物学」(東アジア恠異学会編『恠異学の地平』臨川書店、2018 年) ◇『復元白沢図：古代中国の妖怪と辟邪文化』(白澤社、2017 年) ◇「《礼緯含文嘉・精魅篇》の辟邪思想と鬼神観」(中国語、『復旦学報(社会科学篇)』2014 年・第 5 期) ◇「『開元占経』の諸抄本と近世以降の伝来について」(『日本中国学会報』第 64 集、2012 年) ◇「初期道教経典に見える鬼神観再考：〈発病占〉と暦日の冥官の関係に着目して」(『東方宗教』第 141 号、2023 年)

### Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

儒教理念の一つである祥瑞災異思想を背景とした占術文化の研究。特に、中国歴代王朝における統制管理と社会受容の実態、東アジア諸国への伝播状況などについて。

(Hiroko Tone)

准教授

**戸根 比呂子**

人文学研究科担当



考古学概説Ⅰ・Ⅱ、考古学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、考古学実習Ⅰ・Ⅱ

担当科目 : Ⅱ、文化財の保護と活用、考古学特殊講義、プレ卒業研究演習、卒業研究、日本考古学特論Ⅰ・Ⅱ 他

出身学校 : 京都大学、京都大学大学院文学研究科

学位 : 修士

所属学会 : 石川考古学研究会、日本玉文化学会、江沼地方史研究会  
文化財写真技術研究会

E-mail : tone@kanazawa-gu.ac.jp

### Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇「『東海系』の玉の流通」(『玉文化』第 5 号 日本玉文化研究会 2008 年) ◇「弥生時代玉文化研究の展望」(『玉文化』第 10 号 日本玉文化研究会 2013 年) ◇「七観古墳出土の玉」(『七観古墳の研究—1947 年・1952 年出土遺物の再検討—』(平成 19～21/22～24 年度科学研究費補助金(若手研究(B)/(A))研究成果報告書)京都大学大学院文学研究科 2014 年) ◇「片山津玉造遺跡の研究の現状と課題」(『加賀・能登王墓の世界』石川県立歴史博物館 2016 年) ◇「北陸における弥生時代の玉研究」(『考古学ジャーナル』No.739 2020 年) ◇「玉つくり研究と地域の視点—北陸における研究の現状と課題—」(『北陸と世界の考古学(日本考古学協会 2021 年度金沢大会資料集)』2021 年) ◇『河田向山古墳群測量調査報告書 1(金沢学院大学考古学調査報告 3)』(共著、2023 年) ◇『河田山 9 号墳確認調査報告書 1(金沢学院大学考古学調査報告 4)』(共著、2024 年)

### Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

弥生・古墳時代の玉類の生産と流通、碧玉原石産地遺跡の考古学的研究、石川県内を中心とした古墳調査



(Yukari Matsumura)

准教授

**松村 祐香里**

人文学研究科担当



担当科目 : 英米文学概論 I、英米文学講読 I・II、英米文学演習 I 他  
出身学校 : 慶應義塾大学文学部、慶應義塾大学大学院文学研究科  
学 位 : 修士 (文学)  
所属学会 : 日本英文学会 日本ミルトン協会 十七世紀英文学会  
E-mail : y-matsumura@kanazawa-gu.ac.jp

## I. 主な研究業績・作品等

◇「現世の鏡として—Paradise Lost におけるエデンの園と地獄の共通点—」『金沢学院大学紀要』18 号 (2020) ◇「The Reprobate in Paradise Lost: Milton's Satan and the Crisis of Conscience」(慶應義塾大学大学院文学研究科英米文学専攻 『Colloquia』), 35 (2014) ◇「『失樂園』における無常観—スペンサーとの比較を通して見る自由意思の重要性—」、『藝文研究』(慶應義塾大学藝文学会)、112 (2017))

## II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ジョン・ミルトンの『失樂園』を中心に、17 世紀イギリスの文学を研究しています。楽園の表象や無常観を読み解くことで、宗教的にも政治的にも大きく変動した 17 世紀のイギリスを生きた人々のメンタリティーを明らかにしたいと考えています。

(Hiroto Murohashi)

准教授

**室橋 弘人**

人文学研究科担当



心理学概論 A、心理学統計法 I・II、心理学研究法 I、心理学実験 I、社会・集団・家族心理学、産業・組織心理学、社会心理学演習 I・II、キャリアデザイン I 他  
出身学校 : 早稲田大学  
学 位 : 博士 (文学)  
所属学会 : 日本心理学会 日本教育心理学会 日本行動計量学会 他  
E-mail : murohashi@kanazawa-gu.ac.jp

## I. 主な研究業績・作品等

◇「Trajectories of Early Television Contact in Japan: Relationship with Preschoolers' Externalizing Problems.」(Journal of Children and Media 9(4), 2015 年) ◇「Model Specification Search Using a Genetic Algorithm with Factor Reordering for a Simple Structure Factor Analysis Model.」(Japanese Psychological Research 49(3), 2007 年) ◇「構造方程式モデリングによる一対比較法の分析—シェッフェの方法とその改良—」(心理学研究 75 (4), 2004 年) ◇「縦断データの分析 I—変化についてのマルチレベルモデリング—」(分担翻訳、朝倉書店、2012 年) ◇「新・発達心理学ハンドブック」(分担執筆、福村出版、2016 年) 他

## II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

青少年の発達に関する繰り返し測定データの分析、機械学習の心理学への応用

(Maaya Ooue)

講師

**大上 真礼**

人文学研究科担当



臨床心理学概論、心理学的支援法、心理的アセスメント、臨  
担当科目 : 床心理学演習、心理実習、プレ卒業研究演習、卒業研究、保  
健医療分野に関する理論と支援の展開 他  
出身学校 : 東京大学大学院教育学研究科  
学 位 : 博士 (教育学)  
所属学会 : 日本心理学会、日本心理臨床学会、日本感情心理学会、日  
本パーソナリティ心理学会 他  
E-mail : ooue@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇コロナ禍が食料品の購買行動・意識にもたらした変化—コロナ禍前から 2022 年 8 月までの時点間比較に基づく調査分析— 土木学会論文集, 79(6), 2023.(共著)  
◇男女で「女子力」という言葉のとらえ方は異なるか—「女性における女子力の高さ」の意味内容と性差の検討— 日本語とジェンダー, 20, 13-25, 2022.(共著)  
◇「むなしさ」から探る高齢者の生きがい感向上へのヒント—社会および家族の場面に着目して— 生きがい研究, 26, 55-70, 2020.  
◇ディタッチト・マインドフルネスの促進を目的としたゲーム・アプリケーションの可能性の検討——アプリの開発と実証試験を通して—— マインドフルネス研究 2(1), 1-7, 2017.(共著)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

高齢者が感じる「むなしさ」  
大学院生のメンタルヘルス  
若者の「女子力」への態度

(Shuichi Kurosaki)

講師

**黒崎 周一**

人文学研究科担当



西洋史概説 I・II、西洋政治史、西洋史特殊講義、西洋史  
担当科目 : 文献講読 I・II、西洋史演習 I・II、プレ卒業研究演習、  
卒業研究 他  
出身学校 : 明治大学大学院  
学 位 : 博士 (史学)  
所属学会 : 日本西洋史学会 社会経済史学会 歴史学会  
E-mail : kurosaki@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇『ホメオパシーとヴィクトリア朝イギリスの医学 —科学と非科学の境界』刀水書房 2019 年◇  
「ハーネマンとは何者か? —ヴィクトリア朝イギリスにおけるホメオパシーの受容と再構築」  
『駿台史学』第 158 号, 2016 年◇「医療は科学と呼べるのか?: ヴィクトリア朝イギリスにおける治療の『法則性』をめぐる」『駿台史学』第 155 号, 2015 年  
◇「医学における「正統」と「異端」 : ヴィクトリア朝イギリスのホメオパシーを事例として」  
『西洋史学』第 254 号, 2014 年。

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ヴィクトリア朝イギリスにおける科学と非科学の境界設定

(Akiyo Suzuki)

講師

**須崎 暁世**

人文学研究科担当



担当科目 : 福祉心理学、臨床心理学演習Ⅰ・Ⅱ、教育・学校心理学、関係行政論、司法・犯罪心理学、プレ卒業研究演習、心理学的支援法 他  
出身学校 : 神戸大学  
学 位 : 博士(学術)  
所属学会 : 日本心理臨床学会、日本青年心理学会、日本発達心理学会、日本人間性心理学会  
E-mail : suzaki@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇生活の場で親子関係の再構築を考える—母子生活支援施設における支援から— 人間性心理学研究, 36(No. 1), 105-117, 2018
- ◇母子生活支援施設における支援の検討—心理的支援と「第三の人」の持つ意味— 神戸山手大学紀要, 21, 81-91, 2019
- ◇青年期における親子間葛藤—質問紙調査結果から見える実態— 関西国際大学研究紀要, 24, 71-84, 2023

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

青年期における親子間葛藤と関係の再構築、母子生活支援施設における心理的支援

(Eiichi Takahashi)

講師

**高橋 栄一**



担当科目 : 人文地理学概説Ⅰ・Ⅱ、地誌、社会科・地歴科教育法、教職実践演習、特別活動と総合的な学習の時間の理論と実践 他  
出身学校 : 東京学芸大学  
学 位 : 修士(教育学)  
所属学会 : 日本地理学会 日本地理教育学会 日本グローバル教育学会 学芸地理学会 石川地理学会  
E-mail : e-takahasi@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇「草津本白根火山の地形地質と植物群落」◇「野外における子どもの空間認知構造に関する研究」—水平・垂直距離の場合— ◇「白山麓におけるスキー場を中心とした観光開発から通年リゾートへ」◇「新しい高校地理のスコープとシークエンスをめざして」◇「地理教育の活性化を考える : 文系科目としての高校「地理」の成熟を目指して」◇「異文化研究」カリキュラム開発—SGH, 研究課題「異文化研究」実践報告— ◇「地形と地形図の学習に関する授業方法の一試案—立体模型・3Dソフトを有効利用した授業の試み—」

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

効果的なアクティブラーニングを取り入れた社会科授業実践方法の研究。  
高等学校における総合的な探求の時間の実践方法の研究。・新指導要領に基づく高等学校地理歴史科の新科目のスコープとシークエンス。  
society5.0時代の双方向の活動を重視した授業の研究。  
教員養成に資する効率的な指導方法の研究。



(Makoto Deguchi)

講師

**出口 誠**

人文学研究科担当



担当科目 : 日本文学入門、古典文学演習、古典文学講読Ⅰ・Ⅱ、漢文学  
 研究演習、卒業研究、日本文学演習 他

出身学校 : 筑波大学大学院人文社会科学研究科

学位 : 博士(文学)

所属学会 : 和漢比較文学会(理事)、中古文学会、説話文学会、北陸古  
 典研究会、筑波大学日本語日本文学会

E-mail : m-deguchi@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇「三善道統の「執政人に申す」申文をめぐって一円融朝の人事と申文の機能と一」(『和漢比較文学』70号、2023年)
- ◇「追贈の詔と託宣一菅原道真への三次の追贈をめぐって一」(『説話文学研究』57号、2022年)
- ◇「一条朝の聖代——平安朝漢文学における「聖代」の展開——」(『中古文学』108号、2021年)
- ◇「大江匡衡「申弁官左右衛門権佐大学頭等状」考——延喜・天曆聖代と文道——」(『和漢比較文学』61号、2018年) 他

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

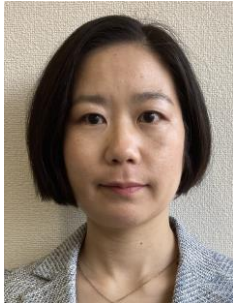
平安時代中後期の紀伝道文人の研究、および天神信仰の研究

(Yui Nakatsuma)

講師

**中妻 結**

人文学研究科担当



担当科目 : 原典講読Ⅰ・Ⅱ、Advanced EnglishⅠ・Ⅱ、English  
 DiscussionⅠ・Ⅱ、基礎英語Ⅰ・Ⅱ、プレ卒業研究演習 他

出身学校 : 東京女子大学

学位 : 博士(人間文化科学)

所属学会 : 日本英文学会、ディケンズ・フェロウシップ

E-mail : nakatsuma@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇*London and Literature, 1603-1901*. (共著). Newcastle upon Tyne: Cambridge Scholars Publishing. 2017. ◇“Japanese Neo-Victorian Fictions: Looking Back at the Victorian Age from Japan.” *Neo-Victorian Studies*. 11:2 (18-39). 2019. ◇“The Energy of Creating: The Conceptualised Framework and Its Illusion in John Fowles’ s *The French Lieutenant’ s Woman*.” 順天堂大学『順天堂グローバル教養論集』. 6: 59-71. 2021.

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

イギリス・ヴィクトリア朝小説：特に、チャールズ・ディケンズとジョージ・ギッシング  
 ヴィクトリア朝を現代的視点で語る作品群：ネオ・ヴィクトリアニズム

(Yusuke Mizuhashi)

講師 **水橋 雄介**



担当科目 : 哲学と倫理、教育原論、教育原理、道徳教育論、フラン  
ス語 I・II 他  
出身学校 : 大阪大学  
学 位 : 博士 (人間科学)  
所属学会 : 西田哲学会、実存思想協会  
E-mail : mizuhashi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「猫と歴史的世界 あるいはストレンジャーのポイエシス——アンリ・マルディネから西田幾多郎を読み直す——」、金沢学院大学紀要 (第 20 号)、2022 年 3 月  
◇「感覚する現在 西田幾多郎 『自覚における直観と反省』におけるヘルマン・コーヘン受容をめぐって」、西田哲学会年報 第 15 号)、pp.126 141、2018 年 7 月  
◇「述語とパースペクティヴ——西田幾多郎『意識の問題』でのパースペクティヴと衝動」、大阪大学人間科学研究科共生学ジャーナル (第 2 号)、pp.58 81、2018 年 3 月

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

明治以降の日本の哲学、特に西田幾多郎の哲学の研究

(Richard Grassi)

講師 **Richard Grassi**



担当科目 : English Communication I・II、English Writing、English  
Presentations I・II 他  
出身学校 : University of San Jose  
学 位 : 人文学博士  
所属学会 : CTSG  
E-mail : grassi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇English Language textbooks— “Shift the Focus” “Felicity 2” “Felicity 1”  
◇Humanities books— “Sketches of the Cotswolds” “A Scribbled Response”

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

“Let’s Eat Bugs” “Purpley-Pink House” (series of five children’s books)  
“Goobee Da Loon” (series of three children’s books) “The ART of Presentation: Japanese  
Teacher Training Workshop”, Kanazawa

# 金沢学院大学 教育学部

学部長 多田 孝志

|      | 教授                                                 | 准教授                                                        | 講師                                             | 助教    |
|------|----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|-------|
| 教育学科 | ○笠間 弘美<br>佐田東 彰<br>多田 孝志<br>仁八 潔<br>前田 洋一<br>山内 隆之 | 奥泉 敦司<br>木村 昭雄<br>谷口 卓<br>的場 茂樹<br>藤井 徳子<br>村松 麻里<br>米川 泉子 | 枝元 香菜子<br>孫工 季也<br>向田 識弘<br>森 舞<br>山口 由美子 (特任) | 栃原 華子 |

○：学科長

(五十音順)

(Hiromi Kasama)

教授

**笠間 弘美**



担当科目 : 英語 I・II、英語学概論、英語文法論、英語表現 I・II 他  
出身学校 : 龍谷大学/ (米) セント・マイケルズ大学大学院  
学 位 : MA (TESL)  
所属学会 : 日本マンスフィールド協会 大学英語教育学会 日本英語教育史学会 日本ニュージャーナリスト学会  
E-mail : kasama@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇『マンスフィールド事典』(共著) 文化書房博文社 2007 年 10 月 ◇「『Life of Ma Parker』に見るマンスフィールドの孤独描写に関する一考察」『マンスフィールド研究』第 11 号日本マンスフィールド協会 2018 年 10 月 ◇「A Review of the Leading Methods of Foreign Language Teaching Thus Far: Toward the English Education of the Future」『金沢学院大学紀要』第 16 号 2018 年 3 月 ◇「中学校検定英語教科書に見る自動詞・他動詞の取り扱いに関する一考察ー教員養成と教員研修に活用する英語の背景知識の観点からー」『金沢学院大学教職センター紀要』第 4 号 2021 年 3 月

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他  
コーパス処理に基づく文学作品の文体研究  
英語教科書の国際比較など

(Akira Saito)

教授

**佐田 東 彰**

人文学研究科担当



担当科目 : 保育の心理学、幼児理解と教育相談、特別支援教育総論、障がい児保育、障がい児教育 他  
出身学校 : 日本大学法学部、上越教育大学大学院障害児教育研究科  
学 位 : 修士  
所属学会 : LD 学会 行動分析学会 特殊教育学会  
E-mail : a-saito@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇通常の学級に在籍する児童への特別支援学校のセンター的機能を通したわり算指導に関する一考察ー認知アセスメントに基づく九九の自動化とわり算手順表の視覚教材を用いた指導ー平成 31 年 2 月, 『LD 研究』第 28 巻第 1 号 (111~132 頁) ◇算数障害を有する児童に対する九九の自動化のための学習支援ー認知特性と九九のつまずきの分析からー, 平成 30 年 3 月, 『上越教育大学研究紀要』第 37 巻第 2 号, 上越教育大学 (371~383 頁) ◇強い反抗性を示す ADHD 児の問題行動と学級全体の問題行動に対する支援ークラスワイドな支援と個別支援を組み合わせた支援過程の妥当性ー, 平成 29 年 5 月, 『LD 研究』第 26 巻, 第 2 号, 日本 LD 学会 (253-269 頁) ◇計数行動が困難な自閉症スペクトラム障害児に対する刺激等価性を用いた指導, 平成 30 年 3 月, 『金沢学院大学教職センター紀要』第 1 号, 金沢学院大学 (183-198 頁) ◇自閉症スペクトラム障害のある幼児の不規則発言の減少と適切行動の増加, 平成 29 年 3 月, 上越教育大学特別支援教育実践研究センター紀要』第 23 巻, 上越教育大学, (49~56 頁)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

通常の学級における特別な支援を要する幼児児童生徒への支援、問題行動への支援、学習障害への支援

(Takashi Tada)

教授 **多田 孝志**



担当科目 : 国際理解教育概論、多文化理解概論 他  
出身学校 : 東京学芸大学  
学 位 : 博士 (学校教育学)  
所属学会 : 日本学校教育学会 日本国際理解教育学会 日本環境教育学会  
E-mail : tada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『地球時代の教育とは』(単著)(岩波書店、2000年)◇『授業で育てる対話力』(単著)(教育出版、2011年)◇『現代国際理解教育事典』(日本国際理解教育学会編、編纂委員長、明石書店、2012年)◇『持続可能な社会のための教育』(佐藤学 諏訪哲郎 木曾功 多田孝志編著、教育出版、2015年)◇『教育のいまとこれからを読み解く57の視点』(多田孝志編集代表、教育出版、2017年)◇『グローバル時代の対話型授業の研究』東信堂◇『対話型授業の理論と実践』教育出版◇学校発3.0×SDGs 時代を生き抜く教育への挑戦(2020年)◇新たな時代の教員養成(2020年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他  
新たな時代の教員・保育者養成の理論と実践

(Kiyoshi Nihachi)

教授 **仁八 潔**



担当科目 : 社会、初等教科教育法社会、スクールソーシャルワーク  
論、総合的な学習の時間の指導法 他  
出身学校 : 上越教育大学大学院 学校教育研究科  
学 位 : 修士  
所属学会 : 日本生徒指導学会、学校心理士会  
E-mail : nihachi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇人権教育の基礎的研究 ― 小・中学校「社会科」教科書の「人権」に関わる記述に焦点をあてて―単著 金沢学院大学 教職センター紀要 第6号 p185-p214 2023.3 ◇高等学校「公共」における生徒指導の機能を生かした授業研究 ―生徒の「自己存在感」の育成を図る授業に焦点をあてて― 単著 共創型対話学習研究所機関誌(論文集)第7号 p150-p164 2023.3 ◇授業のICTの活用 ―社会科における効果的な指導に焦点をあてて― 共著 金沢学院大学紀要第22号 p76-p93 2024.3 ◇SGEの活用で「教師・保護者連携チーム」結成を(共著)図書文化 エンカウンターでいじめ対応が変わる p114-p115 2019.6 ◇新しい人権問題への対応 高校における情報教育での取組み(共著)協同出版 教職課程 p30-p33 2005.12 ◇50分でできる「解決志向の事例検討会」(共著)ほんの森出版 月刊学校教育相談 p38-p43 2012.11

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他  
学校心理学の視点による生徒指導・教育相談の実践のあり方  
若手教員研修のあり方の研究 他



(Youichi Maeda)

教授 **前田 洋一**



担当科目 : 教育原理、教育経営概論、「チーム学校」と学校組織マネジメント、地域協働と学校の役割 他  
出身学校 : 金沢大学 教育学部  
福井大学大学院 教育学研究科  
学 位 : 修士(教育学)  
所属学会 : 日本学校教育学会 日本グローバル教育学会  
E-mail : Y-maeda@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇幼児期と児童期の接続カリキュラムの開発 ～子どもの育ちと学びをつなぐために～ (共著) Mj-books 2011/4/1 ◇教育フォーラム 48 国際教育の課題と展望 (共著) 金子書房 2011/8/1 ◇子どもの育ちと学びをつなぐー幼小連携のあり方と接続カリキュラムの作成ー (共著) Mj-books 2012/9/1 ◇力と夢を育てる新しい学校づくり (共著) 教育出版 2013/4/1 ◇学校づくりに特効薬はあるかー生徒満足度 97.4%の学校ができたー (単著) 株式会社 ERP 2013/5/1 ◇学校経営とリーダーシップ (単著) 株式会社 ERP 平成 27 年 4 月 ◇教育フォーラム 56 アクティブ・ラーニングとは何か (共著) 金子書房 平成 27 年 8 月 ◇学校改革に対する教員の心理的抵抗の払拭に関する実践的研究 鳴門教育大学研究紀要 第 31 巻 pp. 21-32 2017/2/1 ◇学校運営の状況が教員の自己認知・他者認知にどのような影響を与えるか 自己評価維持モデルに着目して 鳴門教育大学研究紀要 第 34 巻 pp. 27-36 2020/2/1  
平成 19 年度 文部科学大臣 優秀教員表彰

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 学校組織マネジメント、教員の力量形成

(Takayuki Yamauchi)

教授 **山内 隆之**



担当科目 : 初等教科教育法(図画工作)、表現演習Ⅱ、図画工作、総合的な学習の時間の指導法、幼児と表現 他  
出身学校 : 上越教育大学大学院学校教育専攻教育経営コース  
学 位 : 修士  
所属学会 : 日本学校教育学会  
E-mail : yamauchi@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇命の教育についての一考察ー命の教育に関する理念・施策を踏まえた実践論的立場からー(2007 年 8 月) ◇学校防災から地域防災へー豪雨災害の経験を踏まえてー(2016 年 2 月) ◇変化する社会に対応した教員の使命感や倫理観を高める授業の取り組み-共通必修科目『社会と教員』の授業実践を通して-(2018 年 3 月) ◇カリキュラム・マネジメントと授業・教育課程・学校経営改善(2018 年 3 月) ◇全国教職大学院の「学校における実習」の実施方法に関する一考察(2019 年 3 月) ◇「参加・協働・内省」を取り入れた教員研修の実践について-教員免許更新講習ー学校の内外における連携協力についての理解」の実践事例よりー(2022 年 2 月) 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 図画工作科研究、教育経営研究、総合的な学習、防災教育、危機管理

(Atsushi Okuizumi)

准教授 **奥泉 敦司**



担当科目 : 保育者論、保育インターンシップ 他  
出身学校 : 埼玉大学、上越教育大学大学院  
学 位 : 修士(教育学)  
日本学校教育学会 教育哲学会 日本保育学会 日本教  
所属学会 : 師教育学会 日本乳幼児教育学会 日本保育者養成教育  
学会 上越教育経営研究会  
E-mail : okuizumi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇現職保育士・幼稚園教諭の研修に関する一考察(共著) ◇教員養成における教育哲学の有用性に関する調査研究—学生は何を求め、何を学ぶのか—(共著) ◇養育場面における幼児の反応と批判的思考に関する実証的研究—「ほめる・叱る」行為における養育者の態度の考察を通して—(単著)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

保育者志望学生の教育観の形成過程に関する研究  
保育理論の思想史的変遷に関する研究  
保育環境整備に関する政策変遷に関する研究

(Akio Kimura)

准教授 **木村 昭雄**



担当科目 : 教育課程論、生徒・進路指導論、総合的な学習の時間の指導法 他  
出身学校 : 新潟大学教育学部、横浜国立大学大学院教育学研究科  
学 位 : 修士  
所属学会 : 日本学校教育学会  
E-mail : ak-kimura@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『特別活動のための実践的ナビゲーションブック 特別活動Q&A 特別活動の問い 119 に応える』(共著) 横浜市立小学校特別活動研究会 ◇『教師力向上の鍵 メンターチームが教師を育てる、学校を変える!』(共著) 時事通信社 ◇「人材育成のためのチームングによるメンターチームマネジメント—K小学校の特別活動の指導を事例として—」(共著) 共創型対話学習研究所所報『未来を拓く教育実践学研究』第1号, pp. 109-116 ◇「社会に開かれた教育課程に関する一考察 —カリキュラム・マネジメントと総合的な学習の時間の実際—」(単著) 共創型対話学習研究所所報『未来を拓く教育実践学研究』第4号 pp. 70-79 ◇「いじめ事案への対応を通じた「チーム学校」による児童指導に関する一考察」(共著) 共創型対話学習研究所所報『未来を拓く教育実践学研究』第4号 pp. 101-112 ◇「障害をもつ子どもの通常学級への通学ニーズに応える「チーム学校」の運営に関する研究 —学校と地域との協働の事例を通して—」(共著) 金沢学院大学教職センター編『金沢学院大学教職センター紀要』第3号 pp. 67-94

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

実践と理論の往還による教育課程に関する研究及び、児童・生徒指導に関する研究

(Takashi Taniguchi)

准教授

**谷口 卓**



担当科目 : 社会福祉、子ども家庭支援論、社会的養護Ⅰ・Ⅱ、幼児理解と教育相談、子ども家庭福祉、福祉心理学 他

出身学校 : 早稲田大学教育学部

学 位 : 教育学士

所属学会 : 社会政策学会、こども虐待防止学会

E-mail : t-taniguchi@kanazawa-gu.ac.jp

#### Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇保育と子ども家庭福祉（共著、みらい、2019）
- ◇子ども家庭福祉（編著、青山社、2017）
- ◇福祉と養護（第2版）（共著、みらい、2016）
- ◇保育原理（共著、一藝社、2016）
- ◇実践から学ぶ児童虐待防止（編著、学苑社、2007）

#### Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

コロナ前とコロナ後における子育てに関する意識調査  
児童虐待とAIとの学際的研究

(Shigeki Matoba)

准教授

**の場 茂樹**



担当科目 : 体育理論、初等科教育法（体育）、地域協働と学校の役割、ビジネスソフト（基礎・応用）他

出身学校 : 金沢大学 上越教育大学大学院

学 位 : 博士（教育学）

所属学会 : 日本学校教育学会

E-mail : matoba@kanazawa-gu.ac.jp

#### Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇体育科教育におけるコンピュータ活用の可能性について（1996年）
- ◇小学校の体育における学習支援Webサイトの開発と活用（2006年）
- ◇小学校のITC教育の取り組みについて（動画 2021年）

#### Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

小学校における効果的なITC教育の取り組みについて



(Noriko Fujii)  
准教授 **藤井 徳子**



担当科目 : 保育内容指導法(環境)、幼児と環境、初等教科教育法(理科)、理科、保育内容総論 他

出身学校 : 神戸大学教育学部、放送大学大学院

学 位 : 学術修士

所属学会 : 日本環境教育学会、日本自然保育学会、日本保育学会

E-mail : n-fujii@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「保育者養成課程の学びにおける学生の困難感～学外実習の事前事後アンケート分析による検討～」, 富山福祉短期大学紀要, 第16巻第1号 pp. 23-30, 共著, 2021年10月 ◇「保育士養成課程の施設実習事前指導におけるアクティブ・ラーニング型授業の学習効果の検証」, 富山福祉短期大学紀要, 第15巻第2号 pp. 51-63, 共著, 2021年3月 ◇「学生による地域フィールドワーク研究助成事業実践報告「利賀の豊かな自然を活かした自然保育プログラムによる子育て支援」」, 富山福祉短期大学紀要, 第14巻第2号 pp. 35-43, 単著, 2020年12月 ◇「Why Does Forest Kindergarten not Spread in Japan」, The 10th World Environmental Education Congress, 単著, 2019年11月 ◇「大学・自治体・NPO 協働自然保育プログラムにおける保育者養成の効果」, 富山福祉短期大学紀要, 第13巻第2号 pp. 93-103, 共著, 2018年10月

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

保育における森林活用

乳幼児の非認知能力を育む自然保育プログラムの社会実装

自然保育の教育効果とその検証

自然保育のための保育者養成プログラムの開発

(Mari Muramatsu)  
准教授 **村松 麻里**



担当科目 : 英語 I・II 英語コミュニケーション I・II 初等教科英語教育法 小学校英語 海外英語教材比較研究 他

出身学校 : 早稲田大学 立教大学大学院

学 位 : 修士(異文化コミュニケーション学)

所属学会 : 小学校英語教育学会 日本児童英語教育学会 日本学校教育学会 他

E-mail : m-muramatsu@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「英語教育における絵本の活用に関する考察—Real Books, Reading Schemes, ELT 絵本の比較分析を通して」『異文化コミュニケーション論集』第8号、pp. 57-72、2010年 ◇「小学校英語における絵本を再考する：絵本論の視点から」『小学校英語への専門的アプローチ：ことばの世界を拓く』綾部保志・編、春風社、pp. 140-153、2019年 ◇「小学校の言語教育における読み物の活用に関する一考察—アメリカの公立小学校の母語教育を事例として」『未来を拓く教育実践学研究』第4号、pp. 48-59、2020年 ◇「小学校外国語の文字学習における現代絵本の活用：第二言語習得の視点から」『金沢学院大学教職センター紀要第4号』金沢学院大学、pp. 277-292、2021年

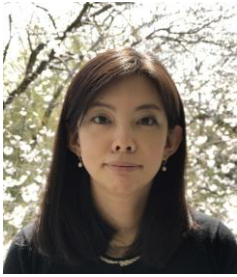
#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

小学校英語教育、英語教育における絵本の活用

(Motoko Yonekawa)

准教授

**米川 泉子**



担当科目 : 保育課程論、教育課程論、幼児と言葉、幼児と人間関係、  
保育内容指導法(言葉)、幼児・児童文化、保育内容指導法(人  
間関係)、教育実習指導Ⅰ・Ⅱ(幼) 他  
出身学校 : 上智大学大学院  
学 位 : 修士(教育学)  
所属学会 : 日本保育学会 教育哲学会 関東教育学会 日本カトリッ  
ク教育学会 絵本学会  
E-mail : yonekawa@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「第17章 未来の社会に求められる資質とは?—異なる文化の他者とともに生きる」井藤元編『ワークで学ぶ教育学 増補改訂版』ナカニシヤ出版、216～229頁、2020年 ◇「第5章 戦後の道德教育はどう変化したのか?戦後～「特別の教科 道德」まで」井藤元編『ワークで学ぶ道德教育 増補版』ナカニシヤ出版、57～69頁、2020年 ◇「第8章 遊びによる総合的な保育」佐藤哲也編著『子どもの心によりそう保育内容総論〔改訂版〕』、114～123頁、2018年、福村出版 ◇「第8章 保育内容—遊びを通じての保育」佐藤哲也編著『子どもの心によりそう保育原理〔改訂版〕』、96～107頁、2018年、福村出版 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

「遊びを通じた想像力の育成と人間性の涵養」「批評理論からする絵本の分析」

(Kanako Edamoto)

講師

**枝元 香菜子**



担当科目 : 教職入門、体育Ⅰ、体育実技、幼児と健康、保育内容指導  
法(健康) 他  
出身学校 : 東京学芸大学教育学部、東京学芸大学大学院教育学研究科  
保健体育専攻  
学 位 : 修士(教育学)  
所属学会 : 日本体力医学会、日本学校教育学会、日本登山医学会  
E-mail : edamoto@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「日常生活下における身体活動の増加が閉経後女性の食後中性脂肪濃度に及ぼす影響」『体力科学』第64号(共著、日本体力医学会、2015年) ◇「身体活動量を高め運動継続に繋げるための体育授業に関する一考察」『人と教育』第11号(単著、目白大学教育研究所、2016年) ◇「児童における足機能・形態と疼痛リスクおよび新体力テスト成績との関連性」『金沢学院大学紀要』第18号(共著、金沢学院大学、2020年)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

高所での滞在時にみられる生理学的応答及び心理学的応答の変化  
教員養成から初任者への円滑なトランジションを促す教職実践演習プログラムの開発

(Toshiya Magoku)

講師

**孫工 季也**



担当科目 : 英語科教育法Ⅱ、文化比較論、英語プレゼンテーション、  
英語Ⅰ・Ⅱ 他  
出身学校 : 京都大学大学院  
学 位 : 教育学(修士)  
所属学会 : 英語教育史学会、言語政策学会、関西社会学会  
E-mail : magoku@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇Ueno Maito, Magoku Toshiya and Nishiyama Atsuko (2019). The possible features of natural English pronunciation for Japanese learners and native speakers of English. ISAPh2018 International Symposium on Applied Phonetics Proceedings. 126-130. ◇孫工季也 (2021). 「中学英語教科書における文化の語られ方—超えられつつある境界と残された課題」『神戸英語教育学会紀要』, 1(36), 71-80. ◇孫工季也 (2021). 「高校英語教科書における批判的思考力育成の内実—社会問題に関する設問分析を中心に」辻伸幸・上野舞斗・青田庄真・川口勇作・磯部かり(編)『『英語教育の歴史に学び・現在を問い・未来を拓く—江利川春雄教授退職記念論集—』(pp. 303-311.). 溪水社.

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 戦後日本社会における英検の広がり

(Norihiro Mukaida)

講師

**向田 識弘**



担当科目 : 教育方法・技術論、デジタル教材開発、ICT 活用教育概論、  
教育課程と教育方法・技術、コンピュータ基礎演習、ICT とイ  
ンクルーシブ教育 他  
出身学校 : 広島大学大学院教育学研究科  
学 位 : 修士(教育学)  
所属学会 : 日本産業技術教育学会、日本教育工学会、教育システム情  
報学会、AI 時代の教育学会  
E-mail : mukaida@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「高等学校情報科の教育内容の変遷に関する研究」,『広島大学大学院人間社会科学研究科紀要教育学研究』, 第2巻, pp.43-50, 共著, 2021年  
◇「問題解決能力の育成による農業への可能性(2)」,『アグリバイオ』, 第6号, 73 巻, pp.267-268, 単著, 2022 年 ◇「中学校技術・家庭技術分野指導スキル大全」,『明治図書出版』, pp.35-36,66-67,76-77,84-85,96-97,144-145,162-163, 共著, 2022 年  
◇「AI リテラシー教育における AI との向き合い方を考える授業の検討」,『AI 時代の教育論文誌』, 第5巻, pp.5-15, 単著, 2022 年 ◇「中学校技術・家庭技術分野新3観点の学習評価完全ガイドブック」, 明治図書出版, pp.40-43,48-49,82-85,108-111,130-134, 共編著, 2023 年  
◇「中学校技術・家庭技術分野「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価完全ガイドブック」, 明治図書出版, pp.52-57,100-111, 共編著, 2023 年 ◇「日本型 STEM 教育のための理論と実践」, 学校図書株式会社, pp.138-147, pp.162-179, 共著, 2023 年 ◇「教員養成におけるものづくりやアートを軸とした STEAM 教育の開発 コマ撮りアニメーションを題材とした ICT 活用教育概論・図画工作の連携授業を通して」,『日本美術教育研究論集』, 第37巻, pp.63-71, 共著, 2024 年 ◇「情報活用能力とメディア・リテラシーを意識した情報モラル授業の検討と試行」,『愛知教育大学研究報告(芸術・保健体育・家政・技術科学・創作編)』, 第73巻, pp.64-71, 2024 年

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 ICT 利活用教育、ものづくり教育の方法と技術、デジタル教材開発に関する研究

(Mai Mori)

講師 **森 舞**



担当科目 : 初等教科教育法 (音楽)、音楽基礎、表現演習Ⅰ、保育内容指導法 (表現)、幼児と表現、ピアノ講座 他  
出身学校 : 金沢大学大学院  
学 位 : 修士 (教育学)  
所属学会 : JPTA 日本ピアノ教育連盟、日本保育学会、全国大学音楽教育学会  
E-mail : mai-m@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇『協働して音楽活動をする楽しさ』の探究とその指導法の一考察 —バイエル連弾を通して—  
2019 年金沢学院大学紀要  
◇ピアノで効果音を加えた絵本の読み聞かせの実践と表現領域との関連性の一考察 2020 年金沢学院大学紀要  
◇(株)HOPPA 主催「手作りおもちゃコンテスト 2023」最優秀賞受賞(森ゼミ) 2023 年  
◇いしかわ百万石文化祭 2023「学生の文化活動促進事業」認定事業「親子で楽しむわくわくコンサート」企画実施 2023 年

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ピアノ初心者へのピアノ指導法  
幼児期の印象的な音楽体験の模索

(Yumiko Yamaguchi)

特任講師 **山口 由美子**



担当科目 : 算数、初等教科教育法 (算数) 他  
出身学校 : 金沢大学  
学 位 : 修士 (教育学)  
所属学会 :  
E-mail : yumi03yama@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇数学に連携する算数教育の試行—本質にこだわる教材開発—  
◇関数の理解を助けるために —N 図の提案—  
◇いつでもどこでもパソコン環境◇教えて考えさせる授業—平均の授業での理解深化問題の工夫—

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

『意味指導を確実にするための教材配列について』  
『“なまわり” から “わかる” へ理解を深める指導の工夫』

(Hanako Tochihara)

助教

**栢原 華子**



担当科目 : 保育・教職実践演習(幼)、保育実習指導Ⅰ・Ⅱ、教職入門Ⅰ・Ⅱ、乳児保育Ⅰ・Ⅱ、保育内容指導法(表現) 他  
出身学校 : 奈良女子大学大学院人間文化研究科  
学 位 : 修士(文学)  
所属学会 : 日本環境教育学会  
E-mail : tochihara@kanazawa-gu.ac.jp

**Ⅰ. 主な研究業績・作品等**

◇「鳥取県における2つの自然保育認証制度の意義-自然体験活動をめぐる議論の検討を中心として-」『筑波大学教育学系論集』第46巻第2号 2022年 ◇「森林行政を主体とした幼児期の自然体験活動の推進-「ぎふ木育」を事例として-」『東京学芸大学環境教育研究センター研究報告 環境教育学研究』第32号 2023年 ◇「東京都小金井市における地域環境の特徴をいかした環境教育の取り組み」(共著)『東京学芸大学環境教育研究センター研究報告 環境教育学研究』第32号 2023年

**Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他**

幼児期の自然体験活動を推進するための政策・制度  
地域環境をいかした自然体験の推進

# 金沢学院大学 経済学部

学部長 豊田 欣吾

|      | 教授                                                                        | 准教授                             | 講師             | 助教 |
|------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|----------------|----|
| 経済学科 | 碓井 茂樹<br>大貫 裕二<br>奥井めぐみ<br>○小田圭一郎<br>豊田 欣吾<br>根本 博 (特任)<br>長谷川秀司<br>三輪 篤生 | 中村 直行*(基)                       | 鳥谷部智規<br>長谷川拓彌 |    |
| 経営学科 | ○大野 尚弘<br>千葉 俊徳<br>濱屋 敏<br>藤井 秀樹                                          | 上野 学<br>児島 記代<br>米澤 順一<br>渡邊 誠士 | 杉村 亮介          |    |

○：学科長

※（ ）は兼務先学部 (五十音順)



(Shigeki Usui)

教授

**碓井 茂樹**



担当科目 : 金融論Ⅰ・Ⅱ、地域金融を考える、マクロ経済学、基礎演習Ⅰ・Ⅱ  
出身学校 : 京都大学 経済学部  
学 位 : 学士  
所属学会 : 日本金融学会、証券経済学会、日本FP学会、日本ガバナンス研究学会、日本価値創造ERM学会、経営行動研究学会、地域デザイン学会  
E-mail : usui@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

【著書】◇内部監査入門（共著）、2010年5月、金融財政事情研究会【学術論文（査読付）】◇協調ゲームの成否から見た銀行統合・合併のメカニズム、2020年5月、大阪経大論集第71巻第3号【論文（査読無）】◇道半ばのガバナンス改革—投票結果が示す次の課題、2023年3月、金融財政事情【学会発表】◇金融機関のガバナンス改革と国際標準の確立、2020年3月、経営行動研究学会【研究会での発表】◇次世代とコーポレートガバナンスを考える、2017年7月◇日本のガバナンスの現状評価と今後の課題～CGコードを超えるガバナンス改革とサステナビリティ経営の実践、2023年4月◇日本のガバナンスの課題、2024年1月【翻訳】◇金融安定理事会「実効的なリスクアペタイト・フレームワークの諸原則」◇金融安定理事会「リスク文化に関する金融機関と監督当局の相互利用に関するガイダンス—リスク文化の評価の枠組み」◇バーゼル銀行監督委員会「銀行の内部監査機能」◇バーゼル銀行監督委員会「銀行のためのコーポレート・ガバナンス諸原則」 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

変化する金融産業、金融機関のリスクマネジメント、不祥事の研究、日本のガバナンスの現状と課題、3線モデルの構築と運用、監査役監査と内部監査

(Yuji Onuki)

教授

**大貫 裕二**

経営情報学研究科(M)担当



担当科目 : 計量経済学Ⅰ、計量経済学Ⅱ、キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡ、キャリアデザインⅢ、産業組織論、経営情報特論Ⅰ（大学院） 他  
出身学校 : 東京工業大学大学院 総合理工学研究科 知能システム科学専攻 博士課程  
学 位 : 博士（学術）  
所属学会 : 社会・経済システム学会、日本統計学会、サービス学会  
E-mail : onuki@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「大学教育における生成 AI の導入事例」大貫裕二 金沢学院大学紀要 22巻 p.276-295 2024年3月 ◇「東京都医療従事者のCOVID-19罹患倍率の推計」大貫裕二 社会・経済システム 42巻 p. 79-86 2023年3月31日 ◇「発症日別のCOVID-19新規感染者数のオープンデータによる簡易推計」大貫裕二 社会・経済システム 42巻 p. 71-78 2023年3月31日 ◇「ハードルモデルに基づくゼロデータ比率の表章」大貫裕二 社会・経済システム 41巻 p. 63-73 2022年3月31日 ◇「平成20年度国民健康・栄養調査に「朝バナナダイエット」ブームが与えた影響」大貫裕二 社会・経済システム 40巻 p. 83-94 2021年 ◇「国民経済計算の推計と利用を支援する手法に関する研究」大貫裕二 東京工業大学、学位論文、2013年3月 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

国民経済計算、生成 AI、トークン・エコノミー、データ・サイエンス



(Megumi Okui)

教授

**奥井 めぐみ**

経営情報学研究科(M・D)担当



担当科目 : ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、労働経済学、公共経済学、基礎演習  
I・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ、公民科教育法  
出身学校 : 大阪大学大学院国際公共政策研究科  
学 位 : 博士(国際公共政策)  
所属学会 : 日本経済学会 日本労務学会  
E-mail : m-okui@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇「男女の昇進スピード格差と配置転換・職能経験」金沢学院大学紀要第22号(共著), 2024年。
- ◇「仕事配分と人事評価が産休・育休からの復職者の仕事意欲に与える影響」甲南経営研究 第62巻第3・4号、pp.71-92(共著), 2022年。
- ◇「育児休業取得期間が復帰後の女性の仕事満足度に与える影響」日本労働研究雑誌 No. 725, 2020年。

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 非金銭的インセンティブに関する実証分析

(Keiichirou Oda)

教授

**小田 圭一郎**

経営情報学研究科(M・D)担当



担当科目 : ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、ゲーム理論、ファイナンスⅠ・Ⅱ、  
金融論特論、ファイナンス特論 他  
出身学校 : 東京大学経済学部  
Northwestern 大学大学院経済学博士課程単位取得  
学 位 : 修士(経済学)  
所属学会 : 日本ファイナンス学会  
E-mail : k-oda@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇“Public-Private Partnerships with Infrastructure Funds: An Optimal Incentive Device,” RIETI Discussion Paper Series 18-E-085, 2018. ◇「銀行の貸し手責任を通じた企業の環境汚染削減について」, RIETI Discussion Paper Series, 18-J-033, 2018. ◇「カタストロフィ・ボンドの経済学的意義と問題点」, 『日経研月報』, 401, pp22-26, 2011年. ◇「資本市場を通じた自然災害リスクの移転について—カタストロフィ・ボンドを中心に—」, 伊藤滋・奥野正寛・大西隆・花崎正晴編, 『東日本大震災 復興への提言—持続可能な経済社会の構築』, 東京大学出版会, pp239-243, 2011年. ◇「ボルカールールの解釈について—銀行業務規の転換—」, 『日経研月報』, 383, pp64-68, 2010年.

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

銀行行動と市場メカニズムとの相互作用についてのゲーム理論的分析  
証券化における銀行の retention 規制の評価に係る分析  
PPP/PFI におけるファンドを通じたインセンティブスキームに係る分析

(Kingo Toyota)

教授

**豊田 欣吾**

経営情報学研究科(M・D)担当



担当科目 : 社会保障論、経済政策論、財政学Ⅰ・Ⅱ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、  
演習Ⅰ・Ⅱ、日本経済特論 他  
出身学校 : 横浜国立大学経済学部  
学 位 : 学士(経済学)  
所属学会 :  
E-mail : toyoda@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇「経済成長と格差、科学技術イノベーション」『JST 研究開発戦略ローンチアウト(2018年5月)』◇「景気指標としての GDP 統計～その信頼性向上に向けて～」『景気とサイクル(2010年11月)』◇「経済財政運営と経済財政諮問会議－政策決定プロセスはどのように変化したか－」『月刊 NIRA 政策研究(2006年1月)』

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

日本経済の現状と課題

経済格差とイノベーション

SNA(国民経済計算)の整備・改善

(Hiroshi Nemoto)

特任教授

**根本 博**

経営情報学研究科(M・D)担当



現代経済論、財政学、日本経済史、ベンチャービジネス特  
担当科目 : 論、財政学特論、地域ビジネス特論、地域経済研究、研究  
指導  
出身学校 : 東京大学経済学部  
学 位 : 学士  
所属学会 :  
E-mail : nemoto@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇『人にやさしい経済学』(単著)◇『北陸から見る日本経済』(共著)◇『北陸を強くする地域資源』(共著)◇『ボランティア経済と企業』(編著)

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

日本経済の現状と課題、地域経済の現状と課題

(Shuji Hasegawa)

教授

**長谷川 秀司**

経営情報学研究科 (M) 担当



担当科目 : マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、財政学、シェアリングエコノミー論、  
公益事業論、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、経営情報特論Ⅱ 他

出身学校 : 東京大学

学 位 : 学士

所属学会 : 日本経済学会

E-mail : s-hasegawa@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「デジタル SUT(供給・使用表)2015, 2018 年表の推計について」、内閣府経済社会総合研究所、2022 年 3 月、共著 ◇「2018 年度シェアリング・エコノミー等新分野の経済活動の計測に関する調査研究」報告書、内閣府経済社会総合研究所、2019 年 7 月、共著 ◇「公共料金の決定の在り方について」、消費者庁、2012 年 11 月、共著 ◇「第 10 章 地域経済と地方分権」、金森久雄他編『日本経済読本(第 17 版)』、2007 年 4 月、東洋経済新報社 ◇「付論 デフレーターを試算」、土肥原他『国民経済計算から見た日本経済の新動向』ESRI Discussion paper No. 167、内閣府経済社会総合研究所、2006 年 7 月

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

デジタル化が経済社会に与える影響とその計測問題

(Atsuo Miwa)

教授

**三輪 篤生**



担当科目 : 地域経済論、計量経済学Ⅰ・Ⅱ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ

出身学校 : 1990 年 3 月 大東文化大学経済学部

2021 年 3 月 東京工業大学大学院社会理工学研究科

学 位 : 2021 年 3 月 博士(学術) 東京工業大学

所属学会 : 社会・経済システム学会、国際 P2M 学会、環太平洋産業連  
関学会 (PAPAIOS)

E-mail : miwa@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇Public-Private Partnership/Private Finance Initiative 事業に関する政策形成のための情報と知識のマネジメントに関する研究(単著、東京工業大学博士論文、2021 年)

◇PPP/PFI 事業の現状と我が国の基幹統計に及ぼす影響に関する研究(単著、社会・経済システム学会機関誌、2020 年)

◇Study on information and knowledge management for policy making of PPP/PFI  
(共著、International Journal of Knowledge Engineering Volume 6 Number 2、2020 年)

◇景気動向指数の外れ値管理方法の改善について(共著、国際 P2M 学会 2013 年度春季研究発表大会プロシーディング、2013 年)

◇我が国の国民経済計算ストック推計体系の見直し—恒久棚卸法(Perpetual Inventory Method:PIM)導入のための検討—(単著、季刊国民経済計算(内閣府経済社会総合研究所)、2010 年)

◇BB レシオのパフォーマンス(単著、ESP(経済企画協会)、2006 年)

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

国民経済計算/県民経済計算

経済政策の効果測定に必要なデータの把握と政策のマネージメント

(Takahiro Oono)

教授

**大野 尚弘**

経営情報学研究科(M・D)担当



担当科目 : マーケティング論Ⅰ・Ⅱ、流通論Ⅰ・Ⅱ、消費者行動論、  
マーケティング・リサーチ、キャリアプランニングⅠ・Ⅱ、  
キャリアデザインⅡ・Ⅲ 他

出身学校 : 神戸大学大学院経営学研究科

学 位 : 修士(商学)

所属学会 : 日本商業学会

E-mail : oono@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇単著『PB戦略 その構造とダイナミクス』千倉書房

◇共著「インターネット技術と新しい小売業態」『1からの流通論(第2版)』碩学舎

◇共著『北陸の強みを引き出す地域資源』北國新聞社

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

流通業におけるPB戦略についての研究

地域活性化についての研究

インターネット技術と小売企業、EC(電子商取引)について研究

(Toshinori Chiba)

教授

**千葉 俊徳**

経営情報学研究科(M・D)担当



担当科目 : 税法基礎、税法、税務会計Ⅰ・Ⅱ、租税法特論、租税法各  
論Ⅰ・Ⅱ、税務会計特論、特論演習 他

出身学校 : 中央大学

学 位 : 法学士

所属学会 :

E-mail : chiba-t@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇争訟事例に見る居住者・非居住者該当判断の困難性と不納付加算税免除の「正当な理由」(税大ジャーナル31号)

◇「難航する教育財源改革ーテキサス州の事例ー」(JETRO通商弘報2005年6月) 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

租税回避事案等に係る争訟事例分析

無申告加算税加重措置(令和5年税制改正)の相続税課税における意義・効果

(Satoshi Hamaya)

教授

**濱屋 敏**

経営情報学研究科(M)担当



担当科目 : 経営学基礎Ⅰ・Ⅱ、経営組織論、デジタル経済、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ、経営学特論 他  
出身学校 : 京都大学、University of Rochester  
学 位 : 法学士 (京都大学)、MBA (University of Rochester)  
所属学会 :  
E-mail : hamaya@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「エコシステムにおける価値の共創：介護ビジネスを題材として」(中島正人氏との共著)『日本情報経営学会誌』、2020年9月 ◇「中小企業の国際化の新モデル模索—岩手県中小企業に対する実態調査からの考察—」(近藤信一氏、太平剛史氏との共著)『機械経済研究』2019年12月 ◇『ネットは社会を分断しない』(田中辰雄氏との共著)角川新書、2019年10月 ◇「IoT時代の価値創造と経営情報システムに関する一考察」『経営情報学会誌』2019年3月 ◇『IoT時代の競争フレームワーク』(根来龍之氏らとの共著)中央経済社、2016年6月 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

データ活用による付加価値創出の条件  
デジタル技術の活用、DXに取り組む地域企業

(Naoyuki Nakamura)

准教授

**中村 直行**

経営情報学研究科(M)担当



担当科目 : 哲学、哲学Ⅰ・Ⅱ、倫理学、情報倫理、数学基礎、コンピ  
ュータ活用演習Ⅰ・Ⅱ、情報倫理特論  
出身学校 : 金沢大学大学院  
学 位 : 博士 (文学)  
所属学会 : 日本科学哲学会 応用哲学会 中部哲学会  
E-mail : nao-naka@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇(単著・著作:2022)『表現の極端ニズム—反転する二重構造を生きる—』大学教育出版 ISBN: 978-4-86692-228-7 ◇(単著・著作:2015)『沈黙と無言の哲学—〈語りえぬもの〉の語りなさを語る—』大学教育出版 ISBN: 978-4864293266 ◇(単著・博士論文:2006)「沈黙すべき<語り得ぬもの>とは何か?—『論考』の峰と山脈を追いかけて—」金沢大学 博士論文 ◇(単著・論文:2024)「直観主義論理 vs. 鈴木大拙・白隠禅師の「そうですか」」金沢学院大学紀要(第22号) pp. 263-74、査読有り ◇(単著・論文:2023)「形式化・公理化し、論理と集合から数学を再構築する時に最も根本となる概念」金沢学院大学紀要(第21号) pp. 255-268、査読有り ◇(単著・論文:2022)「生きられたくない—懺悔の使用と言及—」金沢学院大学紀要(第20号) pp. 232-237、査読有り ◇(単著・論文:2021)「生への全くの無関心を生きる—生に対する非・不・無・反、それらの中立の生き方あるいは超然たる生き方—」金沢学院大学紀要(第19号) pp. 147-152、査読有り ◇(単著・論文:2016)「〈夢の使用〉と〈夢への言及〉」、金沢大学『哲学・人間学論叢』柴田正良教授退職記念号(第7号) pp.51-64

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

〈考えなくなる〉哲学へ至る、無分別、離言真如、非売品の哲学



(Gaku Ueno)

准教授

**上野 学**

経営情報学研究科(M)担当



担当科目 : 会計学基礎Ⅰ・Ⅱ、経営学基礎Ⅰ・Ⅱ、キャリアデザインⅠ、FSP講座、学修基礎Ⅰ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ、管理会計、監査論、会計学特論Ⅱ  
出身学校 : 東北大学  
学 位 : 博士(経営学)  
所属学会 : 日本会計研究学会、日本監査研究学会、日本ガバナンス研究学会、米国会計学会  
E-mail : ueno@kanazawa-gu.ac.jp

#### Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇(査読無) Gaku Ueno (2019) “Identifying the Determinants of Audit Fees, in A Post J-SOX Scenario” Discussion Paper No.132 TOHOKU MANAGEMENT & ACCOUNTING RESEARCH GROUP  
◇上野 学 (2024) 「Low-ballingに係る実証研究の展開と課題—米国における研究を中心として—」 会計 205(1)、49-61 頁、2024 年 1 月 他  
[講演・学会発表など] ◇渡邊誠士、上野学「企業の逸脱行為と監査報酬、利益調整行動の関連性—金融庁による課徴金勧告を題材にして—」 第 24 回東北大学会計研究会、2023 年 3 月 ◇上野学、渡邊誠士「企業に対する金融庁による課徴金勧告と監査報酬、利益調整行動の関連性—勧告後の状況に焦点を当てて—」 第 149 回日本会計研究学会中部部会 2023 年 6 月 24 日 ◇上野学「内部統制の問題開示に関する実証研究の展開」 第 4 回内部監査学術研究発表大会、2024 年 3 月 27 日 - 2024 年 4 月 24 日 (オンデマンド配信) (セミナー発表) 上野 学、渡邊 誠士  
・わが国企業の逸脱行為と利益調整、会計監査等の関連性分析  
公益財団法人石井記念証券研究振興財団 公益財団法人石井記念証券研究振興財団令和 4 年度研究助成 2022 年 8 月 - 2024 年 3 月 上野 学、渡邊 誠士  
・内部統制の問題開示の監査報酬への影響—開示後の趨勢分析を中心に—  
公益財団法人 日本内部監査研究所 2023 年度研究助成 2023 年 10 月 - 2026 年 3 月 上野 学 他

#### Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

監査報酬の決定要因分析  
初度監査時の監査報酬に関する実証研究  
内部統制報告制度と監査報酬の関係性

(Noriyo Kojima)

准教授

**児島 記代**



担当科目 : 財務会計、会計学基礎Ⅰ・Ⅱ、実践簿記Ⅰ・Ⅱ、簿記論Ⅰ・Ⅱ、財務諸表論Ⅰ・Ⅱ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ 他  
出身学校 : 茨城大学  
千葉商科大学大学院  
学 位 : 博士(政策)  
所属学会 : 日本簿記学会、税務会計学会  
E-mail : noriyo-k@kanazawa-gu.ac.jp

#### Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇児島記代「簿記教育における実践的な研究—少子化時代の会計専門職育成の重要性—」金沢学院大学紀要第 22 号、2024 年。◇藤井秀樹・渡邊誠士・上野学・児島記代「地方創生とユニバーサルサービスのあり方に関する経済学的研究—郵政事業のフィールド調査を通じて—」金沢学院大学紀要第 22 号、2024 年。◇児島記代「鯉淵学園における農業原価計算の教授法についての一研究—プロジェクト学習指導の事例から—」鯉淵学園研究報告第 30 号、2020 年。◇児島記代「仮想通貨の一研究—ビットコインの会計と税務—」千葉商科大学経済研究所 Research Paper Series No. 73、2017 年。

#### Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

少子化時代の会計専門職育成を見据えた簿記・会計教育の課題に関する実践的研究



(Junichi Yonezawa)

准教授 **米澤 順一**



担当科目 : 会計学基礎Ⅰ・Ⅱ、商業簿記Ⅰ・Ⅱ、原価計算Ⅰ・Ⅱ、商業科教育法、演習Ⅰ・Ⅱ 他  
出身学校 : 金沢大学経済学部 金沢学院大学大学院  
学 位 : 修士(経営情報学)  
所属学会 :  
E-mail : yonezawa@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇『ストック・オプション会計の問題点に関する一考察』金沢学院大学平成18年度修士論文◇  
『わが国における退職給付会計の展開(1)』金沢学院大学紀要第12号(2014) ◇『高等学校商業科における科目指導法について―簿記を題材に―』金沢学院大学紀要第18号(2020) ◇『商業科における「原価計算」の指導方法について―総合原価計算を題材に―』金沢学院大学教職センター紀要第3号(2019)

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他  
簿記の教授法について

(Masashi Watanabe)

准教授 **渡邊 誠士** 経営情報学研究科(M)担当



学修基礎Ⅰa・b、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ、会計学基礎  
担当科目 : 礎Ⅰ・Ⅱ、財務管理Ⅰ・Ⅱ、経営分析Ⅰ・Ⅱ、コーポレートファイナンスⅠ・Ⅱ 他  
出身学校 : 京都大学大学院経済学研究科  
学 位 : 修士(経済学)  
所属学会 : 日本会計研究学会 会計理論学会 日本ディスクロージャー研究学会 財務会計研究学会 公益事業学会  
E-mail : w-masashi@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇「ストック・オプション取引と会計主体―ストック・オプションの資産性に関する理論的考察―」『会計理論学会年報』第29号, 2015年 ◇「ストック・オプションの会計処理と税務処理に関する一考察」『財務会計研究』第10号, 2016年 ◇「ストック・オプション費用の比較可能性に関する実証研究―株式報酬型ストック・オプション費用に対する市場評価への注記情報の利用―」『経済論叢』第190号第1巻, 2016年 ◇「ストック・オプション会計における対応概念の役割―対応概念の有用性の再検討―」『会計理論学会年報』第30号, 2016年 ◇「日本郵便の統合効果―財務諸表分析を通して―」『公益事業研究』第68巻第3号, 2016年 ◇「ストック・オプション費用の収益・費用対応への影響」『経済論叢』第191巻第3号, 2017年 ◇「日本郵政の株式上場と企業価値推定」『公益事業研究』第66巻, 第1号, 2014年(共著) ◇”The Stock Listing and Business Value Estimation of Japan Post Holdings” Korea International Accounting Review, 2014(共著) 他

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他  
ストック・オプション会計、日本郵政グループ、会計制度の比較制度分析



(Tomoki Toyabe)

講師 **鳥谷部 智樹**

担当科目 : 経済学Ⅰ・Ⅱ、経済学の基礎、ミクロ経済学Ⅱ、マクロ経済学Ⅱ 他  
出身学校 : 慶應義塾大学  
学 位 : 修士(経済学)  
所属学会 : 日本統計学会、日本計算機統計学会、日本金融・証券計量・工学学会  
E-mail : toyabe@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇ Stochastic Conditional Duration Model with Intraday Seasonality and Limit Order Book Information.

◇ Journal of Risk and Financial Management 15.10 (2022): 470. (共著)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

生存時間分析における半教師付き学習の推定と活用



(Takuya Hasegawa)

講師 **長谷川 拓彌**

担当科目 : 学修基礎Ⅱab、英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、経済学Ⅰ・Ⅱ、世界経済史、国際経済、基礎演習Ⅰ・Ⅱ 他  
出身学校 : 名古屋大学経済学研究科博士後期課程  
学 位 : 博士(経済学)  
所属学会 : 日本18世紀学会、国際18世紀学会、社会思想史学会  
E-mail : t-hasegawa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇ 「シエスの言語世界論 : コンディヤックの言語論と表象空間の再発見」『日本18世紀学会年報、第36巻、pp. 109-123、2021年。

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ヨーロッパ思想史

(Ryosuke Sugimura)

講師

**杉村 亮介**



担当科目 : 経営学基礎Ⅰ・Ⅱ、経営管理論Ⅰ・Ⅱ、学修基礎Ⅰab、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、ビジネス戦略、ビジネス・ケーススタディ、FSP講座、キャリアデザインⅠ 他  
出身学校 : 兵庫県立大学大学院経営学研究科  
学 位 : 博士(経営学)  
所属学会 : 多国籍企業学会、国際ビジネス学会  
E-mail : sugimura@kanazawa-gu.ac.jp

**Ⅰ. 主な研究業績・作品等**

- ◇「異文化間でダイナミック・ケイパビリティを発揮する「エスニック・マリアージュ」という概念に関する研究」(2024) 兵庫県立大学博士論文
- ◇「エスニック・マーケティングを活用した海外市場参入から市場全体攻略へ」(2023) 多国籍企業研究 16号
- ◇「国際的(グローバル)なパンの消費者嗜好性の違い」(2023) 星陵台論集第56巻第1号
- ◇「海外市場参入行動としてのエスニック・マーケティング」(2021) 星陵台論集第53巻第3号

**Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他**

異文化間でダイナミック・ケイパビリティを発揮させるための研究

～Grupo Bimbo 社によるラテンアメリカ諸国への市場参入と市場拡大の事例を中心として～

# 金沢学院大学 芸術学部

学部長 飯田 栄治

|      | 教授                                                                    | 准教授                                       | 講師             | 助教 |
|------|-----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|----------------|----|
| 芸術学科 | 飯田 栄治<br>○市島 桜魚<br>末松 智 (特任)<br>平木 孝志 (特任)<br>広根 礼子<br>柳橋 広司<br>餘久保優子 | 加藤 謙一<br>越田 久文<br>羽場 文彦<br>本田 正史<br>吉田 一誠 | 松永龍太郎<br>村谷 聡志 |    |

○：学科長

(五十音順)

(Eiji Iida)

教授

**飯田 栄治**

経営情報学研究科(M)担当



学修基礎 I・II、地域課題研究、ソフトウェア基礎論 ab、  
担当科目 : 工学デザイン ab、卒業制作・研究 I・II CG 活用演習 ab、  
ゲームデザイン ab 他  
出身学校 : 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科  
学 位 : 情報科学博士  
所属学会 : 電子情報通信学会 情報処理学会 人工知能学会  
日本シミュレーション学会  
E-mail : e-iida@kanazawa-gu.ac.jp

## I. 主な研究業績・作品等

◇ “人間の持つ解決戦略を利用した問題解決システム” 情報処理学会、第 6 回数理モデルと問題解決のシンポジウム論文集 2000.3 ◇ “N2-1 パズルのスケールダウン解法” 電子情報通信学会和文論文誌 1998.7 ◇ “A system to Perform Human Problem Solving” The 5th International Conference on Soft Computing and Information / Intelligence Systems, 1998.10 ◇ メッセージプロジェクション システム 出展 愛知万博 2005.5 ◇ “メッセージプロジェクション装置の制作とその効果について” エンタテインメントコンピューティング 2005.9 ◇ 金沢城辰巳櫓 3DCG 制作(2007、石川県、北國総研) 金沢市内小学校 DVD 配布 ◇ “電子掛け軸” エンタテインメントコンピューティング 2008.9 (金沢 21 世紀美術館) ◇ “「かげおくり」システム デモ エンタテインメントコンピューティング” 2009.9 (東京大学) ◇ “快適で美しいまちづくり推進の金沢らしい表示物に関する研究” 2013.3 (金沢市) ◇ “石川県の伝統文化の魅力海外発信プロジェクト” 2016.3 (石川県) 他

## II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

デジタルアート及びバーチャルリアリティシステムの研究  
地域魅力発見発信研究 (地域学)

(Ougyo Ichishima)

教授

**市島 桜魚**



工芸 I・II・III・IV、工芸表現法 I・II・III・IV(ab)、金  
担当科目 : 沢まち学特講 a、キャリアプランニング I・II、卒業制作・  
研究 I・II 他  
出身学校 : 石川県立金沢二水高等学校  
学 位 :  
所属学会 : (公社)日本工芸会 日本文化財漆協会 石川県美術文化  
協会  
E-mail : ougyo@kanazawa-gu.ac.jp

## I. 主な研究業績・作品等

◇1990 第37回日本伝統工芸展 優秀賞(NHK会長賞) 蒔絵「秋の野」小箆箱 ◇1992 第39回日本伝統工芸展 優秀賞(朝日新聞社賞) 平文「星螢」重ね箱 ◇1993 第10回日本伝統漆芸展 蒔絵「盛秋」八角箱 紀文美術館買上げ、ステッセルのピアノ復元における蒔絵制作 ◇1994 第50回石川県現代美術展 最高賞(技術賞)および50周年記念美術文化大賞 蒔絵「渦波」箱 ◇1995 第12回日本伝統漆芸展 蒔絵「宙」箱 宮内庁買上げ ◇1996 第13回日本伝統漆芸展 蒔絵「閃光」八角箱 国際国流基金買上げ ◇1998 第54回石川県現代美術展 委嘱賞 蒔絵「円」色紙箱 金沢市買上げ ◇1999 「日本の工芸<今>100選展」 ◇2003 日本伝統工芸展 50周年記念展「わざの美」 ◇2004 六葉会ー18人の工芸家たちー(日本橋三越本展) ◇1999 名古屋 ‘01 ‘06 ‘10 東京 ‘08 金沢にて個展 ◇2006 紫綬褒章、2008 北國文化賞、2019 金沢市文化賞

## II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

平文、蒔絵、螺鈿の研究  
用の美：漆碗の魅力、日常と非日常  
かたちについて

(Satoshi Suematsu)

特任教授

**末松 智**

人文学研究科担当



担当科目 : デッサン、絵画演習、図学、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、CG活用演習ab、美術文化交流史、西洋美術史、西洋美術特論ab、西洋美術史特論Ⅰ・Ⅱ  
出身学校 : ウィーン美術大学  
学 位 : 学士(芸術)、Magister atrium「芸術修士号」  
所属学会 : 日本メディカルイラストレーション学会、日本建築学会  
E-mail : suematsu@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「A visual analysis of diamond-shaped turret located in the secondary enclosure of Kanazawa Castle」 「金沢城二の丸の菱櫓に関する視覚的解析」(日本設計工学会 第1回設計工学に関する国際会議) ◇作品(歴史考証復元画・油彩画): 金沢城二之丸御殿式台、金沢城鼠多門、金沢城丑寅櫓、金沢城色紙短冊積石垣、金沢城辰巳櫓、藩祖前田利家肖像、藩祖正室芳春院肖像、三代利常聖母寿福院肖像

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 古代遺跡や人物の歴史的考証とその復元画制作

(Takashi Hiraki)

特任教授

**平木 孝志**



担当科目 : 日本美術特論ab、東洋美術特論ab、絵画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、金沢まち学特講b、日本美術史、東洋美術史 他  
出身学校 : 金沢美術工芸大学大学院  
学 位 : 芸術学修士  
所属学会 : 美術史学会 儀禮文化学会 茶の湯文化学会 公益法人 日展 新日春会  
E-mail : t-hiraki@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇日展特選(2005・1010)、日展審査員(2018) ◇源氏物語香図五十四帖制作 ◇長瀬神社天井画90面・絵馬制作(新潟県加茂市) ◇本因寺天井画40面・龍図、襖絵制作(金沢市寺町)

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 金沢の伝統文化 茶道と美術工芸 現代日本画の表現



(Ayako Hirone)

教授

**広根 礼子**



芸術表現基礎 ab、デザイン基礎、色彩学 ab、複合表現演  
 担当科目 : 習 I、視覚伝達論 ab、デザイン演習 I、卒業制作・研究  
 I・II 他  
 出身学校 : 金沢美術工芸大学 産業美術学部 商業デザイン科  
 学位 : 芸術学士  
 所属学会 : アートミーツケア学会 金沢アートディレクターズクラブ  
 E-mail : hirone@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「いしかわのようもう」商品開発ーヒツジを活用した地域振興の取り組みー、金沢学院大学紀要、第 18 号、246-251、2020 ◇ゼミ活動におけるまちなかアート創出 II  
 ーその場のための展示作りー、金沢学院大学紀要、第 17 号、169-174、2019 ◇ゼミ活動にお  
 けるまちなかアート創出 Iー見つけることを主題にしたデザインの取り組みからー金沢学院大学  
 紀要、第 16 号、266-271、2018 ◇デザインによる過疎地域の寺院問題への取り組み、アート  
 ミーツケア学会 オン ラインジャーナル第 9 号、14-31、2018 ◇デザインによる地域連携の試  
 み 高精細画像プリントによるクリーニングクロスの開発プロセスとアクティブラーニングの  
 実践報告、金沢学院大学紀要、第 15 号、285-297、2017

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

「ケア」を念頭に置いたヒトとコトを繋ぐコミュニケーションデザインの考察  
 素材研究と質的要素を加味したビジュアルデザインの考察

(Hiroshi Yanagibashi)

教授

**柳橋 広司**



担当科目 : 絵画 I・II・III・IV、卒業制作・研究 I・II  
 出身学校 : 金沢美術工芸大学美術工芸学部日本画専攻  
 学位 : 学士 (芸術)  
 所属学会 : (社)日展 石川県美術文化協会 石川県日本画会 京都  
 日本画家協会  
 E-mail : yanagibashi@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇第 60 回現代美術展 題名「ダチョウ」 美術文化特別賞 最高賞  
 ◇第 67 回現代美術展 題名「羽ばたく」 美術文化優秀賞 委嘱賞  
 ◇改組新 第 3 回日展 題名「匠」 特選

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

現代日本絵画の制作

(Yuko Yokubo)

教授 **餘久保 優子**



プロダクトデザイン ab、生活デザイン ab、空間デザイン  
担当科目 : ab、知的所有権論 ab、芸術表現基礎 ab、学修基礎 I・II、  
キャリアデザイン、卒業研究 I・II  
出身学校 : 金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 保健学専攻  
学位 : 博士 (保健学)  
所属学会 : 日本デザイン学会、(一社) 日本人間工学会、(公社) 日本  
工業デザイン協会、石川県プロダクトデザイン  
協会、(一社) ユニバーサルデザインいしかわ  
E-mail : yokubo@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇遠隔地間でのリモートデザイン手法の研究開発, 石川県工業試験場研究報告, 2023;72;p. 25-30  
◇Relationship between chopstick manipulation and cross-sectional shape in the  
developmental stages from infancy to early school age. Applied  
Ergonomics. 2021;97:103507-10357◇3D技術を活用したおんぶ動作に基づいた移乗機器の開  
発, 人間生活工学. 2020;21(2):p. 38-45◇アナログとデジタルを融合するデザイン技術, 人間生  
活工学 2018;19(1):50-52◇(財)九州産業活性化センター九州デザインコンペティション入選  
1998年◇デザインコンペ大阪運営委員会デザインコンペ大阪入選 1999年◇LG 国際デザインコ  
ンペティション入選 1999年◇日本住宅設備協会キッチンコンテストユニバーサルデザイン賞  
2002年◇中部公設試験研究機関研究者表彰 中部科学技術センター会長賞 (研究功労者) 2022  
年

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

食事用具のデザイン研究  
前傾姿勢保持具のデザイン研究

(Kenichi Katou)

准教授 **加藤 謙一**



博物館概論、博物館資料論、生涯学習概論、博物館経営論、  
担当科目 : 博物館実習 I・II、民俗学 I・II、工芸史、文化芸術活用  
特論、卒業制作・研究 I・II 他  
出身学校 : 関西大学  
学位 : 修士 (文学)  
所属学会 : 日本・ミュージアムマネジメント学会 日本展示学会  
全日本博物館学会  
E-mail : k-katou@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「ミュージアムコレクションをめぐる保存と活用の越境的実践に関する試論～収蔵展示の展示  
手法と導入動機への分析を通じて～」日本ミュージアム・マネジメント学会研究紀要 (27)、  
2023年 ◇「収蔵庫公開事例に関する現地調査報告と検証—原美術館 ARC と静岡市立登呂博物館  
を対象に—」金沢学院大学紀要(21)、2023年 ◇「ミュージアムにおける収蔵展示の基礎的研究  
—調査結果に基づく類型化を中心として—」金沢学院大学紀要(20)、2022 ◇「ミュージアムの  
収蔵展示に関する基礎的研究」金沢学院大学紀要 (19)、2021年 3月 ◇「大学教育で活用で  
きる展示をつくる～「開架閲覧型収蔵展示」の可能性～」『展示学』57号、2019年 ◇『継承さ  
れる地域文化—災害復興から地域創発へ』(分担執筆)臨川書店、2021年

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

文化財の保存、活用に果たす展示の役割、特に収蔵展示 (visible storage) を中心に調査研究  
を進めている。

(Hisafumi Koshida)

准教授

**越田 久文**



芸術表現基礎 ab、メディアデザイン論 ab、映像基礎 ab、  
担当科目 : ウェブ応用演習 I・II (ab)、映像論、CM 制作 ab、ポスト  
プロダクション、卒業制作・研究 I・II 他  
出身学校 : 北九州市立大学 中退 専攻 : メディア学  
学 位 :  
所属学会 :  
E-mail : koshida@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇卒業研究主要テーマ：ブロードキャスト（放送）とインターネットの補完性
- ◇視聴者参加番組のリアルタイム投票・集計システム設計
- ◇EC サイト「金沢屋」設計・開発

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

地上デジタル放送時代における、ネットと放送の融合

(Fumihiko Haba)

准教授

**羽場 文彦**



工芸表現法 I・II・III・IV (ab)、工芸 I・II・III・IV、  
担当科目 : 工芸演習、絵画工芸基礎 b、基礎造形論 II、美術材料学 b、  
卒業制作研究 I・II、美術科教育法 I 他  
出身学校 : 金沢美術工芸大学  
学 位 : 芸術学修士  
所属学会 : 大学美術教育学会  
E-mail : fumihaba@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇2005、6 年（東京・銀座・フタバ画廊）
- ◇2009、10、11、12、14、15、17、18 年（東京・神宮前・トキアートスペース）
- ◇2011 年（東京・銀座・ギャラリー SOL）
- ◇2013 年（東京・京橋・L I X I L ギャラリー ガレリアセラミカ） 等

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

土のもつ可能性を引き出した造形制作  
量産技法を使用した作品の展開  
ギャラリー等での作品発表  
教育素材の研究と授業での活用

(Masashi Honda)

准教授

**本田 正史**



担当科目 : 美術概論、絵画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、卒業制作・研究Ⅰ・Ⅱ、  
キャリアデザインⅢ  
出身学校 : 金沢美術工芸大学大学院 上越教育大学大学院  
学位 : 修士(芸術学、教育学)  
所属学会 : 国画会会員 石川県美術文化協会会員  
E-mail : honda-m@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

2021◇第95回国展「戸惑う季節」272.2×324.5cm(国立新美術館)◇第77回現代美術展(金沢21世紀美術館)◇第7回一国画会会員一「ここ・今・ここ」展(名古屋市)◇本田正史展「Large painting selection exhibition 1984-2021」(富山県 アートハウスおやべ) 2022◇第27回北陸国展(石川県立美術館)◇第78回現代美術展審査員(石川県立美術館)◇第96回国展「通過する記憶」292.5×324.5cm(国立新美術館)◇第8回一国画会会員一「ここ・今・ここ」展(名古屋市)◇道の駅学生アートプロジェクト試作展示指導(道の駅高松) 2023◇第29回北陸国展(石川県立美術館)◇第80回現代美術展(石川県立美術館)

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

絵画言語である線と色とを画面上で再構築する絵画表現

(Issei Yoshida)

准教授

**吉田 一誠**



担当科目 : コンピュータ基礎演習Ⅰ・Ⅱ、マルチメディア論a・b 他  
出身学校 : ロンドン大学、ロンドンインスティテュート、ロンドンメ  
トロポリタン大学  
学位 : MA Fine Art MA Digital Media  
所属学会 : 芸術科学会 日本図学会  
E-mail : i-yosida@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇Issei Yoshida, Nobuhiko Takada, Hidekazu Tsujiai, “Projection Mapping Creation that Targets Town Revitalization — Using Awagasaki Amusement Park in Uchinada Town” International Symposium on Business and Social Sciences 2017 Bali, Indonesia  
◇Issei Yoshida, “A Study on the Production of Projection Mapping using Kutani-Ware Platters” Society for Information Technology & Teacher Education International Conference 2016, Savannah, Georgia  
◇Issei Yoshida, Nobuhiko Takada, “The Expression of the Traditional Craft Article of Ishikawa Prefecture by Projection Mapping” International Symposium on Business and Social Sciences 2016 okinawa ◇Tokyo Wonder Wall 公募2014 入選 ◇Aomori Print トリエンナーレ2014 入選

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

クリエイティブスキルを活用したまちづくり

(Ryutaro Matsunaga)

講師

**松永 龍太郎**



担当科目 : 芸術表現基礎 a・b、CG 演習 ab、アニメーション演習 I (実写・クレイ)ab、絵画表現法Ⅲ・Ⅳ(ab)、卒業制作・研究 I・II 他  
出身学校 : 東京芸術大学大学院  
学 位 : 学士 (芸術学)  
所属学会 :  
E-mail : r-matsunaga@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇小豆島アートインレジデンス
- ◇フランスジャパン EXPO 出展
- ◇コミックマーケット出展
- ◇個展、グループ展

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

デジタルイラストにおける伝統的素材および表現技法の活かし方についての研究

(Soshi Muratani)

講師

**村谷 聡志**



担当科目 : 工芸 I・II・III・IV、工芸表現法 I・II・III・IV(ab)、工芸演習、プレゼンテーション基礎 他  
出身学校 : 金沢学院大学  
学 位 : 学士 (芸術学)  
所属学会 : 日本工芸会  
E-mail : muratani@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇第 22 回日本伝統漆芸展 日本工芸会賞
- ◇第 29 回日本伝統漆芸展 東京都教育委員会賞
- ◇第 68 回現代美術展 次賞
- ◇第 72 回現代美術展 次賞
- ◇第 34 回日本伝統漆芸展 奨励賞
- ◇第 62 回石川の伝統工芸展 北國新聞社社長賞
- ◇第 63 回石川の伝統工芸展 日本工芸会賞

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

乾漆技法による造形表現の追及  
漆芸素材・造形素材・漆芸技法に関する調査と研究  
漆芸における 2D、3D ソフトを用いたデジタルモデリングの応用

# 金沢学院大学 スポーツ科学部

学部長 藤原 勝夫

|         | 教授                                                                | 准教授   | 講師             | 助教                                       |
|---------|-------------------------------------------------------------------|-------|----------------|------------------------------------------|
| スポーツ科学科 | 清田 直恵<br>○福井 卓也<br>藤原 勝夫<br>丸山 章子<br>米澤 利明 (特任)<br>渡辺 涼子<br>渡辺 直勇 | 武石 健哉 | 菊政 俊平<br>安井 孝志 | 一色 貴史<br>太田 康介<br>北島 孟<br>中村英里子<br>藤本 索子 |

○：学科長

(五十音順)

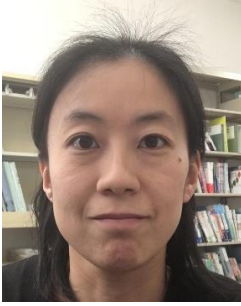


(Naoe Kiyota)

教授

**清田 直恵**

スポーツ健康学研究科担当



生理学、健康運動演習、健康管理演習、生活習慣病概論、  
担当科目 : スポーツ健康学特論、地域スポーツ活用特論、情報科学特  
論 他  
出身学校 : 金沢大学大学院医学系研究科  
学 位 : 博士 (医学)  
所属学会 : Society for Neuroscience 日本生理人類学会 日本健康  
行動科学会 日本理学療法士協会  
E-mail : kiyota@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇バレーボールのオーバーハンドパスにおける手首と手指の関節運動. Health and Behavior Sciences 20(2): 109-117. 2022. ◇立位における膝関節屈曲運動に伴う筋活動および関節音. Health and Behavior Sciences 20(1): 31-38. 2021 ◇若年成人における骨盤傾斜に伴う脊柱湾曲変化の性差の三次元分析. Health and Behavior Sciences 19(1): 17-23. 2020. ◇運動機能解剖学. 第4章「股関節」. 北國新聞社, 2019 ◇Investigation of pro-saccade and finger flexion reaction times in basketball and racket sports players. Health Behav Sci., 17(2):41-46, 2019 高齢者における森歩き運動と水中運動の健康増進効果. Health Behav Sci., 17(2):67-76, 2019 ◇Developmental changes in shortening of pro-saccade reaction time while maintaining neck flexion position. J Physiol Anthropol., 37(1):2, 2018 ◇Timings of attentional switching to perturbation and postural preparation during transient forward or backward floor translation. J Physiol Anthropol., 37(1):1, 2018 ◇Activation timing of postural muscles of lower legs and prediction of postural disturbance during bilateral arm flexion in older adults. J Physiol Anthropol., 36(1):44, 2017 他

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

姿勢制御、抑制機能

(Takuya Fukui)

教授

**福井 卓也**

スポーツ健康学研究科担当



運動学、競技者育成システム、地域とスポーツ、スポー  
担当科目 : ツイイベント企画運営、専門演習Ⅰ・Ⅱ、学修基礎、スポー  
ーツ実技Ⅶ(器械体操・トランポリン) 他  
出身学校 : 日本体育大学  
学 位 : 体育学修士 (日本体育大学)  
所属学会 : 日本体育学会、日本スポーツ方法学会、日本健康行動学会、  
日本スポーツ歯科医学会  
E-mail : fukui@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇Effect of clenching on spinal alignment 日本生理学会 (2022) ◇エリートアスリートの競技力に影響する身体的要因: 男子トランポリン選手を対象とした検討. スポーツ歯学第25巻第2号 (2022) ◇咬合状態がトランポリン競技者のHスコアに与える影響: エリートレベルの男子選手を対象とした検討. スポーツ歯学第25巻第2号 (2022) ◇トランポリン競技の跳躍高と姿勢制御機能との関連性. スポーツ歯学第25巻第2号 (2022) ◇トランポリン選手に対するマウスガード装着がストレートジャンプの跳躍時間に与える影響. 日本スポーツ歯科医学会 (2020) ◇次世代ターゲットスポーツ育成支援事業におけるトランポリン選手に対するスポーツ医科学的支援. 日本スポーツ歯科医学会 (2020) 他

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

トランポリン競技における技術の体系化に関する研究  
マウスガード装着とスポーツ競技の安全性に関する研究

(Katsuo Fujiwara)

教授

**藤原 勝夫**

スポーツ健康学研究科担当



担当科目 : 健康科学、運動生理学、機能的解剖学、生命倫理、運動発達・老化学、専門演習Ⅰ・Ⅱ、運動生理学特論 他  
出身学校 : 筑波大学大学院博士課程体育科学研究科  
学位 : 教育学博士  
所属学会 : 日本健康行動科学会、Society for Neuroscience  
E-mail : fujikatu@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇乳児期の発育・発達と心身の健康. 保育内容「健康」幼児期の教育と小学校教育をつなぐ第2章1節, 3節. 大修館書店. 2023. ◇運動機能解剖学. 北國新聞出版社編集局. 2019  
◇乳児期の連続膝屈伸運動の発達に関する養育者への質問紙調査. Health and Behavior Sciences 22(2): 61-68, 2024. ◇Age-related changes in the activation timing of postural muscles to the prime mover muscle for bilateral arm flexion during standing. Journal of Physiological Anthropology 41(1):20. 2022 ◇バレーボールのオーバーハンドパスにおける手首と手指の関節運動. Health and Behavior Sciences 20(2): 109-117. 2022.  
◇単純反応と自己ペース課題での両側上肢屈曲運動時の姿勢筋の活動タイミング. 大阪総合保育大学児童保育論集 1: 15-22. 2022 ◇Influence of sports experience on distribution of pro-saccade reaction time under gap condition. Journal of Physiological Anthropology 41:4. 2022 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

姿勢制御、脳賦活、事象関連脳電位、注意機能、体力

(Akiko Maruyama)

教授

**丸山 章子**

スポーツ健康学研究科担当



スポーツコンディショニング論、スポーツコンディショニング演習Ⅰ・Ⅱ、メンタルトレーニング論、オリンピックへの挑戦と指導 他  
出身学校 : 金沢大学教育学部  
学位 : 教育学修士 (金沢大学)  
所属学会 : スポーツ心理学会  
E-mail : akiko-f@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「陸上競技選手の心理的サポートに関する研究-自己ベストを更新した短距離選手の事例-」共著 金沢学院大学紀要 経営・経済・情報科学・自然科学編第14号 85-91 平成28年3月 ◇「トランポリン競技選手における心理的スキルトレーニングプログラムの開発-東京オリンピックを目指す3名の選手の事例-」金沢学院大学紀要 経営・経済・情報科学・自然科学編第15号 165-172 平成29年3月 ◇「トランポリン選手における咬合接触状態と姿勢制御機能の関連」スポーツ歯学第23巻第1号 令和元年9月 ◇「トランポリン選手に対するマウスガード装着が姿勢制御機能に与える影響」第30回日本スポーツ歯科医学会学術大会プログラム抄録集:104 令和元年 ◇「トランポリン競技選手における心理的サポートに関する縦断的研究-2020年東京オリンピックを目指す女子選手の心理的変容-」金沢学院大学紀要 経営・経済・情報科学・自然科学編第17号 令和元年3月 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

スポーツ競技の心理的スキルトレーニングの開発、及び心理サポートに関する研究を継続的、発展的に行い、スポーツ競技選手の強化・育成に貢献する。さらにスポーツ歯学的観点からスポーツ選手と歯の関係についての見解を深め、パフォーマンス発揮に有効なマウスガードの開発や咬合接触状態について研究を進める。

(Toshiaki Yonezawa)

特任教授

**米澤 利明**



担当科目 : 教職論、生徒指導と教育相談 他

出身学校 : 上越教育大学大学院

学 位 : 教育学修士 (上越教育大学)

所属学会 : 日本学校教育学会 アメリカ教育学会 日本個性化教育学会

E-mail : t-yonezawa@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇『教育の今とこれからを読み解く 57 の視点』(共著、教育出版、2016 年 2 月) ◇『「これからの時代に求められる資質・能力の育成」とは アクティブな学びを通して』(共著、東洋館出版、2016 年 2 月) ◇『新時代の教職入門』(編著、北國新聞社、2020 年 7 月) ◇「学校の経営行為の変革とリーダーシップに関する一考察—『学習する組織』論からのアプローチ」(単著、共創型対話学習研究所機関誌(論文集)『未来を拓く教育実践学研究』第 3 号、2018 年 3 月) ◇「学習する組織論を援用した校長の学校マネジメントに関する一考察—障害のある子どもの通常学級への通学ニーズに応える地域との協働を事例として—」(単著、共創型対話学習研究所機関誌(論文集)『未来を拓く教育実践学研究』第 7 号、2023 年 3 月 ※日本学術振興会科学研究費助成事業基盤研究(C)課題番号 20K2780 の一環)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

教育理論と学校現場の実践の往還を踏まえた「教育実践学研究」の在り方についての研究

(Ryoko Watanabe)

教授

**渡辺 涼子**

スポーツ健康学研究科担当



担当科目 : 指導、コーチング演習 I・II、トレーニング論、生涯スポーツ論、スポーツ実技Ⅷ(柔道・剣道) 他

出身学校 : 筑波大学大学院

学 位 : 体育学修士

所属学会 : 日本体育学会 日本武道学会

E-mail : ryoko@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「柔道強化選手と比較した大学柔道選手の精神的特徴」講道館柔道科学研究第 12 輯 197～204 2008 ◇「アテネオリンピックのメンタルサポーター—日本代表選手の UK 分析から」、講道館科学研究会紀要第 10 編、2005 ◇「全日本女子強化選手の運動機能に関する比較研究」柔道科学研究第 1 号 7-10 1995 ◇「女子柔道強化選手の体力に関する研究」武道学研究 第 24 巻 1993 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

日本代表柔道選手の成育史に関する研究

女子柔道選手のコンディション評価

柔道における新ルール改正への影響

(Naotake Watanabe)

教授

**渡辺 直勇**

スポーツ健康学研究科担当



担当科目 : スポーツ実技Ⅷ(柔道・剣道)、キャリアプランニングⅠ・Ⅱ、専門演習Ⅰ・Ⅱ、スポーツボランティア論 他  
出身学校 : 筑波大学大学院  
学 位 : 体育学修士  
所属学会 : 日本武道学会  
E-mail : naotake@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇柔道の競技レベルが投技評価における異見発生に及ぼす影響について
- ◇現代人のための健康づくり
- ◇「柔道選手における無酸素パワーと有酸素パワーの関係について」筑波大学修士論文 1989
- ◇「一流男子柔道選手の試合前のコンディションづくりに関する実態調査」武道学研究 1997
- ◇「世界強豪選手の組み手と技データ～2001 世界選手権」柔道科学研究第8号 2003
- ◇「学生生活におけるマナー意識向上のためのシステムの提案」本教育メディア学会 2010

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

柔道選手における体力について  
柔道競技の審判法について  
武道教育について

(Kenya Takeishi)

准教授

**武石 健哉**



球技論、スポーツ実技(ラグビー)、トレーニング論、  
担当科目 : スポーツトレーナー演習、情報活用演習、地域課題研究 他  
出身学校 : 筑波大学大学院  
学 位 : 修士  
所属学会 : 日本体育・スポーツ・健康学会 スポーツコーチング学会  
E-mail : k-takeishi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇7人制ラグビーの攻撃戦術の15人制ラグビーへの応用 単著平成23年9月 仙台大学紀要第42巻1号, pp, 31-39
- ◇7人制ラグビーの防御戦術の15人制ラグビーへの応用 単著 平成24年9月仙台大学紀要第45巻1号 pp, 11-19
- ◇7人制ラグビーの攻撃練習方法 単著 平成26年9月仙台大学紀要第46巻1号 pp, 29-34
- ◇2017年ワールドラグビー世界的試験実施ルールを検証 共著 平成31年3月 ラグビー科学研究第30巻1号 pp, 10-17
- ◇口頭発表「ルール変更がスクラム戦術に及ぼす影響」—Six Nationsにおける上位3チームと下位3チームの比較— 共同 令和元年10月14-17

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ラグビールールの変遷と戦術の関係  
ユニオンラグビーにおけるセットプレーとオープンプレーと勝敗の関係



(Shumpei Kikumasa)

講師

**菊政 俊平**

スポーツ健康学研究科担当



担当科目 : スポーツ心理学、スポーツ競技の心理、スポーツ統計学、  
海外文献講読、スポーツ実技 XVII (野球)、専門演習 I・II 他  
出身学校 : 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 体育科学専攻  
学位 : 博士 (体育科学)  
所属学会 : 日本体育・スポーツ・健康学会 日本スポーツ心理学会  
日本コーチング学会 日本スポーツパフォーマンス学会  
日本野球学会 North American Society for the  
Psychology of Sport and Physical Activity  
E-mail : kikumasa@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇ソフトボール選手が集団内で行う打球処理に関する判断の方略. スポーツパフォーマンス研究, 13: 146-162, 2021. ◇試合状況に関する情報が野球の捕手におけるプレー指示場面での状況判断に及ぼす影響. 体育学研究, 65: 237-252, 2020. ◇野球の捕手が 2 者間で行う打球処理の判断に係る時間的および空間的情報. 体育学研究, 64: 613-624, 2019. ◇野球の捕手におけるプレー指示場面での予測に関する時間的遮蔽を用いた検討. 体育学研究, 63: 685-694, 2018. ◇野球の捕手におけるプレー指示場面での状況判断および視覚探索に関する方略. スポーツ心理学研究, 45: 27-41, 2018. ◇野球の捕手におけるフィールドでの状況判断能力に関する認知的要因の検討. いばらき健康・スポーツ科学, 32: 1-10, 2016.

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

集団スポーツにおける状況判断の方略に関する検討

(Takashi Yasui)

講師

**安井 孝志**



担当科目 : スポーツ実技 XV (サッカー)、スポーツ科学、専門演習 I・II、スポーツ集団の形成と社会 他  
出身学校 : 法政大学  
学位 : 学士 (経営学)  
所属学会 :  
E-mail : yasui@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

【競技歴】◇法政大学 (関東大学サッカーリーグ 1 部優勝・総理大臣杯優勝等) ◇日産自動車 (日本リーグ優勝・天皇杯優勝・JSLCUP 優勝等) 【指導歴・資格】◇国民体育大会成年の部で優勝、富山県立水橋高等学校 (高円宮杯全国ユース大会) ◇U18 ベスト 8、北信越総体優勝 2 回、高円宮杯 U18 プリンスリーグ北信越優勝 1 回) ◇日本サッカー協会 S 級コーチ (日本体育協会上級コーチ) 日本サッカー協会 B 級インストラクター 日本サッカー協会ウェルフェアオフィサー 日本サッカー協会マッチコミッショナー

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

「いつでも・どこでも・だれにでもともに楽しめるスポーツ」の創造・欧州サッカーにおける戦術研究

(Takashi Isshiki)

助教

**一色 貴史**



担当科目 : スポーツ科学、スポーツ実技 XVI (バスケットボール)、  
スポーツ技術・戦術論、コーチング演習、球技論、情報活用演習、専門演習 I 他  
出身学校 : 早稲田大学大学院  
学位 : 修士  
所属学会 : 日本バスケットボール学会、日本コーチング学会、日本スポーツ産業学会  
E-mail : issiki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇バスケットボール競技における有効攻撃に関する一考察【修士論文】

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他  
バスケットボールの戦術に関する研究

(Kosuke Ota)

助教

**太田 康介**



担当科目 : スポーツ実技 XV (サッカー I・II)、専門演習 I・II、競技者育成システム、スポーツ科学、学修基礎 I・II、サッカー指導演習  
出身学校 : 中央大学  
学位 : 修士  
所属学会 :  
E-mail : ko-oota@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

サッカー競技におけるサッカー競技におけるコーナーキックに関する研究  
-育成年代カテゴリーの比較検討-



(Takeshi Kitajima)

助教

**北島 孟**



担当科目 : スポーツ科学、トレーニング論、スポーツトレーナー演習、  
体力トレーニング実習、専門演習Ⅰ、スポーツ実技Ⅲ（陸上）  
出身学校 : 同志社大学  
学 位 : 修士（スポーツ健康科学）  
所属学会 : スポーツ心理学学会  
E-mail : t-kitajima@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ．主な研究業績・作品等

◇Effect of Message-Evoked Pleasant or Unpleasant Feelings on Pre-Performance for Motor Performance and Mood. JOURNAL OF SPORT & EXERCISE PSYCHOLOGY. Vol.42. pp40-41. 2020. 共著.  
◇感情喚起フィードバックメッセージがゴルフパッティング学習へ及ぼす影響. Doshisha Journal of Health & Sports Science, 14, pp1-9. 2022. 共著.

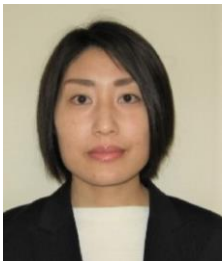
Ⅱ．現在の主な研究・制作テーマ等、その他

レジスタンストレーニング  
スポーツ活動における言葉かけ

(Eriko Nakamura)

助教

**中村 英里子**



担当科目 : スポーツ実技Ⅴ（バレーボール）、スポーツ文化論、レク  
リエーション論、スポーツ科学、スポーツ実技Ⅳ（バドミントン）、  
コーチング演習、専門演習Ⅰ・Ⅱ 他  
出身学校 : 金沢学院大学大学院  
学 位 : 修士（スポーツ健康学）  
所属学会 : 日本バレーボール学会、日本コーチング学会  
E-mail : e-nakamura@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ．主な研究業績・作品等

◇バレーボールのオーバーハンドパスにおける手の関節運動の分析. Health and Behavior Sciences 20(2): 109-117. 2022.

Ⅱ．現在の主な研究・制作テーマ等、その他

大学授業におけるバレーボールの試合構造について

(Motoko Fujimoto)

助教 **藤本 索子**



担当科目 : スポーツ科学、専門演習Ⅰ・Ⅱ、保健体育科教育法Ⅰ・Ⅱ、スポーツ実技Ⅸ(ソフトボール)、球技論、コーチング演習Ⅰ・Ⅱ、オリンピックへの挑戦と指導  
出身学校 : 日本体育大学  
金沢学院大学大学院  
学 位 : 修士(スポーツ健康学)  
所属学会 : 日本体育・スポーツ・健康学会、日本健康行動科学会、日本スポーツ歯科医学会、日本ソフトボール研究会、日本コーチング学会  
E-mail : motoko-f@kanazawa-gu.ac.jp

## I. 主な研究業績・作品等

◇立位における膝関節屈曲運動に伴う筋活動および関節音 Health and Behavior Sciences 20(1): 31-38. 2021.

◇基礎を固め安定した野手を育成する～守備・打撃強化メソッド～(DVD) ジャパンライム株式会社

### 【競技歴】

2003. 2004. 2009 日本女子ソフトボールリーグベストナイン賞受賞

2008年 北京五輪優勝 紫綬褒章授賞

### 【指導歴】

2015年 第11回世界ジュニア選手権大会 2位 (AC)

2018年 第7回アジア女子ジュニア選手権大会 1位 (AC)

2019年 第13回女子U19ワールドカップ 2位 (AC)

第8回アジアU17アジアカップ 1位 (AC)

2018. 2019. 2020年 JOC強化スタッフ

2022 全日本大学選手権大会 優勝 コーチ

### 【資格】ソフトボールコーチ3

公認スポーツビジョンアドバンスインストラクター

## II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ソフトボール競技におけるバッティングの動作分析

ソフトボール競技におけるスポーツビジョンの重要性

# 金沢学院大学 栄養学部

学部長 川村 美笑子

|      | 教授                                                                                     | 准教授           | 講師    | 助教 |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------|----|
| 栄養学科 | 飯田 範子<br>大池 教子<br>大迫 早苗<br>川村美笑子<br>○木戸 康博<br>小林 勝義<br>鈴木 三枝<br>七尾由美子<br>林 直之<br>渡邊 琢夫 | 大谷 千晴<br>山本 武 | 壽時 尚子 |    |

○：学科長

(五十音順)

(Noriko Iida)

教授

**飯田 範子**



担当科目 : 給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ、給食経営管理基礎実習、給食経営  
管理応用実習、校外実習(給食の運営)  
出身学校 : 北海道栄養短期大学  
学 位 :  
所属学会 : 日本給食経営管理学会評議員 日本臨床栄養学会 日本  
栄養改善学会  
E-mail : n-iida@kanazawa-gu.ac.jp

### Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇著書『給食実務必携』共著、第一出版(2013.2017) ◇『病院給食業における業務、労務管理の実践』単書、雇用・能力開発機構(2008) ◇『病院給食業におけるクレームの対応と対策』単書雇用・能力開発機構(2008) ◇イラストによる食物摂取調査及び結果が食生活改善に効果報告(2015) -日本健康体力栄養学会 ◇長期入院患者へのアミノ酸配合ゼリーによる栄養改善効果について(2009) -日本臨床栄養学会誌 ◇食品成分表の調理加工食品群の収載食品への期待(2010) -日本栄養改善学会誌 ◇コントラクトにおける栄養コンサルティングの実際(2007) -日本給食経営管理学会 ◇21世紀の食事サービスの向上に関する研究(2002, 2003, 2004) -日本メディカル給食協会

### Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

フードサービスマネジメントにおける給食及び調理実務の効率的な展開、大量調理における食品の選択と調理技術の効率的な方法

(Kyoko Ooike)

教授

**大池 教子**



担当科目 : 臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ、臨床栄養学実習、臨地実習Ⅰ(臨床  
養)、臨床栄養実践演習 他  
出身学校 : 大阪教育大学大学院  
学 位 : 学術修士  
所属学会 : 日本臨床栄養学会 日本栄養治療学会 日本在宅栄養学  
管理会 日本給食経営学会  
E-mail : k-ooike@kanazawa-gu.ac.jp

### Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇ラクトスクロース摂取による便秘傾向を有する高齢者の排便状況の改善効果 日本食物繊維研究会誌 2003年第7巻第2号 p.97-102 ◇介護施設入所の高齢者におけるラクトスクロース摂取による排便改善効果 日本食物繊維学会誌 2007年第11巻第2号 p.49-56 ◇糖尿病患者における脈波電播速度(PWV)と食生活との関連性 大阪教育大学紀要 生活文化研究 2009年 p.91 ◇がん診療連携拠点病院における緩和ケアチームの立ち上げ 癌と化学療法 2009年第36巻第5号 p.887-891 ◇厚生労働省平成23年度 チーム医療実証事業研究 2012年 p.280-288 ◇地域包括ケアシステムに向けた病院給食施設における危機管理・災害対策の現状と課題 日本給食経営管理学会誌 2020年第14巻、第2号 p.55-66 ◇給食サービスにおけるインシデント・アクシデントのSHELモデルに基づく要因の検討 日本給食経営管理学会誌 2022年第16巻、第1号 p.19-25

### Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

栄養ケアプロセスを用いた周術期患者に対する臨床栄養評価栄養管理計画  
管理栄養士病棟配置における管理栄養士の役割について 他

教授 (Sanae Osako)  
**大迫 早苗**



担当科目 : 調理学、調理学実習 I (調理科学実験含む)、調理学実習  
Ⅲ・Ⅳ、食品加工学、食品加工学実習 他  
出身学校 : 東京農業大学大学院農学研究科  
学 位 : 博士 (環境共生学)  
所属学会 :  
E-mail : oosako@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇キヌア澱粉の諸性質と糊化特性◇キヌア澱粉糊およびゲルのレオロジー的性質◇キヌア澱粉のミルクゼリーへの利用◇キヌアパンの食味特性について◇κ-カラギーナンゲルの凍結・解凍における糖類添加の影響◇Effect of Cations on Rheological and Thermal Properties of κ-Carrageenan Gels

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

キヌアの成分特性とその活用法に関する研究

教授 (Mieko Kawamura)  
**川村 美笑子**



担当科目 : 基礎栄養学、応用栄養学、応用栄養学演習、基礎栄養科学  
実験、総合演習、実践栄養学特論Ⅰ、スポーツ栄養学 他  
出身学校 : 東北大学大学院農学研究科博士後期課程中途退学  
学 位 : 農学博士 (東北大学)  
所属学会 : 日本栄養学教育学会評議員 日本微量元素学会 他  
E-mail : m-kawamura@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇Inter- and intra-individual variation of food and nutrient consumption in a rural Japanese population. European Journal of Clinical Nutrition. 52:781-785(1999) 共著◇  
Dietary habits and nutrient intake in non-alcoholic steatohepatitis. Nutrition. 23:  
46-52(2007) 共著◇Metabolic analysis of vanadate and effect on neurochemical behavior as  
a result of chronic oral administration of vanadate. Trace Elements in Man and Animals,  
NRC Research Press, Canada. 220-223(2008) 共著◇食環境は脳機能にどのような変化を与える  
か. FOOD STYLE. 21(8):42-48(2014) 単著◇川村美笑子: 子どもの食物. 22-39, 秋田喜代美 (監修)  
乳幼児の発達と保育 -食べる・眠る・遊ぶ・繋がる-, 朝倉書店 (2019) ◇Relationship between the  
sense of confidence regarding dietary life and the nutrient intake of pregnant women. 金  
沢学院大学教職センター紀要, 第4号: 293-305 (2021) 共著

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

必須微量栄養素の代謝と栄養的修飾  
食環境に由来する複合要因と脳・小腸機能に関する栄養生理学的研究  
地域の特性を重視した栄養生理学・栄養保健学的成果を社会システムの中に位置づける研究

(Yasuhiro Kido)

教授 **木戸 康博**



担当科目 : 健康栄養学概論、応用栄養学Ⅰ・Ⅱ、生物基礎、化学基礎、  
他  
出身学校 : 徳島大学大学院栄養学研究科  
学 位 : 博士 (栄養学)  
所属学会 : 日本栄養食糧学会、日本栄養改善学会、日本栄養学教育学  
会、日本臨床栄養学会、日本アミノ酸学会 他  
E-mail : y-kido@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇ギリシャヨーグルトの摂取が体重、体組成、筋力、身体機能、体感に与える影響. *薬理と治療*, 50, 877-886 (2022) ◇食事誘発性体熱産生に対する 5-アミノレブリン酸リン酸塩とクエン酸第一鉄ナトリウムの生理作用に関する研究. *ALA-Porphyrin Science*, 11, 13-25 (2022) ◇An evaluation of the protein requirements of Japanese young men by consuming two type of dairy proteins using the indicator amino acid oxidation method. *J Nutr Sci Vitaminol (Tokyo)*, 68, 383-389 (2022) ◇市民ランナーを対象とした食行動と食意識に関する調査. *日本スポーツ栄養研究誌*, 14, 59-68 (2021) ◇学童保育施設における児童の栄養状態を反映したおやつ提供のあり方の検討. *日本栄養士会雑誌*, 64, 31-38 (2021) 他

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

たんぱく質の必要量に関する研究 ◇ 疾病時の栄養管理と栄養療法に関する研究

(Katsuyoshi Kobayashi)

教授 **小林 勝義**



担当科目 : 公衆衛生学、健康管理概論、社会福祉概論、保健統計学、  
病理学、生物学基礎  
出身学校 : 自治医科大学、国立公衆衛生院専門課程  
学 位 : 医学士  
所属学会 : 日本公衆衛生学会、北陸公衆衛生学会 (編集委員)  
E-mail : k-kobayashi@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇社会・環境と健康 公衆衛生学 2024 年版, 医歯薬出版社 (共著) ◇分煙推進会議の取り組み 石川県下の分煙推進事業, 公衆衛生, 63 巻 11 号, 793-795 ◇島にありて, 都道府県展望, 579 号 7, 全国知事会 ◇保健事業のコンピュータ化について, 厚生省心身障害研究「高齢化社会を迎えるに当たっての母子保健事業策定に関する研究」平成元年度研究報告書, 143-144 ◇身体障害者のためのコンピュータ利用環境を考える, 北陸と公衆衛生, 第 34 号, 17-25, 北陸公衆衛生学会

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

健康危機管理体制の最適化  
食中毒、感染症の実地疫学調査を支援するシステム



(Mie Suzuki)

教授 **鈴木 三枝**



担当科目 : 公衆栄養学、地域栄養演習、公衆栄養活動論、公衆栄養学  
実習、臨地実習Ⅲ(公衆栄養)  
出身学校 : 相模女子大学  
学 位 : 家政学士  
所属学会 : 日本公衆衛生学会, 日本栄養改善学会, 日本健康学会  
E-mail : suzuki-m@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇給食施設における臨地・郊外実習の現状と課題～臨地・郊外実習生受託者を対象とする調査研究報告～(共著)2010 昭和女子大学大学院生活機構研究科紀要 Vol.19◇臨地実習の課題と今後の方向性 保健の科学 2011.3Vol153◇管理栄養士養成における「包括的計画論－workshop 方式」の教育効果について(共著)日本公衆衛生学会 2009(P586)、2010(1505－4)◇大学生の参加による地域住民主体型介護予防活動の活性化(共著)日本民族衛生学会 2016【著書】◇健康づくり栄養指導事例集Ⅱ～地域における指導記録から～(共著)1992 第一出版◇栄養士のための栄養指導論(第6版)(共著)2019 学健書院◇エスカレーター式栄養指導論(第8版)(共著)2019 同文書院◇公衆栄養学(第7版)(共著)2019 光生館◇給食実務者必携(共著)2020 第一出版◇公衆栄養学実習(共著)2020 第一出版

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他  
高齢者のフレイル状態と健康な生活について

(Yumiko Nanao)

教授 **七尾 由美子**



栄養教育論Ⅰ・Ⅱ, 栄養教育論実習Ⅰ・Ⅱ, 栄養情報処理  
担当科目 : 演習, 総合演習, 実践栄養学特論Ⅱ, 学修基礎Ⅰ, 就職基礎講座, 就職対策講座  
出身学校 : 東京家政大学  
学 位 : 博士(学術)  
所属学会 : 日本栄養改善学会, 日本健康教育学会, 日本食生活学会,  
日本食育学会, 日本栄養学教育学会  
E-mail : nanao@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇栄養教育論(共著, 学建書院, 2024年)◇サクセスフル食物と栄養学基礎シリーズ 応用栄養学(編著, 学文社, 2024年)◇栄養教育・指導実習(共著, 建帛社, 2020年)◇公衆衛生学(共著, 学文社, 2018)◇幼児をもつ保護者のコロナ禍での食生活・食意識に関する調査, 第69回日本栄養改善学会 栄養学雑誌 Vol.80-5(2022)◇カフェテリア方式でトレーに配膳図を描くと副菜の選び方に影響するか, 第68回日本栄養改善学会 栄養学雑誌 Vol.79-5(2021)◇食環境整備にナッジの理論を利用した場合の影響, 日本栄養士会雑誌, 依頼原稿, Vol.61, 24-25(2018)◇モデル地区の住民を対象とした健康増進プログラムの試み, 金沢学院大学研究紀要, 第1号, 98-111(2018)◇児童のお手伝い行動と「食に関する感謝の念」の関連性～性別による違いの検討～, 金沢学院大学教職センター研究紀要, 第1号, 98-111(2018)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ナッジ理論の食生活への応用, 大学生の食生活の実態調査, 子どもの食育に関する研究, 管理栄養士養成のためのプログラム検討 他

(Naoyuki Hayashi)

教授 **林 直之**



担当科目 : 生化学 I・II、生化学実験、他

出身学校 : 大阪大学大学院工学研究科

学位 : 工学博士

所属学会 : 日本遺伝学会 日本分子生物学会 日本生化学会 日本  
癌学会

E-mail : n-hayashi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Altered metabolic regulation owing to gsp1 mutations encoding the nuclear G protein in *Saccharomyces cerevisiae*. *Curr Genet* 66:335-344 (2020) 共著 ◇MicroRNA-140 mediates RB tumor suppressor function to control stem cell-like activity through interleukin-6. *Oncotarget* 8:13872-13885 (2017) 共著 ◇Regulatory interactions between NBS1 and DNMT1 responding to DNA damage. *J Biochemistry (Tokyo)* 154:429-435 (2013) 共著 ◇ATM mediated pRB function to control DNMT1 protein stability and DNA methylation. *Mol Cell Biol* 33:3113-3124 (2013) 共著 ◇NBS1 directly activates ATR independently of MRE1 and TOPBP1. *Genes Cells* 18:238-246 (2013) 共著 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他  
代謝調節における信号伝達機構

(Takuo Watanabe)

教授 **渡邊 琢夫**



担当科目 : 解剖生理学、解剖生理学実験、病態生理学 I・II・III

出身学校 : 東北大学医学部 同大学院医学系研究科

学位 : 医学博士

所属学会 : 日本生化学会 日本糖尿病学会

E-mail : takuo@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Regulation of alternative splicing of the receptor for advanced glycation endproducts (RAGE) through G-rich cis-elements and heterogenous nuclear ribonucleoprotein (hnRNP) H. *J. Biochem.*, 147, 651-659 (2010). 共著 ◇Reduced expression of endogenous secretory receptor for advanced glycation endproducts in hippocampal neurons of Alzheimer's disease brains. *Arch. Histol. Cytol.*, 70, 279-290 (2007). 共著 ◇Endogenous secretory receptor for advanced glycation end-products inhibits amyloid- $\beta$ 1-42 uptake into mouse brain. *J. Alzheimers Dis.*, 28, 709-720 (2012)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他  
生活習慣病の病態、予防及び治療

(Chiharu Oya)

准教授

**大谷 千晴**



担当科目 : 栄養アセスメント、臨床栄養学実習、臨床栄養実践演習、  
臨地実習Ⅰ（臨床栄養）、食生活論、献立作成演習 他  
出身学校 : 静岡県立大学大学院 食品栄養科学専攻（修士課程）  
学 位 : 修士  
所属学会 : 日本栄養士会、石川県栄養士会、日本健康・栄養システム  
学会、日本臨床栄養代謝学会、日本栄養改善学会  
E-mail : oya@kanazawa-gu.ac.jp

**I. 主な研究業績・作品等**

◇平成 28 年度厚生労働省栄養ケア活動支援整備事業「在宅療養者支援のための調査および多職種連携に向けた栄養ケアステーションの構築」◇「公益社団法人石川県栄養士会受託 平成 28 年度厚生労働省栄養ケア活動支援事業より 在宅療養者支援のための調査および多職種連携研修会開催により得られたこと」（医歯薬出版株式会社 臨床栄養 Vol.136 No1 2020.1）◇在宅復帰・転院時の栄養サポート 栄養情報提供書の作成と活用のポイント「病院から転院・施設移転するときに、栄養面で起こりうる問題はなに？」（メディカ出版ニュートリションケア 2020 Vol.15 no.2）

**II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他**

医療・介護施設における食事形態の情報共有化への取り組み  
医療・介護施設間での多職種連携と管理栄養士の関わり

(Takeshi Yamamoto)

准教授

**山本 武**



担当科目 : 食品学Ⅰ・Ⅱ、食品学実験、食品衛生学、食品衛生学実験、  
食品機能論、食品微生物学、フーズスペシャリスト論  
出身学校 : 静岡県立大学薬学部、同大学院生活健康科学研究科  
学 位 : 博士（食品栄養科学）  
所属学会 : 日本アレルギー学会、和漢医薬学会  
E-mail : takeshi-y@kanazawa-gu.ac.jp

**I. 主な研究業績・作品等**

◇Yamamoto T., Katsuki Y., Kanauchi Y., Hayashi S., Kadowaki M.: Allergic inflammation disrupts epithelial electrogenic electrolyte transport through cholinergic regulation in the mouse colon. . Biomedical Research (Japan), 44, 31-40. (2023)◇Kanauchi Y., Yamamoto T. (equally contributed), Yoshida M., Zhang Y., Lee J., Hayashi S., Kadowaki M.: Cholinergic anti-inflammatory pathway ameliorates murine experimental Th2-type colitis by suppressing the migration of plasmacytoid dendritic cells. Sci Rep. 2022 12: 54 (2022)◇Zhang Y., Yamamoto T., Hayashi S., Kadowaki M.: Suppression of plasmacytoid dendritic cell migration to colonic isolated lymphoid follicles abrogates the development of colitis. Biomed Pharmacother. 141: 111881. (2021)◇Yamamoto T., Nagata Y., Hayashi S., Kadowaki M.: Isoflavones Suppress Cyp26b1 Expression in the Murine Colonic Lamina Propria. Biol. Pharm. Bull., 43:1945-1949. (2020)

**II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他**

食物アレルギーの治療および発症予防に関する研究  
腸管粘膜免疫系の制御に関する研究 他

(Naoko Juji)

講師

**壽時 尚子**



担当科目 : 学校栄養教育法、栄養教育実習事前事後指導、教職実践演習（栄養教諭）、応用栄養学実習、食に関する指導法  
出身学校 : 神戸女子大学  
学位 : 学士  
所属学会 : 日本栄養改善学会、日本食育学会、日本栄養士会  
E-mail : juji@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇学校給食における食物アレルギー体制の整備について/共著/第16回栄養改善学会学術総会北陸支部（2021）◇小・中学校、保育所等の栄養管理のためのEER算出表の作成と肥満痩せの個別指導への活用/共著/第70回日本栄養改善学会学術総会（2023）◇旬の地場産物を触って感じる展示/共著/学校給食12月号 Vol. 73 No. 817（2022）◇3県共通の伝統野菜を題材に、オンラインで交流会！/共著/学校給食12月号 Vol. 73 No. 817（2022）みんなの“給食週間”/共著/学校給食1月号 Vol. 74 No. 818（2022）◇食が動かす学び ふるさとの祭りと食安宅小「EArTプロジェクト」/共著/食育フォーラム3月号 Vol. 24 No. 275（2024）

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

学校における食物アレルギーをもつ児童生徒への組織的対応  
学校における食に関する指導のためのカリキュラム構想

# 金沢学院大学 情報工学部

学部長 高木 直史

|       | 教授                                                                                                              | 准教授 | 講師             | 助教     |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------|--------|
| 情報工学科 | 石川 温<br>岩岡浩一郎<br>加須栄 篤(特任)<br>○桑野 裕昭<br>ゴータム・ビスヌ・ブラサド<br>佐々木圭一<br>高木 直史<br>田中美栄子(特任)<br>田中 良巳<br>藤本 祥二<br>松田 聡浩 |     | 小形 優人<br>後藤 弘光 | 張江 洋次朗 |

○：学科長

(五十音順)

(Atushi Ishikawa)

教授

**石川 温**

経営情報学研究科(M・D)担当



統計基礎、統計、物理A(力学)、基礎データ分析、経済  
担当科目 : 情報学Ⅰ・Ⅱ、経済データ分析Ⅰ・Ⅱ、計量社会科学Ⅰ・Ⅱ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ 他

出身学校 : 大阪大学大学院

学位 : 博士(理学)

所属学会 : 日本物理学会

E-mail : ishikawa@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇Generation of Individual Daily Trajectories by GPT-2, Front. Phys. 10:1021176 (2022) doi: 10.3389/fphy.2022.1021176 ◇Copula-Based Synthetic Data Generation in Firm-Size Variables, The Review of Socionetwork Strategies (2022) <https://doi.org/10.1007/s12626-022-00128-6> ◇Employee Number Dependence in Labor Productivity Distribution, The Review of Socionetwork Strategies (2022) <https://doi.org/10.1007/s12626-022-00121-z> ◇Statistical Properties in Firms' Large-scale Data (Evolutionary Economics and Social Complexity), Springer (2021) Tokyo, Japan, 155p. ◇Interpolation of non-random missing values in financial statements' big data using CatBoost, Journal of Computational Social Science (2022) <https://doi.org/10.1007/s42001-022-00165-9> ◇Statistical Properties of Labor Productivity Distributions, Front. Phys. 10:848193 (2022). doi: 10.3389/fphy.2022.848193 ◇Quasi-Static Variation of Power-Law and Log-Normal Distributions of Urban Population, Entropy Special Issue "Mathematical Analysis of Urban Spatial Networks" (2021) 23, 908, <https://doi.org/10.3390/e23070908>

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 経済物理学、社会物理学、情報学

(Koichiro Iwaoka)

教授

**岩岡 浩一郎**



コンピュータ基礎演習、コンピュータ基礎演習Ⅰ、プログラミング基礎、プログラミング、基礎データ解析、プログラミングⅠ及び演習、アルゴリズムとデータ構造、基礎演習Ⅰ・Ⅱ

出身学校 : 京都大学大学院 工学研究科

学位 : 博士(数理科学)

所属学会 : 交通工学研究会、電気学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会

E-mail : iwaoka@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇“車両感知器整備減少を背景とした信号制御方式の評価”、第11回 ITS シンポジウム 2012(2012)  
◇“光ビーコンから収集されるアップリンクを活用した一括最適化制御の適用”、交通工学論文集(2016) ◇“路上機器減少を背景とした仮想的な車両感知器情報推計手法の検討”、第17回 ITS シンポジウム 2019 (2019) ◇“Application of Deep Learning to Traffic Signal Control considering Accountability”, Proceedings of the 26th world congress on Intelligent Transport Systems (2019) ◇“交通信号制御のための Macroscopic Fundamental Diagram 指標値予測の検討”、第43回交通工学研究発表会(2023)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 交通管理(交通信号制御、交通情報提供等)へのデータサイエンス応用



(Atsushi Kasue)

特任教授

**加須 栄 篤**



担当科目 : 線形代数学Ⅰ, 線形代数学Ⅱ, 幾何学 他

出身学校 : 大阪大学大学院

学 位 : 理学博士

所属学会 : 日本数学会

E-mail : kasue@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇Thomson's principle and a Rayleigh's monotonicity law on nonlinear networks, Potential Anal. 45 (2016), 655-701 ◇Convergence of Dirichlet forms induced on boundaries of transient networks, Potential Anal. 47 (2017), 189-233 ◇Resolutive ideal boundaries of nonlinear resistive networks, Positivity 24 (2020), 151-196 ◇Positive solutions of the p-Laplacian with potential terms on weighted Riemannian manifolds with linear diameter growth, Rev. Mat. Iberoam. 39 (2023), 2233-2288.

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

Compactifications of weighted Riemannian manifolds and infinite networks/  
Convergence of Dirichlet forms in the sense of Mosco and Kuwae-Shoya

(Hiroaki Kuwano)

教授

**桑野 裕 昭**

経営情報学研究科(M・D)担当



担当科目 : 確率基礎、経営科学Ⅰ・Ⅱ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ、  
経営科学特論、システム科学特論、経営科学研究

出身学校 : 金沢大学大学院自然科学研究科

学 位 : 博士(工学)

所属学会 : 日本オペレーションズ・リサーチ学会 日本数学会 日本  
知能情報ファジィ学会

E-mail : kuwano@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇Scalarization Method for Some Kinds of Set or Fuzzy Set-Valued Optimization Problems, JOURNAL OF KANAZAWA GAKUIN UNIVERSITY, No. 22, 252-262, 2024 ◇Shortest path problem that edge lengths are given as elements of a quasi-ordered set, JOURNAL OF KANAZAWA GAKUIN UNIVERSITY, No. 21, 245-254, 2023 ◇ファジィ・プロジェクト・リスク管理モデル, 「不確実性の下での意思決定の数理とその周辺」RIMS 講究録 2126, 93-98, 2019 ◇プロジェクト・リスク・マネジメントにおけるリスク対策効果尺度に関する一考察, 「不確実性の下での意思決定理論とその応用: 計画数学の展開」RIMS 講究録 2078, 222-228, 2018 ◇プロジェクト・リスク・マネジメントにおける対策すべきリスクの選択について, 「確率的環境下における数理モデルの理論と応用」RIMS 講究録 2044, 171-181, 2017 ◇プロジェクト・リスク・マネジメントにおけるリスク対策の数理モデル化, 「不確実・不確定性の下での数理意思決定モデルとその周辺」RIMS 講究録 1990, 230-237, 2016 ◇ファジィ集合値写像の導写像について, 「不確実性の下での数理モデルとその周辺」RIMS 講究録 1939, pp. 209-214, 2015 ◇プロジェクト・リスクにおける汎用的フレームワークについて, 「不確実性の下での数理モデルとその周辺」RIMS 講究録 1939, pp. 162-171, 2015

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①人間の曖昧な認識に基づく情報環境での意思決定 ②意思決定にかかわる諸問題のモデル化とその分析 ③プロジェクト・リスク・マネジメントの数理的解析

(Gautam Bishnu Prasad)

教授 **ゴータム・ビスヌ・プラサド**



担当科目 : ネットワークセキュリティ、情報技術Ⅰ、情報技術Ⅱ、情報通信ネットワークⅠ、情報通信ネットワークⅡ  
出身学校 : 信州大学大学院総合工学研究科  
学 位 : 博士(工学)  
所属学会 : IPSJ 情報処理学会, IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) 他  
E-mail : gautam@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇Bishnu Prasad Gautam, Amit Batajoo, Norio Shiratori, “A Proposal of JYAGUCHI Computing Platform to Realize ClouEdge (Cloud-Edge) and Serverless Architecture”, Journal of Information Science and Engineering, Vol. 40, No. 1, pp. 89-105, 2024. 【IF: 2.1】 Acceptance Rate: 19%  
◇Dipak Khatri, Bishnu Prasad Gautam, Kazuhiko Sato, “Review of Firewall Applications in Multi-controller-based Software-defined Networks”, Journal of International Scientific Publications: Materials, Methods & Technologies, vol.17, pp.134-148, 2023.  
◇Sandhya Sharma, Sangam Babu Neupane, Bishnu Prasad Gautam, Kazuhiko Sato, “Automated Multi-Species Classification using Wildlife Datasets based on Deep Learning Algorithms”, Journal of International Scientific Publications: Materials, Methods & Technologies, vol.17, pp.103-117, 2023  
◇Sangam Babu Neupane, Sandhya Sharma, Bishnu Prasad Gautam, Kazuhiko Sato, “Automated Identification of Non-Informative Images from Camera Trap Data based on Deep Learning Approaches”, Journal of International Scientific Publications: Materials, Methods & Technologies, vol.17, pp.118-133, 2023. 他

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

SDN ネットワークのセキュリティ強化に関する研究 パケットフィルタリングと DPI (Deep Packet Inspection) パケットの監視, 古代農具の IoT 化, 耐災害ネットワークの構築, ネットワークの監視及び管理など

(Keiichi Sasaki)

教授 **佐々木 圭一**



自然科学概論Ⅰ・Ⅱ、自然地理学概説Ⅰ・Ⅱ、学修基礎Ⅱ  
担当科目 : ab、キャリアデザインⅡ・Ⅲ、キャリアプランニングⅠ・Ⅱ、レポート・プレゼンテーション演習 他  
出身学校 : 金沢大学  
学 位 : 博士(理学) [金沢大学]  
所属学会 : 日本地質学会 日本第四紀学会 日本サンゴ礁学会 日本古生物学会 他  
E-mail : sasak1@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇炭素・酸素同位体組成に基づく地表露出面から復元する約 62~52 ka の海水準変動(2013) 共著 地質学雑誌 v. 119, p. 155-170  
◇ $^{230}\text{Th}/^{234}\text{U}$  and  $^{14}\text{C}$  dating of a lowstand coral reef beneath the insular shelf off Irabu Island, Ryukyus, southwestern Japan(2006) 共著 Island Arc v. 15, p. 455-467  
◇Interstadial coral reef terraces and relative sea-level changes during the marine isotope stages 3-4 at Kikai Island, central Ryukyus, Japan. (2004) 共著 Quat. Int., v. 120, p. 51-64

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①南西諸島喜界島における完新世・更新世サンゴ礁段丘の形成過程 ②琉球列島のサンゴ礁堆積物からみた後期更新世以降の海水準変動 ③放射性同位体を用いた物質循環に関する研究

(Naofumi Takagi)

教授

**高木 直史**



代数学、電気・電子回路、デジタル回路、コンピュータの  
担当科目 : 構成、コンピュータアーキテクチャ、組込みシステム、コンピュータ工学実践演習 A、B、卒業研究 I・II  
出身学校 : 京都大学、京都大学大学院  
学 位 : 工学博士  
所属学会 : 電子情報通信学会、情報処理学会、IEEE  
E-mail : n-takagi@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇ ‘Rapid Single-Flux-Quantum Logic Circuits Using Clockless Gates’, IEEE Trans. Applied Superconductivity, vol. 31, no. 4, #1302407, June 2021. DOI: 10.1109/TASC.2021.3068960 ◇ ‘Design and Demonstration of an 8-bit Bit-Serial RSFQ Microprocessor: CORE e4’, IEEE Trans. Applied Superconductivity, vol. 26, Issue 5, #1301205, Aug. 2016. DOI: 10.1109/TASC.2016.2565609 ◇ ‘An Energy-Efficient High-Performance Processor with Reconfigurable Data-Paths Using RSFQ Circuits,’ Physica C: Superconductivity and Its Applications, vol. 484, pp. 213–216, Jan. 2013. ◇ ‘Bipartite Modular Multiplication Method,’ IEEE Trans. Computers, vol. 57, no. 2, pp. 157–164, Feb. 2008. DOI: 10.1109/TC.2007.70793 ◇ ‘A Fast Algorithm for Multiplicative Inversion in  $GF(2^m)$  Using Normal Basis,’ IEEE Trans. Computers, vol. 50, no. 5, pp. 394–398, May 2001. ◇ ‘Redundant CORDIC Methods with a Constant Scale Factor for Sine and Cosine Computation,’ IEEE Trans. Computers, vol. 40, no. 9, pp. 989–995, Sep. 1991. ◇ ‘High-Speed VLSI Multiplication Algorithm with a Redundant Binary Addition Tree,’ IEEE Trans. Computers, vol. C-34, no. 9, pp. 789–796, Sep. 1985.

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

関数計算回路、ハードウェアアルゴリズム、超伝導デジタル回路設計および設計支援技術

(Mieko Tanaka)

特任教授

**田中 美栄子**



担当科目 : 微分積分学、線形代数学  
出身学校 : University of Rochester, 名古屋大学大学院理学研究科,  
京都大学理学部  
学 位 : Ph.D. in physics, 理学修士, 理学士  
所属学会 : 日本物理学会  
E-mail : mieko-t@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇ Principal Component Analysis and RMT-test for Big Data Analysis : Mieko Tanaka-Yamawaki (田中美栄子)、Yumihiko Ikura(井倉弓彦) : Springer(2023) ◇ Digital Designs for Money, Markets and Social Dilemmas, volume 28 of Evolutionary Economics and Social Complexity Science 第14章「Possible relationship of the randomness and the stock performance」: Mieko Tanaka-Yamawaki, Yumihiko Ikura : Springer(2019) 有賀裕二 ◇ 価値創造と分散型市場設計 第19章「RMT テスト-ランダム行列理論に依拠した乱数度計測法の開発と応用」: 田中美栄子 : 中央大学企業研究所(2019) 有賀裕二 ◇ 医療, 医学薬学分野への SOM の応用 第19章「ランダム入力パスワード (RIP : Random Input Password)」: 田中美栄子, 田中侑希, 吉井勝俊 : 海文堂 (2017) 徳高平蔵, 他 ◇ 入門 経済物理学 暴落はなぜ起こるのか? (翻訳) 第9章「バブル, 暴落, アンチバブルの予測」: 田中美栄子, 森谷博之 : PHP 研究所 (2004) 森谷博之

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

RMT-test の手法を用いて大容量の高頻度価格時系列データの乱数度の時間推移を計測し, 市場暴落の予兆を検出する道具としての有効性を探る

(Yoshimi Tanaka)

教授

**田中 良巳**



微分積分学Ⅰ・Ⅱ、マルチメディア表現と技術Ⅱ、コンピュータ基礎演習Ⅱa・b、プログラミングⅠa・b、プログラミングⅡa・b、プログラミング基礎a・b 他  
出身学校 : 京都大学大学院人間環境学研究科  
学 位 : 博士 (人間・環境学)  
所属学会 : 日本物理学会、日本レオロジー学会、日本応用数理学会  
E-mail : yoshimi-t@kanazawa-gu.ac.jp

#### Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇Y. Tanaka, K. Ito, T. Nakagaki, R. Kobayashi, Mechanics of peristaltic locomotion and role of anchoring, Journal of the Royal society, interface 9, 222-233 (2012).  
◇Y. Morigaki, H. Wada, Y. Tanaka, Stretching an Elastic Loop: Crease, Helicoid, and Pop Out, Physical Review Letters 117, 198003:1-5 (2016).  
◇Y. Tanaka, M. Seii, J. Sui, M. Doi, Gel dynamics in the mixture of low and high viscosity solvents: Re-entrant volume change induced by dynamical asymmetry, J.Chem. Phys. 152, 184901 (2020).

#### Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ソフトマテリアルやそれを構成要素とする樹木等の自然の構造物の形と変形の解析

(Syouji Fujimoto)

教授

**藤本 祥二**

経営情報学研究科(M)担当



学修基礎Ⅱ(a/b)、キャリアデザインⅡ・Ⅲ、情報科教育  
担当科目 : 法、社会データ分析、金融データ分析基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ、統計、情報処理基礎演習  
出身学校 : 金沢大学大学院 自然科学研究科  
学 位 : 博士 (理学)  
所属学会 : 日本物理学会、情報処理学会  
E-mail : fujimoto@kanazawa-gu.ac.jp

#### Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇RoBERTa Trained from Scratch on GPS Trajectory Data, 2023 IEEE International Conference on Web Intelligence and Intelligent Agent Technology (WI-IAT) 2023 ◇Generation of individual daily trajectories by GPT-2, Frontiers in Physics Sections Interdisciplinary Physics Volume 10 (2022) ◇Copula-Based Synthetic Data Generation in Firm-Size Variables, The Review of Socionetwork Strategies volume 16, pages479-492 (2022)

#### Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

経済物理学、データサイエンス、機械学習、深層学習、人口動態、企業データ、地域経済指標、SNS データ、等のビッグデータを用いた分析



(Akihiro Matsuda)

教授 **松田 聡浩**



実践情報学、コンピュータ基礎演習、情報マネジメント基礎  
担当科目 : 礎 I・II、情報サービスマネジメントとシステム監査、基礎演習 I・II、演習 I・II  
出身学校 : 東京大学大学院工学系研究科システム量子工学専攻  
学 位 : 博士(工学)(東京大学)  
所属学会 : 日本機械学会、日本計算工学会  
E-mail : a-matsuda@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『高齢者職域開発のための職務再設計—IE アプローチ』, 金沢学院大学紀要, 第 21 号, 150-159 (2023), 単著◇『障害者職業カウンセラー厚生労働大臣指定講習テキスト第 3 版、第 4 巻専門的支援に活用できる関連領域の知識と手法』, 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構(2019), 共著◇『モード解析ハンドブック』, コロナ社 (2000), 共著◇『感性と設計』, 培風館 (1999), 共著◇『計算法学 (V)』, 養賢堂 (1997), 共著

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他  
機械学習を用いた非線形逆問題解析手法の開発  
高齢者・障害者向け職務再設計工学の構築

(Yuto Ogata)

講師 **小形 優人**



線形代数学 I・II、一般数学、経済数学、プログラミング  
担当科目 : グ II a・b、データベース I・II、演習 I・II 他  
出身学校 : 新潟大学大学院自然科学研究科  
学 位 : 博士(理学)  
所属学会 : 日本 OR 学会  
E-mail : y-ogata@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Generalized characterization theorems for set relations and an application to multi-valued optimization, Minimax Theory and its Applications, to appear. ◇Robustness of feasibility for multi-valued optimization via sublinear characterization, RIMS Kôkyûroku No.2274 (2024) 179-185. ◇Robustness of multi-valued optimization problems via set relations, Study on Nonlinear Analysis and Convex Analysis, RIMS Kôkyûroku, No.2240 (2023), 169-174. ◇Generalized dual expression for set relations by means of sublinear scalarization functions, RIMS Kôkyûroku, No.2214, 70-75 (2022). ◇Multi-objective Optimization Problems with SOS-convex Polynomials over an LMI Constraint, Taiwanese J. Math.24 (2020), 1021-1043. ◇Sublinear like Scalarization Scheme for Sets and its Applications to Set valued Inequalities, Variational Analysis and Set Optimization: Developments and Applications in Decision Making, 72-91, CRC Press, Boca Raton, FL, 2019. ◇An alternative theorem for set-valued maps via set relations and its application to robustness of feasible sets, Optimization 67 (2018), 1067-1075.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他  
数理最適化(多目的最適化, 離散最適化), 応用数学(凸解析, 集合値解析)

(Hiromitsu Goto)

講師

**後藤 弘光**



微分積分学Ⅰ、物理Ⅱ(電磁気学)、機械学習Ⅰ・Ⅱ、  
担当科目 : ネットワーク科学と経済Ⅰ・Ⅱ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ 等  
出身学校 : 金沢大学  
学 位 : 博士(理学)  
所属学会 : 日本物理学会  
E-mail : goto@kanazawa-gu.ac.jp

#### Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇Similarity and Connectivity of Industrial Networks of Japanese Prefecture Based on Firm-level Data, RIETI Discussion Paper Series 22-E-092 (2022) ◇Complex Global Interdependencies between Economic Policy Uncertainty and Geopolitical Risks Indices, RIETI Discussion Paper Series 22-E-028 (2022) ◇Macroscopic Structure of the Supply-Chain Network and the Growth of Firms in Japan, JPS Conf. Proc. 36, 011011 (2021) ◇Multilayer Network Analysis of the Drugs Development Cycle in the Global Pharmaceutical Industry, Appl Netw Sci 5, 87 (2020). ◇ネットワーク科学による学生間のつながり可視化 - 官民協働留学支援制度「トビタテ」によるコミュニティ形成-, 留学交流 2020 年 11 月号 他

#### Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ・強靱な循環経済システム構築に向けたネットワーク科学的実証研究
- ・対話を活用した教育実践のネットワーク科学による定量評価手法の開発
- ・スポーツデータサイエンス研究

(Yojiro Harie)

助教

**張江 洋次郎**



マルチメディア表現と技術Ⅰ・Ⅱ、プログラミングⅠ及び  
担当科目 : 演習、プログラミングⅢa・b、プログラミングⅣa・b、情報技術基礎Ⅰ・Ⅱ、コンピュータ基礎演習Ⅰ 他  
出身学校 : 信州大学総合工学系研究科  
学 位 : 修士(工学)  
所属学会 : 電子情報通信学会, 米国電気電子工学会, ACM  
E-mail : harie@kanazawa-gu.ac.jp

#### Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇“Memory Efficient Video Collection and Extraction Technique for Augmented Triplet Network’s Dataset”, Yojiro Harie, Sangam Babu, Neupane, Bishnu Prasad Gautam, 2022 37th International Technical Conference on Circuits/Systems, Computers and Communications (ITC-CSCC) 2022 ◇” An Approach for Flow Net Subgraph to Modelling and Analysis of Flexible Manufacturing Systems”, ITC-CSCC, 39-44 (2020). ◇” Augmented Triplet Network for Individual Organism and Unique Object Classification for Reliable Monitoring of Ezoshika Deer”, CANDARW, 197-200(2021). ◇” Hierarchical Petri Net Simulator: Simulation, Design Validation, and Model Checking Tool for Hierarchical Place/Transition Petri Nets”, SIMULTECH. 2017, 356-361(2017). ◇” 仕様に基づいたペトリネットのトランジション優先発火による on-the-fly モデル検査の効率化”, 情報処理学会, 455-456(2016). ◇” ペトリネットツール HiPS が生成した状態空間と LTL による仕様記述を用いた On-the-fly モデル検査器の設計と実装”, 電子情報通信学会, A-1(2016).

#### Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

システム検証系・ペトリネット・機械学習アルゴリズム・機械学習工学



# 金沢学院大学 基礎教育機構

機構長 桑野 裕昭

| 教授                                                                   | 准教授                          | 講師                                    | 助教     |
|----------------------------------------------------------------------|------------------------------|---------------------------------------|--------|
| 秋山 稔<br>荒川 昭広<br>石崎 建治<br>(上田 外史彦(文))<br>(桑野 裕昭(情))<br>土農 力<br>水洞 幸夫 | 小西 尚之<br>中村 晋也<br>(中村 直行(経)) | 板垣 真任<br>中川恵理子<br>野寺 巧寛<br>(孫工 季也(教)) | 八木 かなえ |

※ ( ) は兼務先学部

〈五十音順〉

(Akihiro Arakawa)

教授

**荒川 昭広**



デザイン概論Ⅰ・Ⅱ、CG 演習 a・b、美術科教育法Ⅱ、ビ  
 担当科目 : ジュアルデザイン a・b、デザイン演習Ⅱa・b、ウェブ活  
 用演習Ⅱ 他  
 出身学校 : 金沢美術工芸大学  
 学 位 : 芸術学士  
 所属学会 : 日本デザイン学会 大学美術教育学会 石川県ビジュアル  
 デザイン協会 理事  
 E-mail : arakawa@kanazawa-gu.ac.jp

### Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇デザイン教育におけるアクティブラーニングの実践
- ◇美術とメディアデザインを融合した授業の導入計画
- ◇美術とメディアデザインを融合した複合的な学び
- ◇デジタルイラストレーションによる絵画的表現「リアル背景画～写真から絵画へ」
- ◇中高美術科教育における表現テーマの考察～現代美術作品の模倣による制作指導～

### Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

問題解決につなげるデザイン思考

(Kenji Ishizaki)

教授

**石崎 建治**

人文学研究科担当



日本史概説Ⅰ、古文書学演習Ⅰ、古代・中世史演習Ⅰ・Ⅱ  
 担当科目 : プレ卒業研究演習、文献資料研究法Ⅱ、卒業研究、日本歴  
 史文化学特論Ⅰ・Ⅱ 他  
 出身学校 : 早稲田大学  
 学 位 : 文学修士（早稲田大学）  
 所属学会 : 日本歴史学会 日本古文書学会 史学会 他  
 E-mail : ishizaki@kanazawa-gu.ac.jp

### Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇「織田信長『鱗』字型花押の含意」(『日本歴史』第664号 2003年9月) ◇「本能寺の変と上杉景勝」(『日本歴史』第685号、2005年6月) ◇「室町幕府徳政令発布時における礼銭礼物と分一銭の関係」(『古文書研究』第57号、2003年5月) ◇「中世東国社会における永楽通宝選好性の一要因」(『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編第6号 2008年3月) ◇「『謙信公御書集』の史料性格に関する一考察」(『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編第8号 2010年3月) ◇「貨幣を教材・主題とした高等学校地理歴史科・中学校社会科授業の実践的研究(Ⅰ)」(『金沢学院大学紀要』第15号 2017年3月) ◇「上洛直後の織田信長と足利義昭」(『日本歴史』第846号、2018年11月) ◇「本能寺の変と細川氏の進退」(『日本歴史』第863号 2020年4月) 『加賀藩御算用者猪山直之日記』(時鐘舎 2010年10月) 他

### Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

日本中世政治史 日本中世社会における貨幣流通 加賀藩武家社会研究 「叡山文庫」所蔵資料を中心とした中近世移行期近江坂本の復元的研究(令和2年度科研費基盤研究(C)採択課題)



(Riki Shino)

教授 **士農 力**

担当科目 : 地誌 他

出身学校 : 金沢美術工芸大学

学 位 : 芸術学修士

公益社団法人日展会員 一般財団法人石川県美術文化協会

所属学会 : 理事 一般社団法人日本美術家連盟会員 京都日本画家協会  
会員 青塔社会員

E-mail : riki@kanazawa-gu.ac.jp

## I. 主な研究業績・作品等

◇日展入選「埠頭」「HONG KONG' 90」「Brooklyn Brigde」他 (1987～2003) ◇日春展入選・受賞・会員出品 (1987～2015) ◇文化庁芸術インターンシップ研修員 (1995) ◇現代美術展美術文化大賞「サンフランシスコ」 (1996) ◇日展特選「Lex. Avenue」 (2000) ◇日展特選「Montparnasse」 (2003) ◇日展無鑑査・出品委嘱「闘牛場の見える街」他 (2004～2006) ◇全関西美術展審査員 (2005) ◇現代美術展審査員 (同'99, '01, '04, '08, '11, '20, '23) ◇日展審査員 (2007) ◇日展会員出品 (2008～) ◇金沢市文化活動賞受賞 (2008) ◇日展会員賞「THE BRONX」 (2011) ◇「こころの京都」百選展 (京都府) に「あまのはしだて」出品 (2013) ◇「中町力日本画展」NEW YORK Drawing & Painting - (永井画廊 2013) ◇紺綬褒章 (2013) ◇Saion des Beaux Arts 2014 (SNBA 展パリ・ルーブル) 審査員賞 ◇第1回石川県文化奨励賞 (2016) ◇「金沢を歩く」士農カスケッチ展 (石川県立歴史博物館ギャラリー 2016) ◇「旅する日本画士農力作品集」 (飛鳥新社・2019) ◇「令和の東京百景」シリーズ (2021) ◇「絵になる東京」講演 (一般財団法人都市防災研究所主催、日本外国特派員協会にて 2022) ◇鼎談「表現と文化」楊逸・小谷忠典・士農力 (武蔵野大学文学部公開講座 2022)

## II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

写生取材及び日本画作品の制作と発表

(Naoyuki Konishi)

准教授 **小西 尚之**



教育社会学、生徒・進路指導論、教育課程論、社会学 I・

担当科目 : II、英語 I・II、学修基礎 II ab、キャリアデザイン II・III、  
キャリアプランニング I・II

出身学校 : 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程 (単位取得満  
期退学)

学 位 : 修士 (教育学)

所属学会 : 日本教育社会学会、日本教育学会、日本学校教育学会

E-mail : n-konishi@kanazawa-gu.ac.jp

## I. 主な研究業績・作品等

◇共著「第1章 高校生の進路・生活と集団編成：「教育的カテゴリー」への注目」、共著「第2章 調査研究の概要と基礎分析」、単著「第8章 系統の再編と生徒の進路選択」 (中村高康・中村知世・小黒恵編著『高校生の進路・生活と「教育的カテゴリー」：ゆらぐ高校教育をとらえなおす』ミネルヴァ書房, 2023年) ◇共著「第13講 東大生と教育格差を総括する」 (松岡亮二・高橋史子・中村高康編著『東大生、教育格差を学ぶ』光文社新書, 2023年) ◇単著「第15章 「現場」のために教師が社会調査を学ぶ」 (中村高康・松岡亮二編著『現場で使える教育社会学：教職のための「教育格差」入門』ミネルヴァ書房, 2021年) ◇単著「第7章 危機に立つ教師：学校組織のなかで」 (腰越滋編著『子どもと教育と社会』学文社, 2016年)

## II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

総合学科高校における学習・生活・進路に関する総合的研究

高校教育における教育格差 (学校間・学校内トラッキング、地域格差)

(Shinya Nakamura)

准教授

中村 晋也



担当科目 : 保存科学概説Ⅰ・Ⅱ、保存科学演習Ⅰ・Ⅱ、文化財と自然  
 科学、文化財の保護と活用、考古学実習Ⅰ・Ⅱ、FSP 講座、  
 キャリアデザインⅠ、キャリアプランニングⅠ・Ⅱ

出身学校 : 奈良大学文学部文化財学科

学 位 : 文学士

所属学会 : 日本文化財科学会 文化財保存修復学会 (理事)

E-mail : nakamura@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇能登半島地震における復興支援活動-被災資料の調査・修復から復興へ- (文化財の保存と修復-災害から文化財をまもる-: 2012 年) ◇トレハロースを使用した真空凍結乾燥法による出土木材の保存処理研究 (日本文化財科学会第 31 回大会研究発表要旨集: 2014 年) ◇石川県内遺跡出土ガラス資料の自然科学的研究①-材質・製作技法からみたガラス資料の再検討- (石川県埋蔵文化財情報第 35 号: 2016 年) ◇子浦小谷屋横穴古墳群・聖川寺山横穴古墳群 (宝達志水町) 出土耳環の自然科学的研究 (金沢学院大学紀要 18 号: 2019 年) ◇大津祭曳山「郭巨山」の妻人形、童子人形の修理事例 (文化財保存修復学会第 42 回大会研究発表要旨集: 2020 年)

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①文化財の防災・減災に関する研究
- ②出土木製品の保存処理に関する研究
- ③無機質文化財資料(ガラス、青銅製品など)の材質・技法に関する研究

(Masato Itagaki)

講師

板垣 真任



担当科目 : 基礎英語Ⅰ・Ⅱ、英語プレゼンテーション初級Ⅰ・Ⅱ、  
 英米文学概論Ⅱ、英米文学講読Ⅰ、Japanese Culture  
 through English

出身学校 : 成蹊大学大学院文学研究科英米文学専攻

学 位 : 修士 (文学)

所属学会 : 日本英文学会、日本アメリカ文学会、日本メルヴィル学会

E-mail : itagaki@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

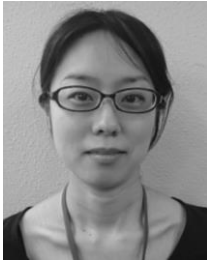
◇「声を書くということ―「ビリー・バッド」における草稿とビリーの吃音」下河辺美知子 (監)、高瀬祐子、日比野啓、舌津智之、巽孝之 (編著) 『アメリカン・マインドの音声―文学・外傷・身体』小鳥遊書房、2019 年、209-234 頁。◇「響きのテキスト―The Scarlet Letter のディムズデイル論」artés liberals. 第 32 号、日本工業大学共通教育学群、2022 年、12-20 頁。◇「声と暴力、そして個人―“Billy Budd, Sailor”における言語障害」『成蹊大学人文研究』第 25 号、成蹊大学、2017 年、1-20 頁。

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

18-19 世紀アメリカ文学における発声・吃音・聞き取りの表象

(Eriko Nakagawa)

講師 **中川 恵理子**



担当科目 : 図書館概論、情報サービス論、情報サービス演習、情報資源組織論、情報サービス演習、情報資源組織論、児童サービス論 他  
出身学校 : 武庫川女子大学 金沢学院大学大学院  
学 位 : 学士(文学) 修士(文学)  
所属学会 : 日本図書館研究会 大学図書館問題研究会  
E-mail : e-naka@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「「こころ」からみる戦後高校生の名作意識の変遷—高度経済成長期と高度経済成長期以降の比較—」(大学図書館問題研究会誌 第46号 2020年8月) ◇『青春の門』論—高校生読者の視点から— (金沢学院大学紀要 第17号 2019年3月) ◇金沢学院大学図書館における読書支援の事例報告—ブックシェアの取り組み— (大学図書館問題研究会誌 第44号 2018年4月) ◇利用者調査を踏まえた学修支援サービスの展開—金沢学院大学図書館における事例— (金沢学院大学紀要 第15号 2017年3月) ◇「利用者調査を踏まえた学修支援サービスの展開—金沢学院大学図書館における事例—」(金沢学院大学紀要 第15号 2017年3月) ◇「金沢学院大学図書館における読書支援の事例報告—ブックシェアの取り組み—」(大学図書館問題研究会誌 第44号 2018年4月) ◇「青春の門論—高校生読者の視点から—」(金沢学院大学紀要 第17号 2019年3月)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

大学図書館の利用促進について 司書課程履修者のこれまでの図書館利用状況について 高度経済成長期以降の高校生の読書傾向の変化について

(Yoshihiro Nodera)

講師 **野寺 巧寛** スポーツ健康学研究科担当



担当科目 : スポーツ法学、スポーツ政策論、スポーツ社会学、スポーツ経営管理、体育原理、公務員と法、法律学概論、法学 I・II、法学(日本国憲法)、商法 I  
出身学校 : 明治大学大学院  
学 位 : 修士(法学)  
所属学会 : 日本法哲学会、日本スポーツ産業学会、日本スポーツ法学会、法文化学会  
E-mail : nodera@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「第11章 アンチ・ドーピングと法」新井喜代加、武田丈太郎編『はじめて学ぶスポーツと法』(みらい), pp. 161-174, 2023年3月. ◇「フランスのドーピング対策法制について」法学研究論集第50号(明治大学大学院), pp. 187-206, 2019年2月. ◇「欧州連合のアンチ・ドーピング: 超国家的法体制の構築に向けて」日本スポーツ法学会年報第25号(日本スポーツ法学会), pp. 110-131, 2018年12月. ◇「フランスにおけるアンチ・ドーピング法の転換期: 1989年のドーピング法改正をめぐって」法学研究論集第47号(明治大学大学院), pp. 111-130, 2017年9月. ◇「アンチ・ドーピング法とパターンリズム: フランスにおける創生から」法学研究論集第46号(明治大学大学院), pp. 161-182, 2017年2月. ◇「20世紀中葉のフランスとアンチ・ドーピング法: 「スポーツ競技会における興奮剤の使用の取締りに関する法律案」をめぐって」法学研究論集第44号(明治大学大学院), pp. 137-154, 2016年2月. ◇「欧州連合における食品の安全確保とドーピング予防」日本スポーツ法学会第26回研究大会 同志社大学(京都), 2018年12月. 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

1. スポーツと法の関係 2. 日本国及び諸外国(特にフランス)のアンチ・ドーピング法  
3. 欧州連合のスポーツ法政策 他

(Kanae Yagi)

助教

**八木 かなえ**



担当科目 : オリンピックへの挑戦と指導、コーチング演習Ⅰ・Ⅱ、スポーツトレーナー演習、専門演習Ⅰ・Ⅱ、トレーニング論、体力トレーニング実習、学修基礎Ⅰ・Ⅱ

出身学校 : 金沢学院大学

学 位 : 学士

所属学会 :

E-mail : yagi@kanazawa-gu.ac.jp

#### Ⅰ．主な研究業績・作品等

◇2012年ロンドンオリンピック 10位◇2016年リオデジャネイロオリンピック 6位◇2020年東京オリンピック 11位◇2013年ユニバーシアード夏季競技大会 優勝◇世界選手権 5回出場◇全日本選手権 7回 優勝

#### Ⅱ．現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ウエイトリフティング競技における心技体について



## 金沢学院短期大学

- ・ 現代教養学科
- ・ 食物栄養学科
- ・ 幼児教育学科

# 金沢学院短期大学

学 長 高他 毅

|        | 教授                                    | 准教授        | 講師             | 助教             |
|--------|---------------------------------------|------------|----------------|----------------|
| 現代教養学科 | ○小里 千寿<br>笹谷 聡史<br>佐道 正春<br>村上 智      | 児島新太郎      |                | 橋高 朱里          |
| 食物栄養学科 | ○安藤 秀子<br>大西 孝司 (特任)<br>高他 毅<br>原田 澄子 |            | 多田 邦宏<br>平山 雄大 | 大道 文香<br>京極 奈美 |
| 幼児教育学科 | 鈴木 賢男<br>○砂山真喜子<br>寺田 達也              | 高木香代子 (特任) | 大竹 留美<br>棒田 美江 | 白江 寿美          |

○：学科長

(五十音順)

(Chizu Kosato)

教授

**小里 千寿**

人文学研究科担当



担当科目 : キャリアデザインⅠ～Ⅲ、就業体験(インターンシップ等)、キャリアプランニング、人的資源管理、秘書総論Ⅰ・Ⅱ 他  
出身学校 : 法政大学大学院、金沢学院大学大学院  
学位 : 博士(経営情報学)  
所属学会 : キャリアデザイン学会、労務学会、労働政策研究・研修機構(JILPT)、日本産業経済学会、キャリア教育学会、日本産業教育学会 他  
E-mail : kosato@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇著書・インターンシップで始める就『勝』本、日本法令(論文)◇サービス業に従事する派遣労働者の技能形成 - 婚礼司会者の事例 - (単著)(芝浦工業大学研究報告 VOL. 47 (人文系編 ISSN0386-3107) (P. 109~P. 114)) ◇技能伝承の短期化に向けた実態調査(共著)(拓殖大学国際開発学研究 VOL. 13 NO. 1 (P. 79~P. 103)) ◇THE EFFECTIVENESS OF SUPPORT SYSTEMS IN MANUFACTURING (製造業における技能伝承サポートシステムの有効性)(共著)(7th SETUC SYMPOSIUM, INDONESIA, South East Asian Technical Universities Consortium) ◇文系大学生を対象とした1・2年生向けプログラムー産学連携によるプレインターンシップの事例紹介ー(共著)(産業経済研究 第17号 (P. 3~P. 16)) 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

キャリアデザイン、キャリア発達、技能形成、労働者の意識、人材開発(HRD)、人的資源管理(HRM)など。職業選択の要因となるもの、適性とは、また、職業によって人はどのように変化・発達していくのか等、労働に関する調査・研究

(Satoshi Sasatani)

教授

**笹谷 聡史**



担当科目 : 簿記入門・応用、コンピュータ会計Ⅰ・Ⅱ、ファイナンス・キャリアプランニング基礎・応用 他  
出身学校 : 上越教育大学大学院  
学位 : 教育学修士  
所属学会 :  
E-mail : sasatani@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇高等学校における情報教育的な視点を取り入れた「総合的な学習の時間」の展開(日本教育実践学会)2001.12◇進路指導におけるプレゼンテーション教育の効果ー高校生の進路選択に対する自己効力を発表活動の中で高める試みー(日本教育工学会研究会)2002.9◇進路指導における情報教育的な授業実践ー高校生の進路選択への自己効力を発表活動の中で高める試みー(日本教育工学会第18回全国大会)2002.12◇キャリア教育におけるプレゼンテーション教育の有効性ー高校生への情報教育的授業実践進路選択に対する自己効力を高める試みー(第24回北陸三県教育工学研究大会)2003.2

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

実社会に結び付く、ビジネス教育の在り方

(Masaharu Samichi)

教授

**佐道 正春**



担当科目 : プログラミング、プログラミング応用演習、情報処理Ⅰ・Ⅱ、ビジネスソフト発展Ⅰ・Ⅱ、応用秘書実務演習、学修ゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ、キャリアプランニング 他  
出身学校 : 駒澤大学  
学 位 : 学士  
所属学会 : 日本商業教育学会  
E-mail : samichi@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇「商業の見方・考え方」を働かせる学習活動
- ◇高校における探究活動プロジェクト
- ◇高等学校における「地域学」

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ビジネス分野におけるICTの活用  
商業教育における高大連携  
時代を見据えたビジネス教育

(Satoshi Murakami)

教授

**村上 智**



国内旅行業実務、海外旅行業実務、国内／海外観光地理  
担当科目 : ホテルブライダル概論、ホテル実務、ブライダル実務、観光学概論、総務・労務管理、基礎ゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ 他  
出身学校 : 新潟大学  
学 位 : 法学士  
所属学会 : 日本観光学会 観光学術学会 コンテンツツーリズム学会  
E-mail : s-murakami@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇道の駅厳美溪の研究◇石川県インバウンドの研究◇日本史をコンテンツとした観光研究
- ◇マス・ツーリズムの再評価について

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

コンテンツツーリズムの研究  
文化観光の研究

(Hideko Ando)

教授

**安藤 秀子**



給食管理論、給食管理実習Ⅰ・Ⅱ、栄養士総合演習、栄養  
担当科目 : 士基礎演習Ⅰ・Ⅱ、献立作成演習、校外実習(給食の運営  
Ⅰ・Ⅱ)、校外実習事前・事後指導、キャリアデザイン  
出身学校 : 名古屋文理短期大学、青山学院大学大学院  
学 位 : 修士  
所属学会 : 日本栄養士会  
E-mail : andou@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇特定給食施設におけるメタボリックシンドローム対策 保健の科学 杏林書院 50 巻・5 月号、  
pp331-335、2008 年 杏林書院◇勤労者におけるメタボリックシンドローム対策のための教育プログラ  
ムの検討 第 55 回日本栄養改善学会学術総会講演要旨集、pp267、2008 年◇給食施設における社会貢  
献活動-TFT メニューの導入の評価- 第 56 回日本栄養改善学会学術総会講演要旨集、pp303、  
2009 年◇受託給食施設(学校給食)におけるアレルギー食対応の取り組みについて 第 61 回日本栄養  
改善学会学術総会講演要旨集、pp294、2014 年◇下流フードサービス SCM の SDGs 食品ロス削減方策  
(共著)、日本 IE 協会 316 号◇給食サービスの下流サプライチェーンマネジメントに対する生産管理技法  
を適用した食品ロス低減方策 青山学院大学大学院経営学研究科修士論文、2020 年

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

給食サービスの下流サプライチェーンマネジメントに対する生産管理技法を適用した食品ロス  
低減に関する研究、フードサービス業界で求められる管理栄養士の資質調査

(Takashi Ohnishi)

特任教授

**大西 孝司**



担当科目 : 公衆衛生学、食品衛生学、食品学総論・各論  
食品衛生学実験、食品学実験  
出身学校 : 金沢大学大学院医学研究科  
学 位 : 修士(薬学)、博士(医学)  
所属学会 : 日本予防医学会、北陸公衆衛生学会  
E-mail : onishi@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「管理栄養士養成課程【栄養管理と生命科学シリーズ】社会・環境と健康」(共著)、2011、理  
工図書株式会社◇「公衆衛生学」(共著)、2014、株式会社光生館『論文』◇「外食栄養成分表示  
の方法論に関する検討-新規開拓に向けて-」(共著)、2014、日本予防医学会雑誌◇「四疾患に  
効果があると考えられる薬膳の効能・効果の評価について-東洋医学的観点と西洋医学的観点か  
らの実証」(共著)、2015、ノートルダム清心女子大学紀要◇「外食における食環境整備のあり方  
に関する検討」(共著)、2015、日本予防医学会雑誌『学会発表』◇「管理栄養士養成施設学生に  
おける食品衛生監視員資格取得に関する意識調査」(共著)、2018、日本予防医学会学術総会◇「高  
齢者施設における災害時食体制の現状と課題」(共著)、2018、日本栄養改善学会学術総会◇「元  
気高齢者の食支援体制のありかたに関する検討」(共著)、2019、岡山県保健福祉学会

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

機能性表示食品、薬膳・薬草料理、いわゆる健康食品等の有効性 (EBM) 評価方法に関する検討

(Sumiko Harada)

教授 **原田 澄子**



担当科目 : 調理学、調理学実習 I (実験含む)、応用調理学実習、栄養  
士基礎演習 I・II、健康管理概論  
出身学校 : 愛媛大学 大学院  
学 位 : 農学修士  
所属学会 : 日本栄養改善学会 日本調理科学学会 日本栄養士会  
E-mail : harada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇幼児の食事に関する調査研究◇女子短大生の食習慣と BMI、骨量の関連について◇学内給食実習の献立における一考察-加熱前、加熱後の重量変化およびミネラルの分析について◇園児・児童の食事作りの指導、親子料理教室、料理コンクール審査員等◇富山県の日常食、行事食、郷土食に関する調査研究著書◇とやまの郷土料理 (春・夏編、秋・冬編)、伝統食品・食文化 in 金沢-加賀・能登・越中・永平寺一、小児栄養学総論、食生活論、給食経営管理実習等 共著

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

次世代に伝え継ぐ 富山の家庭料理 親子食育講座

(Masao Suzuki)

教授 **鈴木 賢男** 人文学研究科担当



担当科目 : 地域と子ども I・II、教育心理学、情報処理 I・II  
出身学校 : 文教大学人間科学部 金沢大学大学院教育学研究科  
学 位 : 教育学修士  
所属学会 : 日本教育心理学会 日本心理学会 日本発達心理学会  
日本イメージ心理学会 日本感情心理学会  
E-mail : m-suzuki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇幼児期における主体性の評価についての心理学的意義 —教育環境での主体性尺度を発達の観点から検討した総合的な試論—, 金沢学院大学教育研究所紀要第 1 号, pp. 189-202, 2017◇大学生の学習観についての特徴 — 質的研究におけるトライアンギュレーションの試み —, 文教大学言語と文化研究所紀要, 第 30 号, pp. 131-160, 2018 (共著) ◇初年度大学生における主体性の評定と学期終了時の学習評価との関連 — 主体性を特徴づける学業生活における意識 —, 文教大学人間科学研究, 第 39 号, pp. 173-184, 2018 (共著) ◇幅広い異年齢集団の遊びにおける幼児・児童の主体性と協同性の在り方 — 2018 年「こどもかれっじ」サマースクールを対象とした実践 —, 金沢学院短期大学紀要, 第 17 号, pp. 87-106, 2019

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①幼児から大学生および社会人における学習観や学習スタイルのあり方と学業生活への効果や影響 (主として、学習を中心とした諸活動における主体性の心理学的意味の考察、および尺度の作成と評価) ②諸活動におけるためらい (躊躇) に作用する要因、ためらい (躊躇) の心理学的意義の検討 (主として、ためらいにおける時間的猶予とマインドワンダリングとの関連)



(Makiko Sunayama)

教授

**砂山 真喜子**



担当科目 : 社会福祉、子ども家庭福祉、社会的養護Ⅰ・Ⅱ、子ども家庭支援論、保育の心理学、子ども家庭支援の心理学、特別支援教育論Ⅰ・Ⅱ、子育て支援、地域と子どもⅠ・Ⅱ、保育内容演習、人間関係Ⅰ・Ⅱ、保育・教職実践演習 他

出身学校 : 東京福祉大学大学院

学 位 : 修士（児童学修士）

所属学会 : 日本子ども虐待防止学会

E-mail : sunayama@kanazawa-gu.ac.jp

#### Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇「社会的養護（児童養護施設）における人材育成に係る要件に関する研究」資生堂社会福祉事業財団, 2016 - 3 ◇「子ども・子育て支援における市町村の役割と多機関協働に関する一考察：A町における実践を通して」金沢星稜大学人間科学研究 9(2), 13-18, 2016 - 3 ◇『地域子ども家庭支援の新たなかたち - 児童家庭支援センターが、繋ぎ、紡ぎ、創る地域養育システム』共著(第3章 - 1), 生活書院, 2020 ◇『社会的養育ソーシャルワークの道標』共著(第3章), 生活書院, 2021 ◇『特別支援教育と障害児の保育・福祉』共著(第6章), ミネルヴァ書房, 2023 ◇「保育者の資質向上に向けてのサポートのあり方-保護者支援における保育者の困りに着目して-」, 東京福祉大学大学院, 2024

#### Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

保育者の資質向上に向けてのサポートのありかた、保育者の子育て支援・保護者支援、こども家庭ソーシャルワーク

(Tatsuya Terada)

教授

**寺田 達也**

人文学研究科担当



担当科目 : 日本語Ⅰ、領域言葉、保育内容演習、地域と子どもⅠ・Ⅱ、文章表現、卒業研究、近・現代文学講読A、近・現代文学演習A、プレ卒業研究演習 他

出身学校 : 東京大学

学 位 : 修士（文学）

所属学会 : 日本近代文学 日本文学協会 東京大学国語国文学会

E-mail : terada@kanazawa-gu.ac.jp

#### Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇「楽器音のオノマトペ表現の多様性—視覚によるイメージと表現の変化について—」（『金沢学院短期大学紀要』第20号、令和4年3月）◇「絵本における「語り」の分析—児童文化財への「語り」論の応用—」（『金沢学院短期大学紀要』第18号、令和2年3月）◇「犬ころポチ」物語の読み聞かせ教材化—児童文化財としての二葉亭四迷「平凡」—」（『金沢学院大学教育研究所紀要』（電子版）第1号、平成29年3月）◇「二葉亭四迷『小説総論』と没理想論争—想実論を軸として—」（『金沢学院大学紀要 文学・美術編』第15号、平成29年3月）◇『恋する文学—ほくりく散歩』（共著、北國新聞社、平成26年2月）◇『北陸 近代文学の舞台を旅して』（共著、北國新聞社、平成24年2月）

#### Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

日本近代文学、二葉亭四迷研究、金沢や北陸の文学、幼児教育（ことば） 他

(Shintaro Kojima)

准教授

**児島 新太郎**



芸術基礎演習Ⅰ（絵画・工芸）、芸術応用演習Ⅰ・Ⅱ、デザイン基礎、学修ゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ、キャリアプランニング、近現代美術史 他  
担当科目 :  
出身学校 : 金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科絵画専攻  
学位 : 修士（芸術）  
所属学会 : 一般社団法人光風会  
E-mail : s-kojima@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ．主な研究業績・作品等

- ◇2012年 第44回日展 特選受賞
- ◇2013年 都美セレクション 新鋭美術家2013選抜（東京都美術館）
- ◇2014年 改組新第1回日展 特選受賞
- ◇2015年 第101回光風会展 文部科学大臣賞
- ◇2018年 平成30年度 石川県文化奨励賞

Ⅱ．現在の主な研究・制作テーマ等、その他

絵画制作を通じ、概念を描出する形象表現を研究、絵画の今日的な新しい表現の可能性を追求

(Kayoko Takagi)

特任准教授

**高木 香代子**



幼児体育、保育内容演習 健康Ⅰ・Ⅱ、領域健康、スポーツ実技Ⅵ（ダンス）、保育・教職実践演習（幼稚園） 他  
担当科目 :  
出身学校 : 金沢大学大学院  
学位 : 教育学修士  
所属学会 : 日本体育・スポーツ・健康学会 日本介護福祉学会  
E-mail : k-takagi@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ．主な研究業績・作品等

- ◇「幼児用リズムダンスに関する研究」金沢学院大学紀要 経営・経済・情報科学・自然科学編、第14号、2016（共著）◇「幼児用リズムダンスの実践に関する研究—年少児を対象として—」金沢学院大学紀要、第16号、2018（共著）◇「子どもの運動遊びに関する研究—2018年度「こどもかれっじ」を対象として—」金沢学院短期大学紀要、第18号、2020（共著）◇「幼児の自由遊びにおける基本動作の数と種類の定期的な活動での変化—遊び相手との関わりによって引き出される動作の様式の相違—」金沢学院短期大学紀要、第19号、2021（共著）◇「実習におけるダンスと使用曲に関する研究—コロナ禍で保育者を目指す学生への調査から—」金沢学院短期大学紀要、第20号、2022

Ⅱ．現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ダンス及び表現運動に関する研究 子どもの運動遊びに関する研究

(Kunihiro Tada)

講師

**多田 邦宏**



担当科目 : 健康スポーツ I・II、スポーツ科学  
出身学校 : 国士舘大学  
学位 : 体育学士  
所属学会 :  
E-mail : k-tada@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

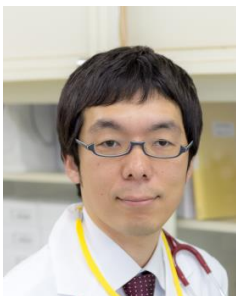
◇著書「指導教本」(ソフトボール編)単著 平成8年3月(埼玉県教育委員会) ◇「みるみる上達するソフトボール」～神村学園の確実に強くなる練習法～ 単著 平成27年9月(ティアンドエイチ社)海外派遣◇国際スポーツ専門家长期派遣事業、派遣専門家(ソフトボールコーチ) 平成12年9月～平成13年3月国体関係◇平成6年、8年～10年 埼玉県 国体少年女子コーチ ◇平成11年 埼玉県 国体少年女子監督 ◇平成21年～24年 徳島県 国体成年女子監督 ◇平成27年～29年 鹿児島県 国体少年女子監督◇令和2年～ 石川県 国体成年女子監督主たる指導実績(ソフトボール)  
◇◇平成25年 神村学園高等部 全国高校総体ベスト16 ◇平成26年 同上 全国高校総体優勝 ◇平成27年 同上 全国高校総体出場 ◇平成28年 同上 全国高校選抜大会3位、全国高校総体出場、国民体育大会準優勝 ◇平成29年 同上 全国高校選抜大会ベスト16、全国私学大会準優勝、全国高校総体5位 ◇平成30年 同上 全国高校選抜大会3位◇令和元年・2年 全日本大学選手権大会3位 ◇令和4年 全日本大学選手権大会優勝

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 ソフトボールにおけるトレーニング理論

(Yudai Hirayama)

講師

**平山 雄大**



臨床栄養学実習、応用栄養学実習、栄養士総合演習、  
担当科目 : 校外実習(給食の運営I・II)、校外実習事前・事後指導、情報処理基礎I・II、キャリアプランニング  
出身学校 : 名古屋学芸大学大学院  
学位 : 修士(栄養科学)  
所属学会 : 日本健康・栄養システム学会 日本栄養士会  
E-mail : hirayama@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇2017年1月末まで、社会医療法人慈泉会相澤病院栄養科栄養管理部門にて勤務。栄養サポートチーム専従者を担当。また同病院の褥瘡対策委員会に所属。◇「食形態マップ」による他職種・他施設との情報共有の有効性と今後の課題について(2023) ◇成績評価と学生の自己評価によるカリキュラムマップの整合性の検討-評価指標を構成している科目によって合成された得点に果たして信頼性はあるのか- (2023) ◇栄養科学シリーズ NEXT 臨床栄養学実習第3版(一部執筆)(2023)

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

「栄養管理」に関する研究、「食べる力」に関する研究、臨床栄養師(日本健康・栄養システム学会認定)、石川県七尾市「食力の会」所属

(Rumi Otake)

講師

**大竹 留美**



担当科目 : 保育・教育課程論、保育者論、乳児保育Ⅰ・Ⅱ、地域と子どもⅠ・Ⅱ、保育実習Ⅰ・Ⅱ、保育実習指導Ⅰ・Ⅱ、子育て支援、卒業研究  
出身学校 : 神戸親和女子大学大学院  
学 位 : 修士(教育学)  
所属学会 : 日本保育学会、日本保育者養成教育学会、日本乳幼児教育・保育者養成学会  
E-mail :

**Ⅰ. 主な研究業績・作品等**

- ◇「保育実習指導」の研究動向に関する一考察: CiNii 掲載論文のタイトルに対するテキストマイニングを用いて
- ◇保育内容「表現」指導法に関する一考察 ―グループワークによる劇あそびづくりを通して―
- ◇保育における幼児理解のあり方 ―幼児理解の実態分析―
- ◇子どもに寄り添うための基本的な保育実践―幼児理解の視点抽出の試み―
- ◇実践にみる保育内容「環境」の一考察

**Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他**  
保育・教育実習における学びの分析

(Yoshie Bouda)

講師

**棒田 美江**



担当科目 : 音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、保育内容演習 表現Ⅰ・Ⅱ、教育実習Ⅰ・Ⅱ、教育実習指導  
出身学校 : 仁愛女子短期大学  
学 位 : 短期大学士  
所属学会 : 日本ピアノ教育連盟 日本音楽教育学会  
E-mail : y-bouda@kanazawa-gu.ac.jp

**Ⅰ. 主な研究業績・作品等**

- ◇ 全日本ピアノコンクール全国大会一般プロ部門 5 位 (2023 年)、6 位 (2022 年) ◇ ジョイントリサイタル 2024 年 ◇ 青少年育成プロジェクトコンサート 2024 年 ◇ ピアノリサイタル 1990 年、1992 年、2000 年 ◇ 親子で楽しむ名曲コンサート 2000 年～2020 年 ◇ バッハブランデンブルグコンツェルト第 5 番 チェンバロソロ 2019 年 (共演: 金沢モダンコンソート)、2012 年、2013 年 (共演: 金沢室内管弦楽団) ◇ 親子で楽しむ名曲コンサート 2000 年～2020 年 ◇ ラ・フォル・ジュルネ金沢 ◇ いしかわ・金沢風と緑の楽都音楽祭 ◇ ジュール・ド・ショパン ◇ モーツァルトピアノコンツェルト第 20 番ピアノ独奏 1997 年 (共演: 金沢室内管弦楽団) ◇ 『楽器音のオノマトペ表現の多様性』(共著) 金沢学院短期大学紀要第 20 号 2022 年 ◇ 『創造的音楽活動におけるイメージの深まりと表現についての一考察』(単著) 金沢学院短期大学紀要第 19 号 2021 年 ◇ 『保育者養成課程における弾き歌い指導法の研究』(単著) 金沢学院短期大学紀要第 18 号 2000 年

**Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他**  
ピアノ演奏表現 幼児期の音楽表現活動

(Akari Hashitaka)

助教 **橋高 朱里**



健康スポーツⅠ、Ⅱ、学修ゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ、キャリアデザイン  
担当科目 : イン、キャリアプランニング、FSP 講座、スポーツトレーナー演習  
出身学校 : 金沢学院大学大学院  
学 位 : スポーツ健康学(修士)  
所属学会 : 日本武道学会、日本体育・スポーツ・健康学会、北陸スポーツ・体育学会  
E-mail : hasitaka@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇スポーツ専攻学生におけるサプリメントに関する意識調査、金沢学院短期大学紀要

◇資格

- ・公益財団法人全日本柔道連盟公認Cライセンス審判員
- ・公益財団法人全日本柔道連盟公認柔道指導者B指導員
- ・公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

スポーツ専攻学生におけるサプリメント使用状況

ジュニア期におけるコーチング等

(Ayaka Omichi)

助教 **大道 文香**



栄養指導論Ⅰ・Ⅱ、栄養指導論実習、学校栄養教育論、栄養教育実習、教職実践演習(栄養教諭)、教育実習指導(事前・事後指導)、子どもの食と栄養、情報処理基礎Ⅱ  
出身学校 : 金沢学院大学大学院  
学 位 : 修士(スポーツ健康学)  
所属学会 : 日本栄養改善学会、日本食育学会  
E-mail : a-nakamu@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇大学スポーツ選手の食行動変容ステージに影響を及ぼす要因と食生活の実態(日本食育学会誌第12巻第2号)◇スポーツ選手に対する強化子や嫌子となる身体に関わる発言(金沢学院短期大学紀要:学葉(14))◇増量と減量を希望する大学生スポーツ選手の食生活に関する心理的要因の違い(金沢学院大学教育研究所紀要第1号)

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

乳幼児の食に関わる支援の在り方、栄養士養成校学生の嚥下食に対する意識 他



(Nami Kyogoku)

助教

**京極 奈美**



調理学実習Ⅰ（実験含む）、調理学実習Ⅱ・Ⅲ、応用調理学実習、調理学、献立作成演習、栄養士基礎演習Ⅱ、校外実習（給食の運営Ⅰ・Ⅱ）、校外実習事前・事後指導、食品学実験

出身学校：東京家政大学大学院  
学位：修士（家政学）  
所属学会：日本調理科学会、日本家政学会、日本食生活学会、日本栄養改善学会、日本栄養士会  
E-mail：kyogoku@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇新・調理の科学（分担執筆）、学文社（2024）◇Antioxidant Capacity of Tempura Deep-Fried Products Prepared Using Barley, Buckwheat, and Job's Tears Flours（共著）Foods, MDPI, 1246（2020年）◇雑穀粉の天ぷら衣への利用適性-品質及び嗜好性からの検討-（共著）、日本調理科学会誌 Vol.52（2019年）

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

塩麴添加による食パンの品質への影響について、食文化の意識に関する研究

(Hisami Shirae)

助教

**白江 寿美**



保育実習指導Ⅰ・Ⅱ、教育実習指導、領域表現、保育内容演習表現Ⅰ・Ⅱ、領域環境、保育内容演習環境Ⅰ・Ⅱ、保育内容演習言葉Ⅰ・Ⅱ、保育内容演習人間関係Ⅰ・Ⅱ、保育・教職実践演習（幼稚園）、卒業研究 他

出身学校：北陸学院短期大学  
学位：短期大学士  
所属学会：日本保育学会  
E-mail：shirae@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇身近な自然環境を取り入れた表現活動ー4歳児の活動ー／金沢学院短期大学紀要第18号（通関巻61巻）掲載頁：pp119-134◇「幼児の発達の姿を保護者と共有する」クラス便りー新幼稚園教育要領の視点からの考察ー／金沢学院短期大学紀要第16号（通関巻59巻）掲載頁：pp103-122◇幅広い異年齢集団の遊びにおける幼児・児童の主体性と協同性の在り方ー2018年「こどもかれっじ」サマースクールを対象とした実践ー／金沢学院短期大学紀要第17号（通関巻60巻）掲載頁：pp87-106◇竹の生長を教材として展開した実践事例から読み解く子どもの姿ー5歳児の活動ー／金沢学院短期大学紀要第17号（通関巻60巻）掲載頁：pp123-136

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

異年齢児の交わり、幼児の表現



# 大学院担当教員

|            | 教授                                                                                                                                                                       | 准教授                                         | 講師                                      | 助教 |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|-----------------------------------------|----|
| 人文学研究科     | 秋山 稔<br>石崎 建治<br>上田外史彦<br>小里 千寿<br>佐田東 彰<br>薮 際子<br>○水洞 幸夫<br>末松 智<br>鈴木 賢男<br>寺田 達也<br>寺田 智美<br>中崎 崇志<br>本多 俊彦<br>前川 浩子                                                 | 佐々木 聡<br>戸根比呂子<br>松村祐香里<br>室橋 弘人            | 大上 真礼<br>黒崎 周一<br>須崎 暁世<br>出口 誠<br>中妻 結 |    |
| 経営情報学研究科   | 飯田 栄治 *M<br>石川 温 *M*D<br>大貫 裕二 *M<br>大野 尚弘 *M*D<br>奥井めぐみ *M*D<br>小田圭一郎 *M*D<br>桑野 裕昭 *M*D<br>千葉 俊徳 *M*D<br>豊田 欣吾 *M*D<br>根本 博 *M*D<br>長谷川秀司 *M<br>濱屋 敏 *M<br>○藤井 秀樹 *M*D | 上野 学 *M<br>中村 直行 *M<br>藤本 祥二 *M<br>渡邊 誠士 *M |                                         |    |
| スポーツ健康学研究科 | 清田 直恵<br>福井 卓也<br>○藤原 勝夫<br>丸山 章子<br>渡辺 涼子<br>渡辺 直勇                                                                                                                      |                                             | 菊政 俊平<br>野寺 巧寛                          |    |

○：研究科長

(五十音順)

\*M：博士前期課程担当教員

\*D：博士後期課程担当教員

## 専任教員索引（五十音順）

◆所属学部 文学部：文学 教育学部：教育 経済学部：経済 芸術学部：芸術 スポーツ科学部：スポーツ  
栄養学部：栄養 情報工学：情報工 基礎教育機構：基礎 短期大学：短大

| 氏名            | 所属学部 | 頁  | 氏名     | 所属学部 | 頁  | 氏名     | 所属学部 | 頁  | 氏名         | 所属学部 | 頁  |
|---------------|------|----|--------|------|----|--------|------|----|------------|------|----|
| 秋山 稔          | 基礎   | 1  | 児島 記代  | 経済   | 35 | 根本 博   | 経済   | 31 | 吉田 一誠      | 芸術   | 45 |
| 荒川 昭広         | 基礎   | 73 | 後藤 弘光  | 情報工  | 71 | 野寺 巧寛  | 基礎   | 76 | 米川 泉子      | 教育   | 24 |
| 安藤 秀子         | 短大   | 82 | 小西 尚之  | 基礎   | 74 | 橋高 朱里  | 短大   | 88 | 米澤 順一      | 経済   | 36 |
| 飯田 栄治         | 芸術   | 40 | 小林 勝義  | 栄養   | 59 | 長谷川 秀司 | 経済   | 32 | 米澤 利明      | スポ   | 50 |
| 飯田 範子         | 栄養   | 57 | 佐田東 彰  | 教育   | 18 | 長谷川 拓彌 | 経済   | 37 | リチャード グラッシ | 文学   | 16 |
| 石川 温          | 情報工  | 65 | 佐々木 圭一 | 情報工  | 67 | 羽鳥 好之  | 文学   | 9  | 渡邊 琢夫      | 栄養   | 61 |
| 石崎 建治         | 基礎   | 73 | 佐々木 聡  | 文学   | 11 | 羽場 文彦  | 芸術   | 44 | 渡辺 直勇      | スポ   | 51 |
| 板垣 真任         | 基礎   | 75 | 笹谷 聡史  | 短大   | 80 | 濱屋 敏   | 経済   | 34 | 渡邊 誠士      | 経済   | 36 |
| 市島 桜魚         | 芸術   | 40 | 佐道 正春  | 短大   | 81 | 林 直之   | 栄養   | 61 | 渡辺 涼子      | スポ   | 50 |
| 一色 貴史         | スポ   | 53 | 部 際子   | 文学   | 7  | 原田 澄子  | 短大   | 83 |            |      |    |
| 岩岡 浩一郎        | 情報工  | 65 | 土農 力   | 基礎   | 74 | 張江 洋次朗 | 情報工  | 71 |            |      |    |
| 上田 外史彦        | 文学   | 7  | 壽時 尚子  | 栄養   | 63 | 平木 孝志  | 芸術   | 41 |            |      |    |
| 上野 学          | 経済   | 35 | 白江 寿美  | 短大   | 89 | 平山 雄大  | 短大   | 86 |            |      |    |
| 碓井 茂樹         | 経済   | 29 | 水洞 幸夫  | 基礎   | 2  | 広根 礼子  | 芸術   | 42 |            |      |    |
| 枝元 香菜子        | 教育   | 24 | 末松 智   | 芸術   | 41 | 福井 卓也  | スポ   | 48 |            |      |    |
| 大池 教子         | 栄養   | 57 | 杉村 亮介  | 経済   | 38 | 藤井 徳子  | 教育   | 23 |            |      |    |
| 大上 真礼         | 文学   | 13 | 須崎 暁世  | 文学   | 14 | 藤井 秀樹  | 経済   | 3  |            |      |    |
| 大迫 早苗         | 栄養   | 58 | 鈴木 賢男  | 短大   | 83 | 藤本 祥二  | 情報工  | 69 |            |      |    |
| 太田 康介         | スポ   | 53 | 鈴木 三枝  | 栄養   | 60 | 藤本 素子  | スポ   | 55 |            |      |    |
| 大竹 留美         | 短大   | 87 | 砂山 真喜子 | 短大   | 84 | 藤原 勝夫  | スポ   | 49 |            |      |    |
| 大西 孝司         | 短大   | 82 | 高木 香代子 | 短大   | 85 | 棒田 美江  | 短大   | 87 |            |      |    |
| 大貫 裕二         | 経済   | 29 | 高木 直史  | 情報工  | 68 | 本多 俊彦  | 文学   | 9  |            |      |    |
| 大野 尚弘         | 経済   | 33 | 高他 毅   | 短大   | 4  | 本田 正史  | 芸術   | 45 |            |      |    |
| 大道 文香         | 短大   | 88 | 高橋 栄一  | 文学   | 14 | 前川 浩子  | 文学   | 10 |            |      |    |
| 大谷 千晴         | 栄養   | 62 | 武石 健哉  | スポ   | 51 | 前田 洋一  | 教育   | 20 |            |      |    |
| 小形 優人         | 情報工  | 70 | 多田 邦宏  | 短大   | 86 | 孫工 季也  | 教育   | 25 |            |      |    |
| 奥井 めぐみ        | 経済   | 30 | 多田 孝志  | 教育   | 19 | 松田 聡浩  | 情報工  | 70 |            |      |    |
| 奥泉 敦司         | 教育   | 21 | 田中 美栄子 | 情報工  | 68 | 松永 龍太郎 | 芸術   | 46 |            |      |    |
| 小田 圭一郎        | 経済   | 30 | 田中 良巳  | 情報工  | 69 | 松村 祐香里 | 文学   | 12 |            |      |    |
| 笠間 弘美         | 教育   | 18 | 谷口 卓   | 教育   | 22 | 的場 茂樹  | 教育   | 22 |            |      |    |
| 加須栄 篤         | 情報工  | 66 | 千葉 俊徳  | 経済   | 33 | 丸山 章子  | スポ   | 49 |            |      |    |
| 加藤 謙一         | 芸術   | 43 | 出口 誠   | 文学   | 15 | 水橋 雄介  | 文学   | 16 |            |      |    |
| 川村 美笑子        | 栄養   | 58 | 寺田 達也  | 短大   | 84 | 三輪 篤生  | 経済   | 32 |            |      |    |
| 菊池 英慈         | 文学   | 10 | 寺田 智美  | 文学   | 8  | 向田 識弘  | 教育   | 25 |            |      |    |
| 菊政 俊平         | スポ   | 52 | 栃原 華子  | 教育   | 27 | 村上 智   | 短大   | 81 |            |      |    |
| 北島 孟          | スポ   | 54 | 戸根 比呂子 | 文学   | 11 | 村谷 聡志  | 芸術   | 46 |            |      |    |
| 木戸 康博         | 栄養   | 59 | 鳥谷部 智規 | 経済   | 37 | 村松 麻里  | 教育   | 23 |            |      |    |
| 木村 昭雄         | 教育   | 21 | 豊田 欣吾  | 経済   | 31 | 室橋 弘人  | 文学   | 12 |            |      |    |
| 京極 奈美         | 短大   | 89 | 中川 恵理子 | 基礎   | 76 | 森 舞    | 教育   | 26 |            |      |    |
| 清田 直恵         | スポ   | 48 | 中崎 崇志  | 文学   | 8  | 八木 かなえ | 基礎   | 77 |            |      |    |
| 黒崎 周一         | 文学   | 13 | 中妻 結   | 文学   | 15 | 安井 孝志  | スポ   | 52 |            |      |    |
| 桑野 裕昭         | 情報工  | 66 | 中村 英里子 | スポ   | 54 | 柳橋 広司  | 芸術   | 42 |            |      |    |
| ゴータム ヒスヌ・ブラサド | 情報工  | 67 | 中村 晋也  | 基礎   | 75 | 山内 隆之  | 教育   | 20 |            |      |    |
| 小里 千寿         | 短大   | 80 | 中村 直行  | 経済   | 34 | 山口 由美子 | 教育   | 26 |            |      |    |
| 越田 久文         | 芸術   | 44 | 七尾 由美子 | 栄養   | 60 | 山本 武   | 栄養   | 62 |            |      |    |
| 児島 新太郎        | 短大   | 85 | 仁八 潔   | 教育   | 19 | 餘久保 優子 | 芸術   | 43 |            |      |    |